

第3章 アンケート調査結果

第3章 アンケート調査結果

1. 調査概要

(1) 調査の目的

① 福祉用具専門相談員による標準的な業務内容の実施状況の把握

福祉用具貸与事業所や福祉用具専門相談員の業務内容については、これまで様々な先行研究により明らかにされてきた。福祉用具専門相談員の業務については指定基準が示されているところであるが、実際の業務遂行においては福祉用具専門相談員個々人の経験や力量に委ねられているのが実態であり、その実施状況には差が生じていることが指摘されている。

本調査においては、前章で示した標準的な業務内容に基づいて、課題があると想定される業務内容ごとに実施状況を測り、その結果から福祉用具専門相談員の業務遂行の実態を把握することを一義的な目的とする。

② 福祉用具専門相談員の業務実施に係る課題把握

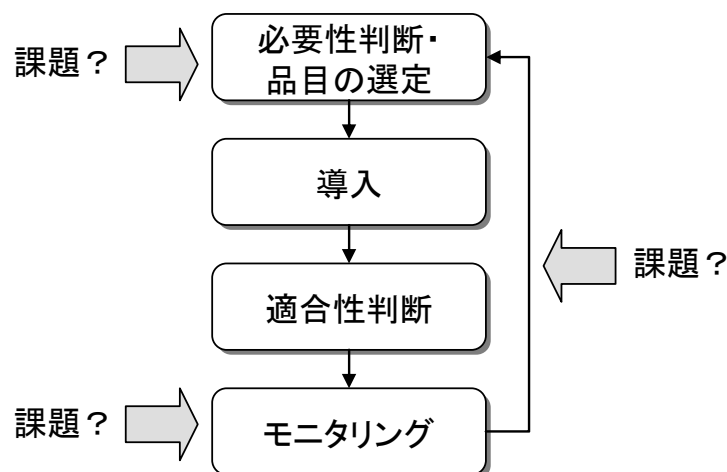
さらに、福祉用具専門相談員がそれぞれの業務を遂行するにあたっての課題も把握する。その際、福祉用具専門相談員や福祉用具貸与事業所の属性ごとの実施状況を分析することによって、その要因を検討する。なお、主な課題としては、それぞれの業務におけるA業務項目の未実施(あるいは福祉用具専門相談員以外の関係者が実施)、B福祉用具専門相談員のスキル不足、C関係者間の連携不足、が想定される。

加えて、業務における福祉用具専門相談員の課題認識を把握することにより、現状、福祉用具専門相談員自身が捉える福祉用具専門相談員業務の範囲、課題を明らかにする。

③ 福祉用具貸与サービスの質的向上に係る課題把握

上記の考察を踏まえ、福祉用具専門相談員の業務プロセスである「必要性判断・選定→導入→適合性判断→モニタリング→必要性判断…」という一連の流れを福祉用具貸与サービスのマネジメントサイクルと捉えた場合、現状では何とそのサイクルの阻害要因となっているかを検討する。

図表 3-1 福祉用具貸与サービスのマネジメントサイクルの課題



(2) 実施概要

アンケート調査の実施概要は次の通りである。

◆実施時期	平成 21 年 11 月 13 日発送～12 月 4 日締切
◆調査対象	全国の福祉用具貸与事業所（回答者：福祉用具専門相談員）3,000 箇所 ※福祉医療機構の福祉・保険・医療情報（WAM NET）に掲載されている全国福祉用具貸与事業者の一覧をリスト化し無作為抽出を実施
◆調査方法	メール便配布、郵送回収
◆有効回収件数	1,279 件（回収率 42.6%）

(3) 業務項目に関する仮説のまとめ

アンケート調査で検証する業務項目別の仮説は下記の通りである。なお仮説は、以下の 3 タイプに分類される。

- A 業務内容の未実施（あるいは福祉用具専門相談員以外の関係者が実施）
- B 福祉用具専門相談員のスキル不足
- C 関係者間の連携不足

図表 3-2 業務項目別の仮説

業務プロセス	業務項目	仮説
必要性判断・品目の選定	利用者の状況把握、記録作成	A 福祉用具専門相談員自身が利用者・介護者と相対して状況把握を行っていないのではないか。 A 福祉用具専門相談員が状況把握の記録を行っていないのではないか。 C ケアマネジャーからの十分な情報提供を受けていないのではないか。
	福祉用具利用の目標の設定・福祉用具候補の選定	A 福祉用具選定に際して、ケアマネジャーに比べて福祉用具専門相談員の役割が相対的に小さいのではないか。 B 福祉用具専門相談員の知識・スキル不足により、改善目標に合致する形で福祉用具が選定されていないのではないか。
	事業所内での会議	C 事業所内会議が行われず、複数の担当者間での情報が共有されていないのではないか。
	利用計画の作成	A 福祉用具専門相談員が利用計画の作成を行っていないのではないか。 C 利用計画の作成が行われないことで、事業所内・他のサービス事業者との情報共有が円滑に行えていないのではないか。
	サービス担当者会議への参加	A 福祉用具専門相談員がサービス担当者会議へ参加していないのではないか。 A・B 福祉用具専門相談員がサービス担当者会議へ出席しても、選定した福祉用具について十分に他の参加者に説明が行なえていないのではないか。

	選定理由の利用者への説明	—
導入	契約(取扱説明書の交付等含む)	A 搬入・設置業務を業者に任せており、十分に取扱説明書等の説明を行っていないのではないか。
	搬入・設置	A 搬入・設置業務をレンタル卸に委託しており、福祉用具専門相談員が立ち会っていないのではないか。
適合性判断・利用指導	適合調整	C 必要性判断と適合調整で実施者が異なり、適切な適合調整が実施できていないのではないか。
	適合性判断、結果の記録作成	A 福祉用具専門相談員が適合性判断を実施していないのではないか。 A 福祉用具専門相談員が適合性判断の記録を行っていないのではないか。 C 適合性判断の結果が活用されず、関係者間で情報が共有されていないのではないか。
	利用者・介護者への利用指導	A・B 福祉用具専門相談員の利用指導の不足により、利用者・介護者が福祉用具の正しい使い方を十分に理解・体得出来ていないのではないか。
	他のサービス事業者への利用指導	A 福祉用具専門相談員が他のサービス事業者へ福祉用具の使い方を指導していないことで、ホームヘルパー等が福祉用具の利用方法を誤ってしまうのではないか。
モニタリング	納品後 10 日以内のモニタリング、結果の記録作成	A 福祉用具専門相談員が自ら訪問してモニタリングを実施していないのではないか。 B 福祉用具導入の目的が定まっていない場合には、モニタリングを実施しても福祉用具の点検・調整に留まってしまうのではないか。
	定期的なモニタリング、結果の記録作成	A 福祉用具専門相談員が自ら訪問してモニタリングを実施していないのではないか。 B 福祉用具導入の目的が定まっていない場合には、モニタリングを実施しても福祉用具の点検・調整に留まってしまうのではないか。
	モニタリング結果の活用	A 福祉用具専門相談員がモニタリングの記録を行っていないのではないか。 C モニタリング結果が活用されず、関係者間で情報が共有されていないのではないか。
	モニタリング後のサービス担当者会議への参加	A 福祉用具専門相談員がモニタリング後にサービス担当者会議へ出席していないのではないか。 B 福祉用具専門相談員が出席しても、福祉用具の導入結果等の情報をサービス担当者会議で十分に説明できていないのではないか。

2. 調査結果の概要

本アンケート調査結果の概要は次の通りである。

(1) 回答者の属性

① 事業者の基本属性

- ・ 福祉用具貸与事業所の多くは民間企業（89.9%）である。また、従業員数10人未満の事業所が大半（77.5%）であり、そのうち福祉用具専門相談員は5名以下（80.9%）である。
- ・ 多くの事業所で全商品をレンタル卸業者から仕入れており（58.9%）、自社在庫とレンタル卸を組み合わせている事業所（32.8%）を合わせると、ほとんどの事業所でレンタル卸を利用している。

② 福祉用具専門相談員の基本属性

- ・ 福祉用具専門相談員の多くは男性である（76.7%）。また、40時間の指定講習を受けて資格を取得した者が大半であり（70.7%）、半数程度の者は経験年数が5年以上となっている（62.7%）。
- ・ 福祉用具専門相談員一人当たりの利用者数は、半数以上の福祉用具専門相談員で50名未満となっている（52.6%）。一方で、100名以上の利用者を抱える福祉用具専門相談員も一定数存在しており（19.2%）、一人当たりの利用者数にはばらつきがある。

(2) 福祉用具専門相談員の標準的な業務内容の実施状況

① 必要性判断・品目の選定

- ・ 「利用者の状況把握・記録作成」では、多くの福祉用具専門相談員が訪問によるアセスメントを実施している（85.5%）。ケアプラン内容について書面を見ながら説明を受けている福祉用具専門相談員も多いが（64.7%）、ケアマネジャーからの情報提供の不足が主な課題として挙げられている。
- ・ 「福祉用具利用の目標の設定・福祉用具候補の選定」においては、多くの場合においてケアマネジャーと相談しながら製品の提案を行っている（87.6%）。ケアマネジャーから指示を受けて対応する（42.9%）、ケアマネジャーからの要望を重要視する（50.4%）も多く、ケアマネジャーの役割が大きいことがわかる。また、多くの福祉用具専門相談員がほぼすべてのケースで利用効果を予測し（61.8%）、利用効果を重要視し福祉用具を選定している（92.8%）。
- ・ 「事業所内での会議」においては、1ヶ月に1度以上行っている事業所が大半を占めており（81.8%）、1週間に1回以上会議を実施している事業所も多い（26.2%）。
- ・ 「利用計画の作成」においては、全体の半数程度の福祉用具専門相談員が利用計画書を作成している（56.9%）。作成した利用計画書は、主にケアマネジャーとの協議（82.3%）や利用者との協議（56.9%）に活用されている。また、課題を感じている福祉用具専門相談員も多く（26.1%）、業務が定式化されていないことや福祉用具専門相談員以外の業務が多すぎることも課題として挙げられる。
- ・ 「サービス担当者会議への参加」においては、半数以上の福祉用具専門相談員がほぼすべてのサービス担当者会議へ参加している（64.3%）。サービス担当者会議では、福祉用具の利用効果説明（78.9%）、福祉用具利用の留意点説明を行っている（63.1%）。

② 導入

- ・ 「契約（取扱説明書の交付等含む）」においては、多くの福祉用具専門相談員がメーカーの説明書や補足資料を用いて利用者へ説明を実施している（85.4%）。
- ・ 「搬入・設置」においては、ほぼすべてのケースで立ち会っている福祉用具専門相談員がほとんどである（82.3%）。

③ 適合性判断・利用指導

- ・ 「適合調整」においては、65.1%の福祉用具専門相談員が定式化した項目に基づいて実施している。一方で、「自分では実施していない」という福祉用具専門相談員が6.6%存在する。
- ・ 「適合性判断、結果の記録作成」においては、半数以上の福祉用具専門相談員がほぼすべてのケースで適合性判断を実施し（65.1%）、その結果を記録している（51.3%）。また課題を感じている福祉用具専門相談員も多く（17.4%）、業務が定式化されていないことや知識・スキルの不足が挙げられている。
- ・ 「利用者・介護者への利用指導」においては、ほとんどの福祉用具専門相談員がほぼすべてのケースで利用指導を実施し（86.6%）、利用者が実際に使えるようになったかを確認している（73.3%）。一方で、ほぼすべてのケースで利用者・介護者への利用指導を実施していない福祉用具専門相談員が14.4%存在する。
- ・ 「他のサービス事業者への利用指導」においては、ほとんどの福祉用具専門相談員が実物やカタログ等を使用し、利用指導を実施している（86.7%）。

④ モニタリング

- ・ 「納品後10日以内のモニタリング、結果の記録作成」においては、約半数の福祉用具専門相談員がほぼすべてのケースで（54.3%）、訪問により（88.7%）モニタリングを実施している。また課題を感じている福祉用具専門相談員も多く（16.3%）、福祉用具専門相談員以外の業務が多すぎる事が挙げられている。
- ・ 「定期的なモニタリング、結果の記録作成」においては、半数以上の福祉用具専門相談員がほぼすべてのケースで（63.1%）、訪問により（88.7%）、6ヶ月に1回以上の頻度（84.7%）で実施している。一方で、モニタリングを実施していないケースもあると回答している福祉用具専門相談員が、36.9%存在する。
- ・ 「モニタリング結果の活用」においては、多くの福祉用具専門相談員がほぼすべてのケースでモニタリング結果を記録しており（74.8%）、記録を元にケアマネジャーへ報告を行っている（70.8%）。
- ・ 「モニタリング後のサービス担当者会議への参加」においては、半数以上の福祉用具専門相談員がほぼすべてのケースで参加している（64.3%）。サービス担当者会議へ参加した福祉用具専門相談員のほとんどが、資料や口頭でモニタリング結果を報告している（90.3%）。

(3) 業務項目に関する仮説検証

前節で提示した業務項目に関する仮説の検証を行う。業務の実施主体、実施頻度（割合）、方法（手段）、内容について、本アンケート調査並びに過去の先行調査研究結果を各業務項目別に整理し、下表の通りまとめた。使用した先行調査研究は下記の2点であり、表中において先行調査研究結果は斜字で表記している。

- 【H20 調査】：平成 20 年度 シルバーサービス振興会「福祉用具貸与価格の情報提供システムに関する調査研究事業」
- 【H18 調査】：平成 18 年度 福祉用具供給協会「サービスの質の確保のための福祉用具事業者サービス提供ガイドライン検討調査」

なお、個々の質問における業務実施状況が 80%を超えた選択肢については、表中に下線を引いている。また、順序尺度の選択肢については、複数の選択肢を合わせた業務実施状況が 80%を超えたものについて { } でまとめた上、下線を引いている。

図表 3-3 業務項目別の仮説検証

業務プロセス			検証項目				
プロセス	業務項目	想定される課題	業務実施主体	実施頻度(割合)	方法(手段)	内容	活用
必要性判断・品目の選定	利用者の状況把握(身体状況・生活環境・ニーズ)・記録作成	(利用者の状況把握) A 福祉用具専門相談員自身が利用者・介護者と相対して状況把握を行っていないのではないか。 C ケアマネジャーからの十分な情報提供を受けていないのではないか。 (記録作成) A 福祉用具専門相談員が状況把握の記録を行っていないのではないか。	【Q11】必要性判断のためのアセスメント手段 ①訪問 85.5% ②電話 4.7% ③書面 3.1% ④その他 6.3%	【Q12】必要性判断の際のケアマネジャーとの連携状況(MA) ①ケアプラン案の書面を見ながら説明 64.7% ②ケアプランの書面送付のみ 12.4% ③口頭でのみ説明 17.4% ④その他 5.1%	【Q13】必要性判断の際の記録の状況 { ①特定書式を利用 68.0% ②形式を定めずに記録 26.0% ③記録をしていない 3.2% ④その他 2.3% }	【H20 調査】身体状況の確認事項(MA) ①利用者からの要望 92.8% ②ADL 92.4% ③介護者からの要望 89.4% ④要介護度 81.3% ⑤病歴等 60.6% ⑥コミュニケーション能力 43.9% 【H20 調査】生活環境の確認事項(MA) ①居住環境 86.4% ②利用者からの要望 84.8% ③介護者 83.6% ④介護者からの要望 83.3% ⑤他の福祉用具の利用状況 66.6% ⑦IADL 66.6%	【H20 調査】記録の活用(利用者への提出) ①利用者へ提出している 15.4% ②利用者へ提出していない 61.6% ③不明 18.1% 【H20 調査】記録の活用(ケアマネジャーへの提出) ①ケアマネジャーへ提出している 55.2% ②提出していない 36.7% ③不明 18.1%
	福祉用具利用の目標の設定・福祉用具候補の選定	A 福祉用具選定に際して、ケアマネジャーに比べて福祉用具専門相談員の役割が相対的に小さいのではないか。 B 福祉用具専門相談員の知識・スキル不足により、改善目標に合致する形で福祉用具が選定されていないのではないか。	【Q14】福祉用具の選定方法(MA) ①主体的に品目・種目を提案 32.9% ②主体的に商品を提案 19.0% ③ケアマネジャーと相談しながら提案 87.6% ⑤ケアマネジャーから指示を受けて対応 42.9% ⑥福祉用具の種類の変更等についても利用者・介護者に提案 52.3% ⑥その他 3.0%	【Q15】福祉用具選定の際の利用効果予測の状況 { ①ほぼすべて 61.8% ②半数以上 23.7% ③半数程度 9.3% ④半数以下 2.2% ⑤予測無し 1.6% ⑥その他 1.3% }	-	【Q16】福祉用具選定の際に重要視する点(MA) ①利用効果 92.8% ②他の介護保険サービスとの兼ね合い 15.3% ③貸与価格 11.7% ④ケアマネジャーからの要望 50.4% ⑤自社で取り扱っている商品の関係上 2.8% ⑥その他 1.3%	-

<p>必要性判断・品目の選定 (続き)</p>	<p>事業所内での会議</p>	<p>C 事業所内会議が行われず、複数の担当者間での情報が共有されていないのではないか。</p>	<p>【H18 調査】会議の出席者</p> <ul style="list-style-type: none"> ①福祉用具専門相談員 84.0% ②管理職・事業所長 20.9% ③その他の営業、渉外職員 7.3% ④事務職員 6.2% ⑤セラピスト 1.4% ⑥その他 2.7% 	<p>【Q17】個別の福祉用具貸与サービスに関する事業所内での会議の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ①毎日 7.7% ②2, 3日に1回 3.9% ③週に1, 2回 14.6% ④2週に1, 2回 7.8% ⑤月に1回 47.8% ⑥その他 16.3% 	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>-</p>
<p>利用計画の作成</p>	<p>A 福祉用具専門相談員が利用計画の作成を行っていないのではないか。 C 利用計画の作成が行われなことで、事業所内・他のサービス事業者との情報共有が円滑に行えていないのではないか。</p>	<p>-</p>	<p>【Q18】利用計画書の作成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ほぼすべて 31.3% ②半数以上 7.3% ③半数程度 7.3% ④半数以下 10.9% ⑤作成無し 41.9% 	<p>【Q18-2】利用計画書の書式(MA)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①特定書式 71.6% ②個別援計画 13.5% ③書式無し 11.5% ④その他 2.9% 	<p>【H20 調査】利用計画書の記載項目(MA)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①福祉用具利用目的 80.0% ②利用者からの要望 52.3% ③介護者からの要望 51.6% ④用具の活用方法 49.0% ④短期達成目標 46.8% ⑤長期達成目標 42.5% ⑥モニタリングの時期 37.8% 	<p>【Q18-3】利用計画書の活用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ①利用者との協議 56.9% ②ケアマネジャーとの協議 82.3% ③事業所内協議 39.0% ④活用無し 4.1% ⑤その他 1.8% 	<p>-</p>
<p>サービス担当者会議への参加</p>	<p>A 福祉用具専門相談員がサービス担当者会議へ参加していないのではないか。 A・B 福祉用具専門相談員がサービス担当者会議へ出席しても、選定した福祉用具について十分に他の参加者に説明が行なっていないのではないか。</p>	<p>-</p>	<p>【Q19】サービス担当者会議への参加状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ほぼすべて 64.3% ②半数以上 19.8% ③半数程度 6.4% ④半数以下 4.8% ⑤参加無し 3.9% 	<p>【Q19-2】サービス担当者会議で行っていること(MA)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①他サービスの把握 71.3% ②利用者の問題点把握 89.9% ③福祉用具利用効果説明 78.9% ④福祉用具利用の留意点説明 63.1% ⑤その他 3.0% 	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>-</p>
<p>選定理由の利用者への説明</p>	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>【H18 調査】選定理由の説明頻度</p> <ul style="list-style-type: none"> ①すべてのケース 47.7% ②半数以上 29.0% ③半数程度 9.2% ④半数以下 8.3% ⑤説明はしない 4.5% 	<p>【H18 調査】説明に使用する書類(MA)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①受付聴取 44.1% ②レンタル実施報告書 42.7% ③相談記録簿 25.5% ④顧客台帳 20.7% ⑤利用者別ケース記録 18.6% 	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>-</p>

導入	契約(取扱説明書の交付等含む)	A 搬入・設置業務を業者に任せており、十分に取扱説明書等の説明を行っているのではないか。	-	【Q20】取扱説明書の説明状況 ①自分で補足作成した資料で説明 18.0% ②説明書で説明 67.4% ③説明書交付のみ 9.5% ④その他 4.7%	-	-	-
	搬入・設置	A 搬入・設置業務をレンタル卸に委託しており、福祉用具専門相談員が立ち会っていないのではないか。	【Q21】導入・設置の際の立会いの状況 ①ほぼすべて 82.3% ②半数以上 9.3% ③半数程度 2.7% ④半数以下 3.5% ⑤立会無し 1.6%	【H20 調査】搬入・取付・調整のための利用者宅への訪問回数と時間 ※報告書未掲載	-	-	-
適合性判断・利用指導	適合調整	C 必要性判断と適合調整で実施者が異なり、適切な適合調整が実施できていないのではないか。	【Q22】適合調整の実施状況 ①マニュアル 38.8% ②自分で定めたチェック項目 27.1% ③チェック項目無し 26.0% ④自分では実施しない 6.6%	-	-	-	-
	適合性判断、結果の記録作成	A 福祉用具専門相談員が適合性判断を実施していないのではないか。 A 福祉用具専門相談員が適合性判断の記録を行っていないのではないか。 C 適合性判断の結果が活用されず、関係者間で情報が共有されていないのではないか。	-	【Q23】適合性判断の実施状況 ①ほぼすべて 65.1% ②半数以上 12.7% ③半数程度 6.4% ④半数以下 3.8% ⑤実施無し 9.4%	【Q23-2】適合性判断記録の実施状況 ①ほぼすべて 51.3% ②半数以上 14.8% ③半数程度 8.9% ④半数以下 5.7% ⑤実施無し 18.2%	【Q23-2】適合性判断記録の記載内容 ①すべて記載 36.7% ②一部記載 30.1% ③事務手続きのみ記載 14.9% ④その他 3.1%	-

適合性判断・利用指導 (続き)	利用者・介護者への利用指導	A・B 福祉用具専門相談員の利用指導の不足により、利用者・介護者が福祉用具の正しい使い方を十分に理解・体得出来ていないのではないか。	-	<p>【Q24】利用指導実施状況</p> <p>①ほぼすべて 86.6%</p> <p>②半数以上 6.9%</p> <p>③半数程度 2.5%</p> <p>④半数以下 1.9%</p> <p>⑤実施無し 1.4%</p> <p>【Q24-2】実際の使用場面確認の状況</p> <p>①ほぼすべて 73.3%</p> <p>②半数以上 20.0%</p> <p>③半数程度 4.4%</p> <p>④半数以下 1.8%</p> <p>⑤確認無し 0.4%</p>	-	-	-
	他のサービス事業者への利用指導	A 福祉用具専門相談員が他のサービス事業者へ福祉用具の使い方を指導していないことで、ホームヘルパー等が福祉用具の利用方法を誤ってしまうのではないか。	-	-	<p>【Q25】他のサービス事業者への利用説明の状況</p> <p>①実物を使って貰う 20.3%</p> <p>②実物を見せる 33.8%</p> <p>③書面で 32.6%</p> <p>④説明無し 10.1%</p>	-	-
モニタリング	納品後 10日以内のモニタリング、結果の記録作成	A 福祉用具専門相談員が自ら訪問してモニタリングを実施していないのではないか。 B 福祉用具導入の目的が定まっていなかった場合には、モニタリングを実施しても福祉用具の点検・調整に留まってしまうのではないか。	-	<p>【Q26】10 日以内のモニタリング実施状況</p> <p>①ほぼすべて 54.3%</p> <p>②半数以上 18.9%</p> <p>③半数程度 7.6%</p> <p>④半数以下 7.7%</p> <p>⑤実施無し 10.2%</p>	<p>【Q28】モニタリング実施方法</p> <p>①訪問 88.7%</p> <p>②電話 5.5%</p> <p>③ケアマネジャー 2.9%</p> <p>④その他 2.0%</p>	<p>【Q30】モニタリング時のケアプラン確認の状況</p> <p>①ほぼすべて 46.9%</p> <p>②半数以上 19.3%</p> <p>③半数程度 10.5%</p> <p>④半数以下 9.1%</p> <p>⑤確認無し 11.4%</p> <p>【H20 調査】モニタリングの際の確認事項</p> <p>①福祉用具の点検・調整 92.3% ②利用者や介護者の使用状況確認 91.2%</p> <p>③利用者からの要望 84.5% ④利用者の状態の確認 81.7% ⑤介護者からの要望 78.1% ⑥使用場所・環境の確認 67.3%</p>	-

<p>モニタリング (続き)</p>	<p>定期的なモニタリング、結果の記録作成</p>	<p>A 福祉用具専門相談員が自ら訪問してモニタリングを実施していないのではないか。 B 福祉用具導入の目的が定まっていなかった場合には、モニタリングを実施しても福祉用具の点検・調整に留まってしまうのではないか。</p>	<p>-</p>	<p>【Q27】定期的なモニタリング実施状況 ①ほぼすべて 63.1% ②半数以上 17.7% ③半数程度 6.7% ④半数以下 5.3% ⑤実施無 4.9%</p> <p>【Q27-2】定期的なモニタリングの頻度 ①1ヶ月に1度 17.5% ②2～3ヶ月に1度 21.4% ③4～6ヶ月に1度 45.8% ④半年以上に1度 13.6% ⑤その他 0.8%</p>	<p>【Q28】モニタリング実施方法 ①訪問 88.7% ②電話 5.5% ③ケアマネジャー 2.9% ④その他 2.0%</p>	<p>【Q30】モニタリング時のケアプラン確認の状況 ①ほぼすべて 46.9% ②半数以上 19.3% ③半数程度 10.5% ④半数以下 9.1% ⑤確認無 11.4%</p> <p>【H20 調査】モニタリングの際の確認事項(MA) ①福祉用具の点検・調整 92.3% ②利用者や介護者の使用状況確認 91.2% ③利用者からの要望 84.5% ④利用者の状態の確認 81.7% ⑤介護者からの要望 78.1% ⑥使用場所・環境の確認 67.3%</p>	<p>-</p>
<p>モニタリング結果の活用</p>	<p>A 福祉用具専門相談員がモニタリングの記録を行っていないのではないか。 C モニタリング結果が活用されず、関係者間で情報が共有されていないのではないか。</p>	<p>-</p>	<p>【Q29】モニタリング結果の記録状況 ①ほぼすべて 74.8% ②半数以上 9.8% ③半数程度 4.1% ④半数以下 4.9% ⑤記録無 5.4%</p>	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>【Q29-2】モニタリング結果記録のケアマネジャーへの報告状況 ①ほぼすべて 70.8% ②半数以上 13.5% ③半数程度 6.4% ④半数以下 5.8% ⑤記録無 3.3%</p>
<p>モニタリング後のサービス担当者会議への参加</p>	<p>A 福祉用具専門相談員がモニタリング後にサービス担当者会議へ出席していないのではないか。 B 福祉用具専門相談員が出席しても、福祉用具の導入結果等の情報をサービス担当者会議で十分に説明できていないのではないか。</p>	<p>-</p>	<p>【Q31】モニタリング後のサービス担当者会議への参加状況 ①ほぼすべて 64.3% ②半数以上 15.5% ③半数程度 6.0% ④半数以下 4.8% ⑤記録無 6.4%</p>	<p>【Q31-2】モニタリング結果のサービス担当者会議での結果報告状況 ①資料で説明 29.9% ②口頭で説明 60.4% ③説明無し 8.2% ④その他 1.3%</p>	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>-</p>

(4) 回答者の属性による業務実施状況の傾向

業務実施状況について差異が見られた4つの属性に関するクロス集計結果についてまとめる。

① レンタル卸の利用状況

- ・ レンタル卸を利用せず全て自社製品で対応している事業所の福祉用具専門相談員ほど、業務の実施状況が高くなる傾向が業務プロセス全体に見られる。
- ・ レンタル卸を利用している事業所の福祉用具専門相談員ほど、業務の実施状況が高くなる項目は下記のものである。
 - 【Q19】 サービス担当者会議への参加、【Q21】 福祉用具の搬入・設置の際の直接立会いの状況、【Q24】 利用説明の実施状況、【Q24-2】 利用者・介護者による実際の使用場面確認の状況、【Q27】 定期的なモニタリングの実施状況【Q27-2】 定期的なモニタリングの頻度、【Q31】 モニタリング後のサービス担当者会議への参加状況

② 事業所の福祉用具専門相談員数

- ・ 福祉用具専門相談員数が多い事業所に所属する福祉用具専門相談員ほど、業務の実施状況が高くなる傾向が業務プロセス全体に見られる。
- ・ 福祉用具専門相談員数の人数が少ないほど業務の実施状況が高くなる項目は下記のものである。
 - 【Q12】 必要性判断の際のケアマネジャーとの連携の状況、【Q27-2】 定期的なモニタリングの頻度、【Q31】 モニタリング後のサービス担当者会議への参加
- ・ 福祉用具専門相談員の人数が「3～5名」や「6～10名」で業務の実施状況が高くなり、「1～2名」「11名以上」で業務の実施状況が低くなる項目は以下である。
 - 【Q18】 福祉用具利用計画書の作成状況、【Q19】 サービス担当者会議への参加状況、【Q20】 取扱説明書等の説明の状況、【Q21】 福祉用具の搬入・設置の際の直接立会いの状況

③ 福祉用具専門相談員としての経験年数

- ・ 福祉用具専門相談員としての経験年数が多い福祉用具専門相談員ほど、業務の実施状況が高くなる傾向が業務プロセス全体に見られる。
- ・ 福祉用具専門相談員としての経験年数が短い福祉用具専門相談員ほど、業務の実施状況が高くなる項目は下記のものである。
 - 【Q18】 福祉用具利用計画書の作成状況、【Q21】 福祉用具の搬入・設置の際の直接立会いの状況、【Q27-2】 定期的なモニタリングの頻度、【Q29-2】 モニタリング結果記録のケアマネジャーへの報告の状況、

④ 常時担当している利用者数

- ・ 常時担当している利用者数が「25名未満」から「100～150名未満」に増加するに従い、業務の実施状況が高くなるが、「150名以上」まで増加すると業務実施状況が低くなる傾向が業務プロセス全体に見られる。
- ・ 常時担当している利用者数が少ないほど、業務の実施状況が高くなる項目は下記のものである。

- 【Q12】必要性判断の際のケアマネジャーとの連携の状況、【Q18】福祉用具利用計画書の作成状況、【Q27-2】定期的なモニタリングの頻度

(5) マネジメント上の取り組みと業務実施状況の関係

事業所のマネジメント上の取り組みと業務実施状況の関係について、クロス集計結果についてまとめる。

① 定期的な会議の実施

- ・ 事業所内で定期的な会議を頻繁に実施している福祉用具専門相談員ほど、業務の実施状況が高くなる傾向が業務プロセス全体に見られる。
- ・ 特に相関が強い項目は下記のものである。
 - 【Q13】必要性判断の際の記録の状況、【Q14】福祉用具の選定方法、【Q18】福祉用具利用計画書の作成状況、【Q18-3】福祉用具利用計画書の活用状況、【Q19-2】サービス担当者会議で行っていること、【Q22】適合調整の実施状況、【Q23-2】適合性判断の記録作成の状況、【Q26】10日以内のモニタリングの実施状況、【Q27】定期的なモニタリングの実施状況、【Q29】モニタリング結果の記録状況、【Q29-2】モニタリング結果記録のケアマネジャーへの報告の状況、【Q31】モニタリング後のサービス担当者会議への参加状況

② 利用者の身体状況や生活環境の記録

- ・ 利用者の身体状況や生活環境の記録（アセスメント記録）を特定書式に基づいて記録している福祉用具専門相談員ほど、業務の実施状況が高くなる傾向が業務プロセス全般に見られる。
- ・ 特に相関が強い項目は下記のものである。
 - 【Q11】必要性判断のためのアセスメント手段、【Q12】必要性判断の際のケアマネジャーとの連携の状況、【Q14】福祉用具の選定方法、【Q15】福祉用具を選定する際の利用効果予測の状況、【Q18】福祉用具利用計画書の作成状況、【Q18-2】福祉用具利用計画書の書式、【Q18-3】福祉用具利用計画書の活用状況、【Q19】サービス担当者会議への参加状況、【Q19-2】サービス担当者会議で行っていること、【Q22】適合調整の実施状況、【Q23】適合性判断の実施状況、【Q23-2】適合性判断の記録作成の状況、【Q24】福祉用具の利用効果説明の実施状況、【Q26】10日以内のモニタリングの実施状況、【Q27】定期的なモニタリングの実施状況、【Q29】モニタリング結果の記録状況、【Q29-2】モニタリング結果記録のケアマネジャーへの報告の状況、【Q31】モニタリング後のサービス担当者会議への参加状況

③ 福祉用具利用計画書の作成

- ・ 福祉用具利用計画書を作成している福祉用具専門相談員は作成していない福祉用具専門相談員よりも、業務の実施状況が高くなる傾向が業務プロセス全般に見られる。
- ・ 特に相関が強い項目は下記のものである。
 - 【Q13】必要性判断の際の記録の状況、【Q22】適合調整の実施状況、【Q23-2】適合性判断の記録作成の状況

④ 適合性判断の記録の実施状況

- ・ 適合性判断の記録をほぼすべてのケースで実施している福祉用具専門相談員ほど、業務の実施状況が高くなる傾向が業務プロセス全般に見られる。
- ・ 特に相関が強い項目は下記のものである。
 - 【Q13】 必要性判断の際の記録の状況、【Q18】 福祉用具利用計画書の作成状況、【Q18-3】 福祉用具利用計画書の活用状況、【Q22】 適合調整の実施状況、【Q23-2】 適合性判断の記録作成の状況、【Q26】 10日以内のモニタリングの実施状況、【Q27】 定期的なモニタリングの実施状況、【Q29】 モニタリング結果の記録状況、【Q30】 モニタリング時のケアプラン確認の状況【Q31】 モニタリング後のサービス担当者会議への参加状況

(6) 福祉用具専門相談員の業務実施に係る課題把握

ここでは、福祉用具専門相談員自身がその業務についてどのように認識しているのかを、「①相談員が行うべき重要な業務」と「②日常の業務において問題があると認識している業務内容」という2つの視点で整理を行った。

① 福祉用具専門相談員の業務への認識

- ・ 福祉用具専門相談員が行うべき重要な業務として福祉用具専門相談員自身が捉えている業務内容は、上位から「利用者の状況把握・記録作成」(56.8%)、「利用者・介護者への用具の利用説明」(38.4%)、「定期的なモニタリング」(36.9%)、「用具の適合調整」(35.3%)となっている。

② 日常の業務における問題

- ・ 福祉用具専門相談員が、問題があると認識している業務内容は、上位から「利用計画の作成」(26.1%)、「利用者の状況把握、記録作成」(20.5%)、「福祉用具利用の改善目標の設定・福祉用具候補の選定」(19.9%)、「用具の適合性判断、記録作成」(17.4%)となっている。

図表 3-4 日常の業務における重要度と問題に関する福祉用具専門相談員の認識

プロセス	業務項目	Q32 (重要)	Q33 (問題有)	問題の内容 (15%以上の回答のみ記載)
必要性判断・品目の選定	利用者の状況把握、記録作成	56.8%	20.5%	1. ケアマネジャーから十分に情報が提供されていない(48.5%)
	福祉用具利用の目標の設定・福祉用具候補の選定	26.5%	19.9%	1. 業務のマニュアルや書式がなく定式化されていない(22.0%) 2. ケアマネジャーから十分に情報が提供されていない(21.2%) 3. 福祉用具専門相談員としての知識・スキルが不足している(19.6%)
	事業所内での会議	3.0%	10.3%	1. 福祉用具専門相談員として以外の業務が多すぎる ¹ (30.3%) 2. 業務のマニュアルや書式がなく定式化されていない(18.0%) 3. 福祉用具専門相談員としての知識・スキルが不足している(15.2%)
	利用計画の作成	3.0%	26.1%	1. 業務のマニュアルや書式がなく定式化されていない(33.5%) 2. 福祉用具専門相談員として以外の業務が多すぎる(24.5%)
	サービス担当者会議への参加	13.0%	14.2%	1. 福祉用具専門相談員として以外の業務が多すぎる(32.6%) 2. ケアマネジャーから十分に情報が提供されていない(24.9%) 3. その他(22.1%)
	選定理由の利用者への説明	11.1%	6.5%	1. 福祉用具専門相談員としての知識・スキルが不足している(24.1%)
導入	契約(取扱説明書の交付等含む)	16.7%	3.2%	1. その他(36.5%) 2. 福祉用具専門相談員として以外の業務が多すぎる(17.1%)

¹ 「福祉用具専門相談員として以外の業務」については、ヒアリング調査及び検討委員会における議論から、多岐にわたる書類作成や事業所長としての業務等が想定されていることが指摘された。ただし、検討委員会での議論においては、本来であれば多岐にわたる書類作成も福祉用具専門相談員としての専門的な業務に含まれるとの指摘がなされている。

	搬入・設置	9.0%	4.6%	<ol style="list-style-type: none"> 1. レンタル卸業者が対応している(44.1%) 2. 福祉用具専門相談員として以外の業務が多すぎる(16.9%)
適合性判断・利用指導	用具の適合調整	35.3%	9.5%	<ol style="list-style-type: none"> 1. 福祉用具専門相談員としての知識・スキルが不足している(40.5%) 2. レンタル卸業者が対応している(19.8%)
	適合性判断、記録作成	21.3%	17.4%	<ol style="list-style-type: none"> 1. 業務のマニュアルや書式がなく定式化されていない(36.9%) 2. 福祉用具専門相談員としての知識・スキルが不足している(21.5%) 3. 福祉用具専門相談員として以外の業務が多すぎる(18.9%)
	利用者・介護者への利用指導	38.4%	4.8%	<ol style="list-style-type: none"> 1. 福祉用具専門相談員としての知識・スキルが不足している(31.1%) 2. レンタル卸業者が対応している(24.6%) 3. その他(16.4%)
	他のサービス事業者への利用指導	0.8%	17.0%	<ol style="list-style-type: none"> 1. その他(30.7%) 2. 福祉用具専門相談員として以外の業務が多すぎる(19.7%)
モニタリング	納品後 10 日以内のモニタリング、結果の記録作成	8.3%	16.3%	<ol style="list-style-type: none"> 1. 福祉用具専門相談員として以外の業務が多すぎる(47.4%)
	定期的なモニタリング、結果の記録作成	36.9%	13.8%	<ol style="list-style-type: none"> 1. 福祉用具専門相談員として以外の業務が多すぎる(46.6%)
	モニタリング結果の活用	9.4%	10.9%	<ol style="list-style-type: none"> 1. 福祉用具専門相談員として以外の業務が多すぎる(18.0%) 2. 福祉用具専門相談員としての知識・スキルが不足している(17.3%) 3. ケアマネジャー等に十分に情報提供していない(15.1%)
	モニタリング後のサービス担当者会議への参加	4.0%	13.8%	<ol style="list-style-type: none"> 1. 福祉用具専門相談員として以外の業務が多すぎる(36.4%) 2. その他(22.2%) 3. ケアマネジャーから十分に情報が提供されていない(19.3%)

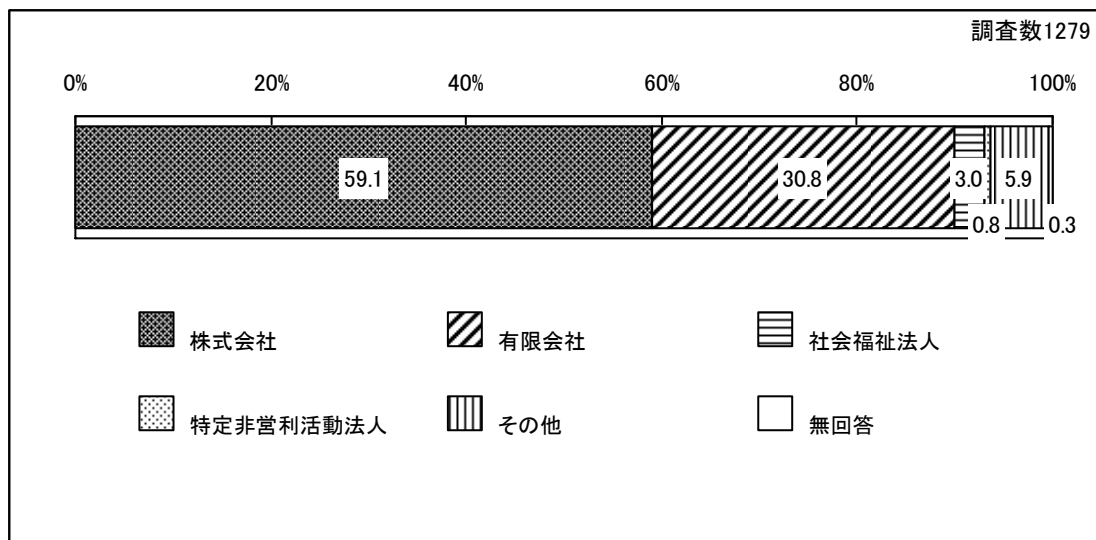
3. 調査結果詳細

(1) 事業所の基本属性

【Q1】事業所の団体分類

事業所の団体分類について尋ねた。「株式会社」が最も多く全体の59.1%を占める。続いて「有限会社」が30.8%となっており、福祉用具貸与事業所の90%程度が民間企業であることがわかる。

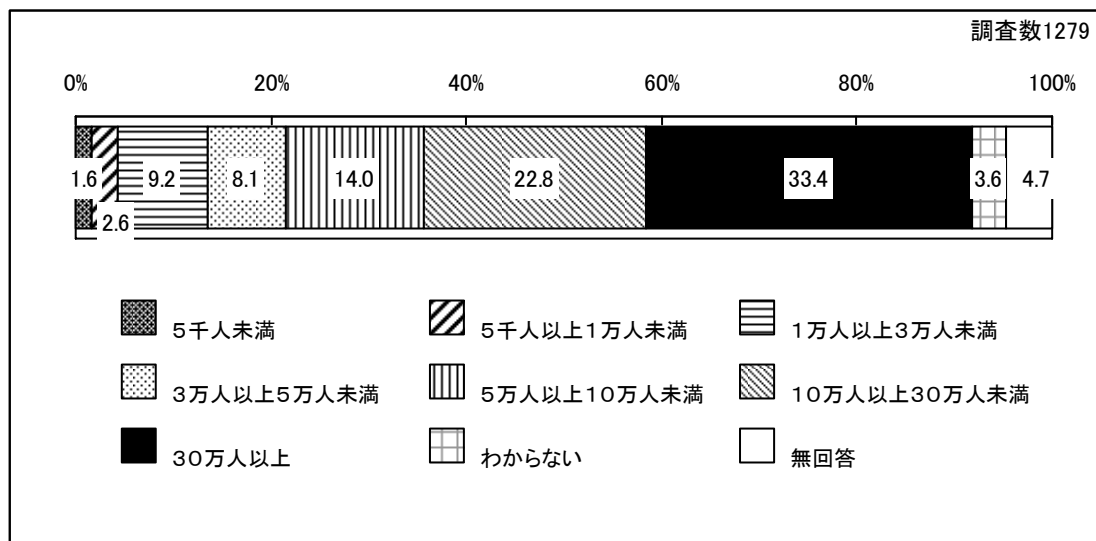
図表 3-5 事業所の団体分類



【Q2】事業所の所在地

事業所の所在地の市町村の人口規模について尋ねた。「30万人以上の市町村」が最も多く、33.4%である。続いて「10万人以上30万人未満」の市町村が22.8%、「5万人以上10万人未満」の市町村が14.0%である。

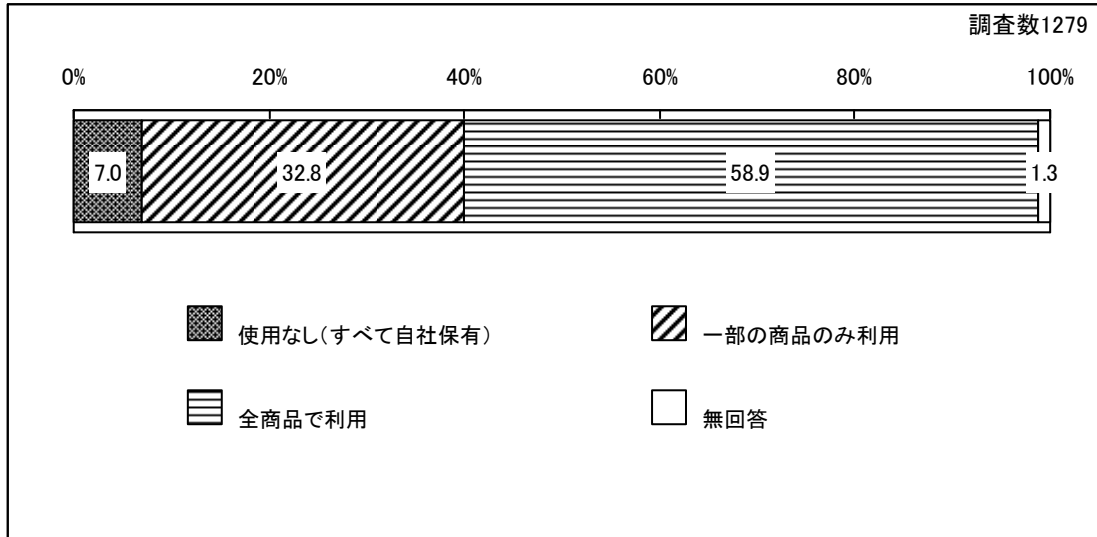
図表 3-6 事業所の所在地



【Q3】 レンタル卸の利用状況

レンタル卸の利用状況について尋ねた。レンタル卸を「全商品で利用」、58.9%で最も多い。「一部の商品のみ利用」は32.8%であり、90%以上の事業所がレンタル卸を利用していることがわかる。

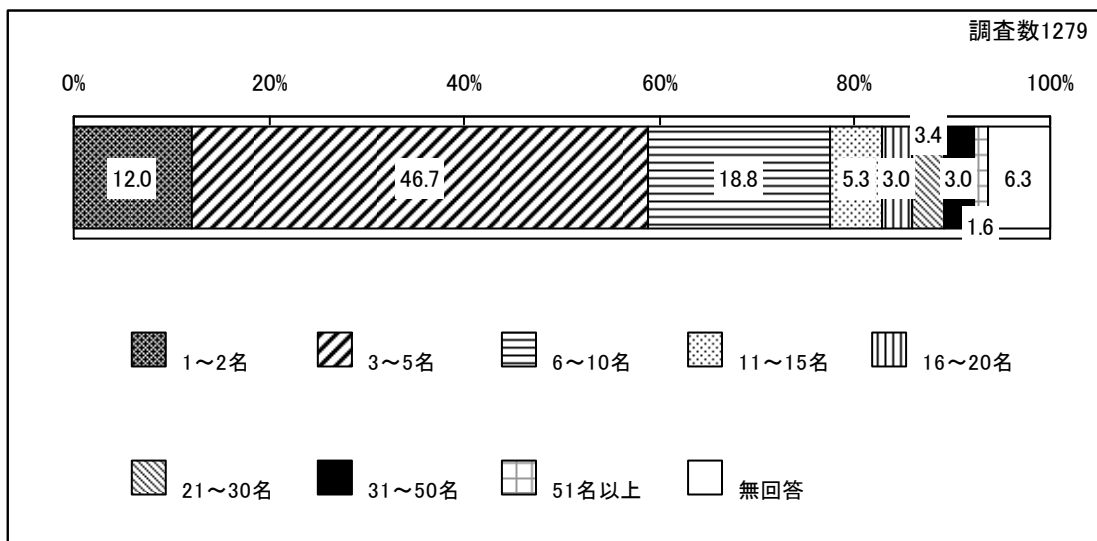
図表 3-7 レンタル卸の利用状況



【Q4】 事業所の従業員数 (1a)事業所の従業員数

事業所の従業員数について尋ねた。事業所の従業員数は「3~5名」が最も多く46.7%である。続いて「6~10名」が18.8%、「1~2名」が12.0%となっており、10名以下の事業所で全体の80%弱を占めていることがわかる。

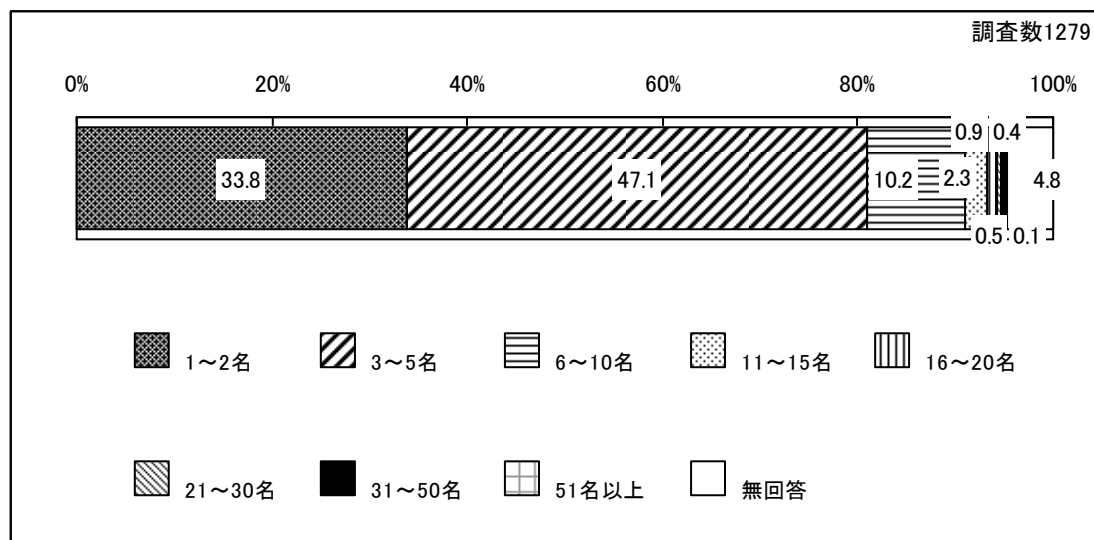
図表 3-8 事業所の従業員数 (1a)事業所の従業員数



(1b) 福祉用具専門相談員数

事業所の従業員のうち福祉用具専門相談員数について尋ねた。「3～5名」が47.1%であり、続いて「1～2名」²が33.8%となっている。80%強の事業所で福祉用具専門相談員は5名以内であることがわかる。

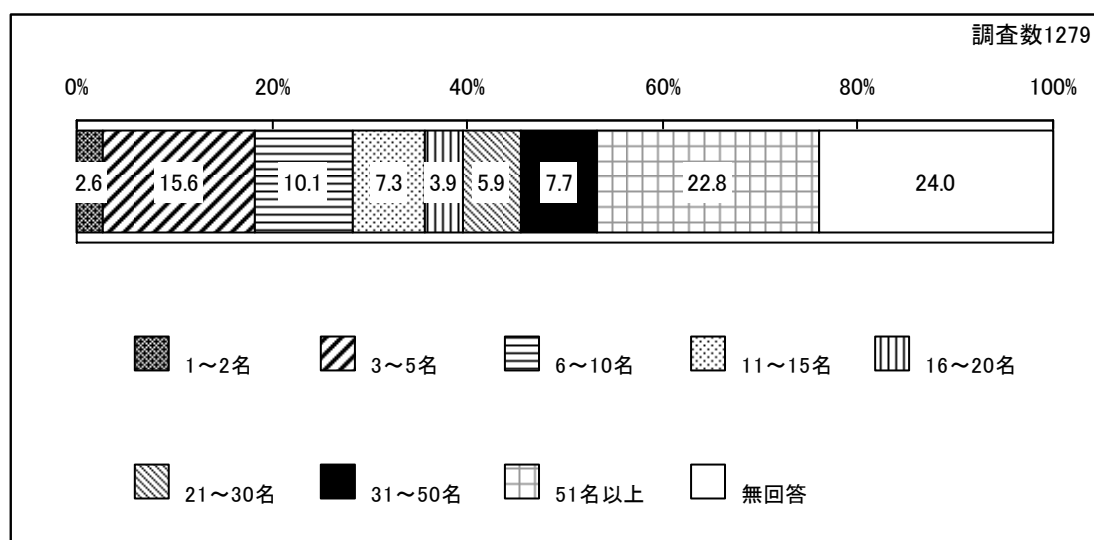
図表 3-9 事業所の従業員数 (1b) 福祉用具専門相談員数



(2) 法人全体の従業員数

法人全体の従業員数について尋ねた。「51名以上」の事業所が22.8%と最も多いが、50名以下の法人が全体の50%以上を占めていることが特徴的である。

図表 3-10 法人全体の従業員数

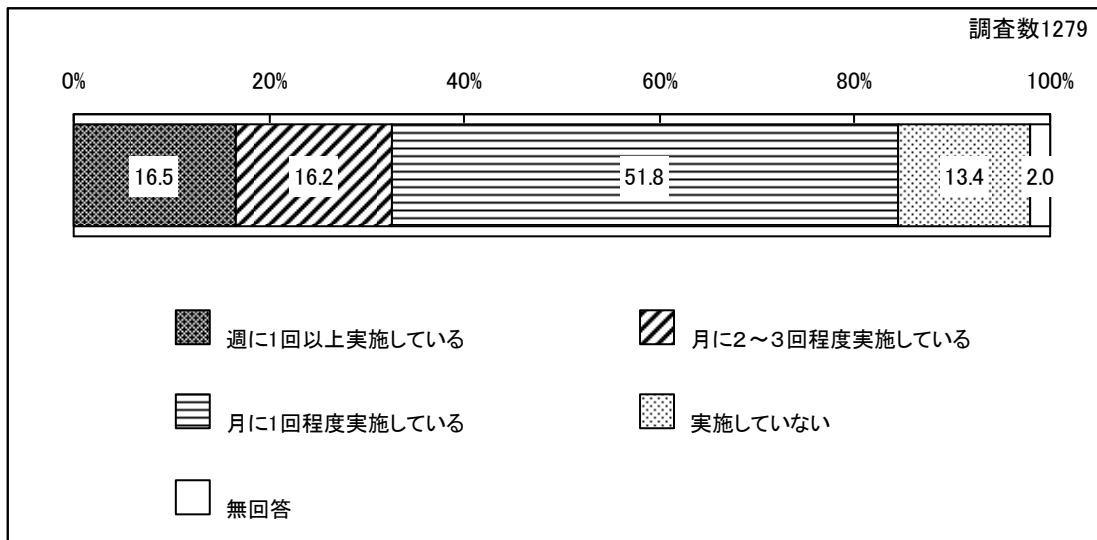


² 指定福祉用具貸与事業者は福祉用具専門相談員を常勤換算で2名以上配置することが指定基準により定められているが、アンケート結果には「1名」との回答も散見された。この点については、事業所長等の常勤管理者を除いた実務担当の福祉用具専門相談員数のみを記入していること等が想定される。

【Q5】事業所内での定期的な会議の実施状況

事業所内での情報共有（商品や制度動向等）を図るための定期的な会議の実施状況について尋ねた。「月に1回程度実施している」が51.8%と最も多く、「月に2～3回」、「週に1回以上」がそれぞれ16%程度となっている。「実施していない」と回答した事業所は13.4%であり、全体の80%以上の事業所が定期的な会議を実施していることがわかる。

図表 3-11 事業所内での定期的な会議の実施状況

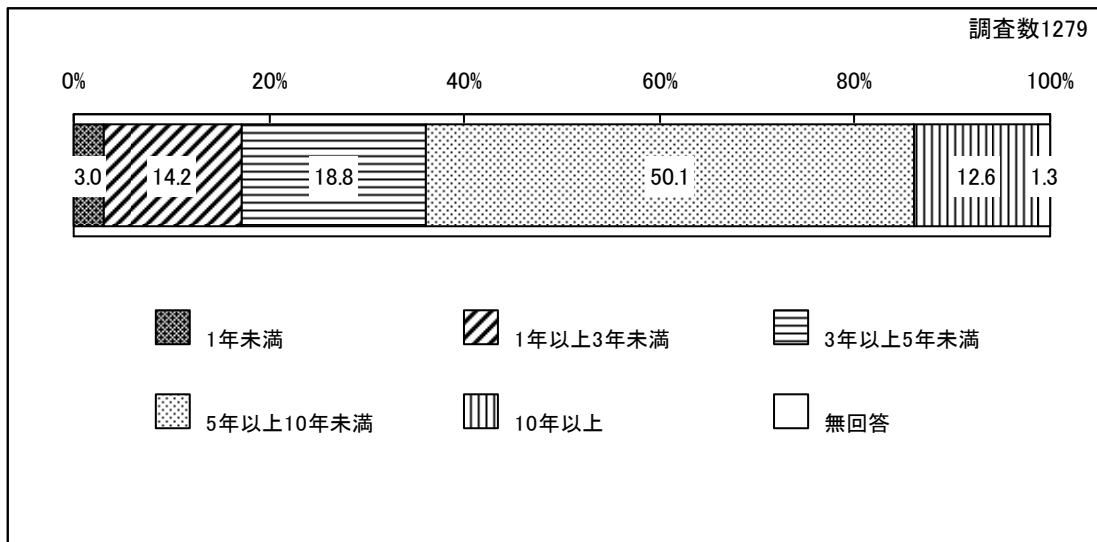


(2) 回答者の基本属性

【Q6】 福祉用具専門相談員としての経験年数

福祉用具専門相談員としての経験年数について尋ねた。「5年以上10年未満」が50.1%で最も多く、「3年以上5年未満」が18.8%と続いている。一方で「10年以上」という回答も12.6%と一定数存在している。

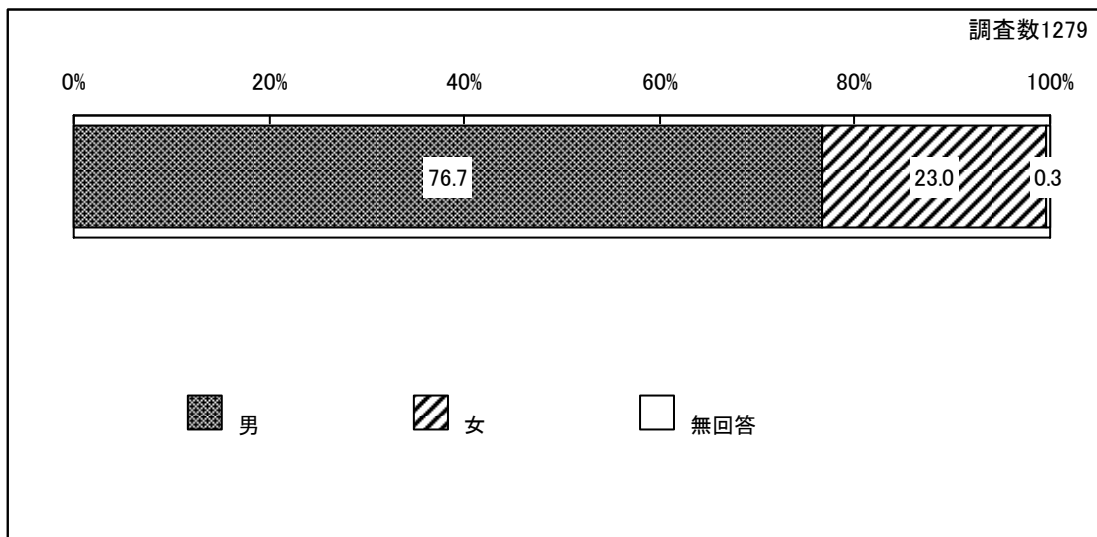
図表 3-12 福祉用具専門相談員としての経験年数



【Q7】 性別

福祉用具専門相談員の性別について尋ねた。「男性」が76.7%であり、福祉用具専門相談員の約8割は男性であることがわかる。

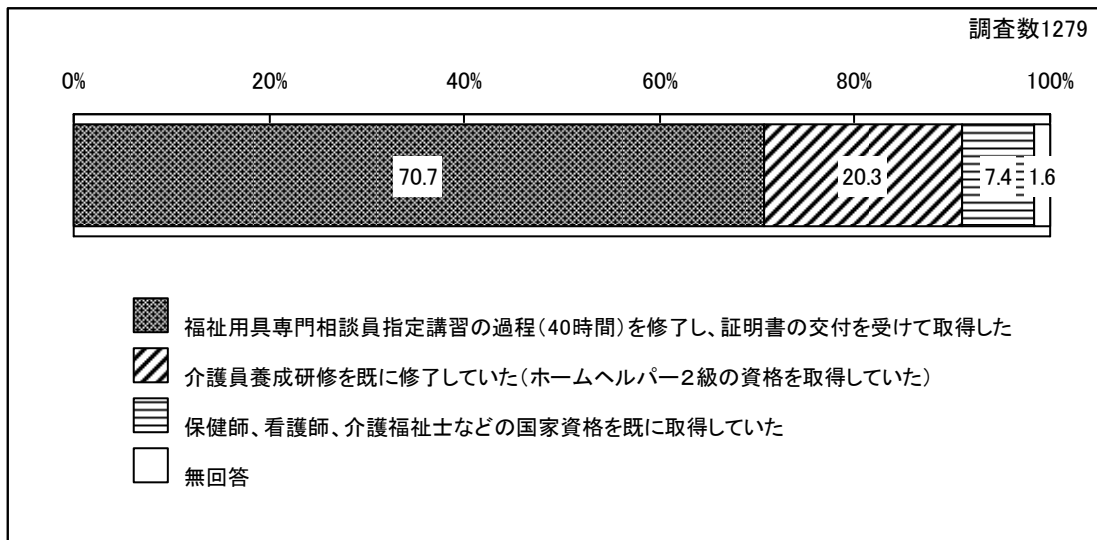
図表 3-13 性別



【Q8】 資格取得経路

福祉用具専門相談員の資格取得経路について尋ねた。「40時間の指定講習を受けた者」が70.7%であり最も多い。続いて「ホームヘルパー2級資格取得者」が20.3%、「保健師、看護師、介護福祉士等の国家資格を取得していた者」は7.4%となっており、福祉用具専門相談員の多くは福祉用具専門相談員指定講習を経て資格を取得していることがわかる。

図表 3-14 資格取得経路

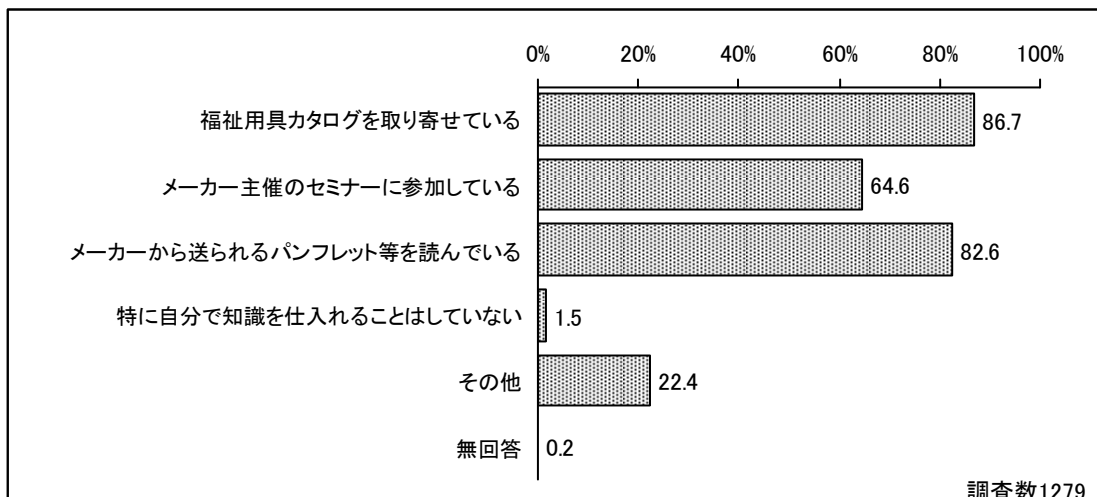


【Q9】 福祉用具に関する知識の入手経路

福祉用具に関する知識をどのように入手しているのかについて尋ねた。「福祉用具カタログを取り寄せている」、「メーカーから送られてくるパンフレット等を読んでいる」が共に80%以上である。「メーカー主催のセミナーに参加している」が64.6%であり続いている。

また「その他」への回答が22.4%である。回答の内訳としては、「インターネットの活用」、「福祉用具の展示会（国際福祉機器展等）への参加」「レンタル卸から情報を入手する」「社内勉強会に参加する」等があった。

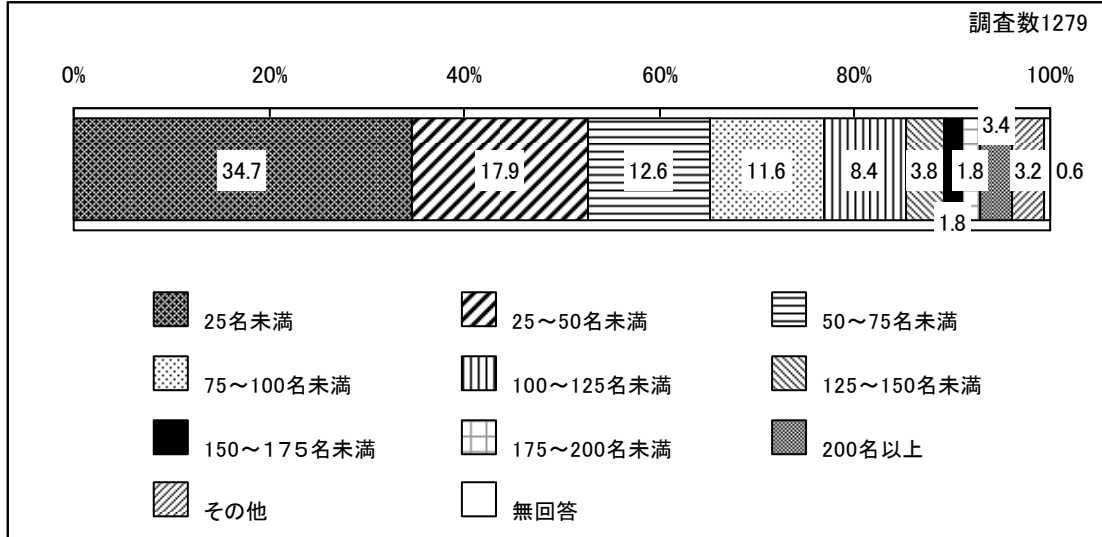
図表 3-15 福祉用具に関する知識の入手経路



【Q10】 常時担当している利用者数

常時担当している利用者数について尋ねた。「25名未満」が34.7%と最も多く、続いて「25～50名未満」が17.9%と続いている。福祉用具専門相談員の半数以上は50名未満の利用者を担当していることがわかる。

図表 3-16 常時担当している利用者数



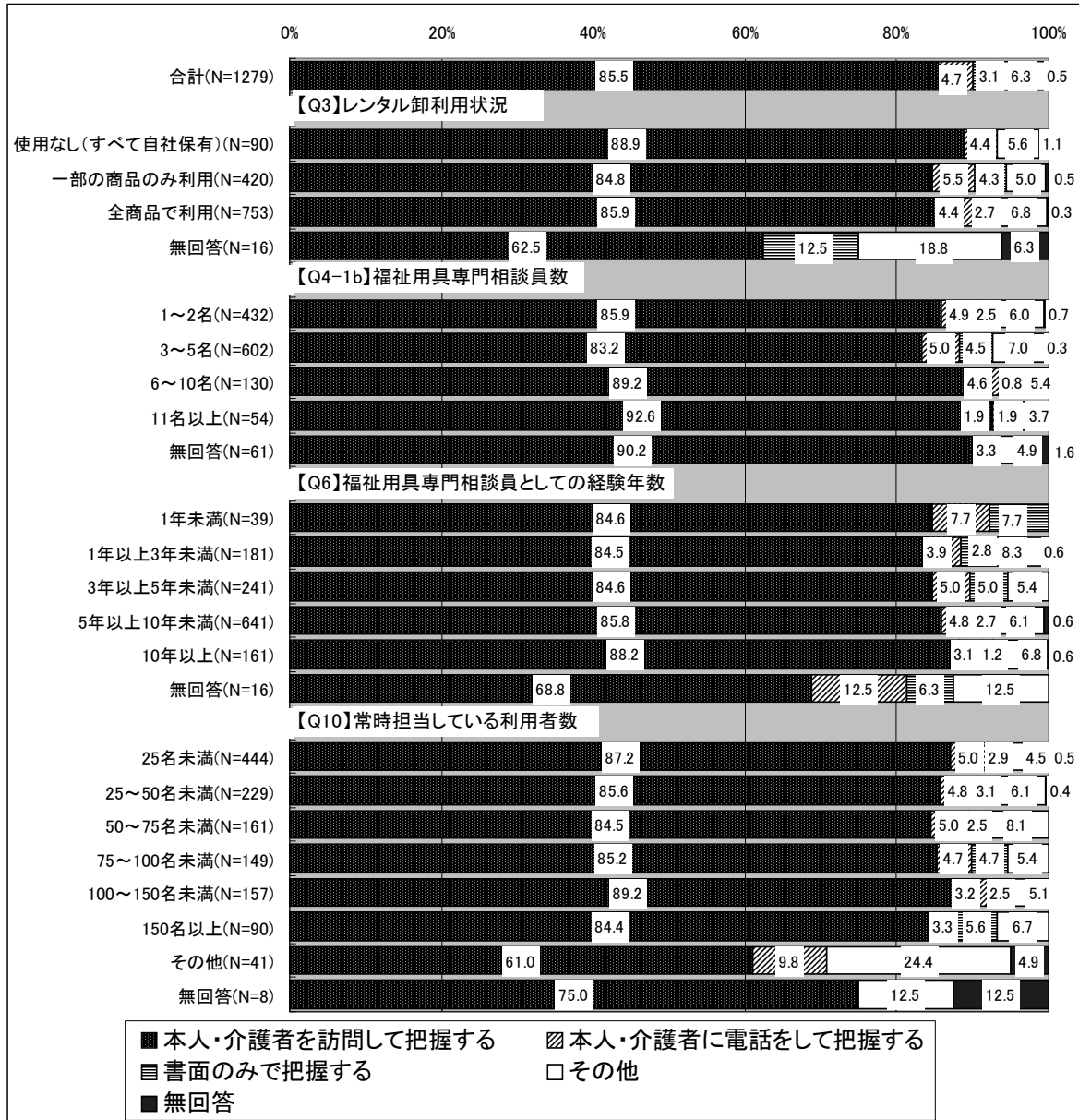
(3) 日常の実施状況

① 必要性判断・品目の選定

【Q11】 必要性判断のためのアセスメント手段

必要性判断のためのアセスメント手段について尋ねた。「本人・介護者を訪問して把握する」が85.5%であり、福祉用具専門相談員の多くはアセスメントのために利用者・介護者を訪問していることがわかる。

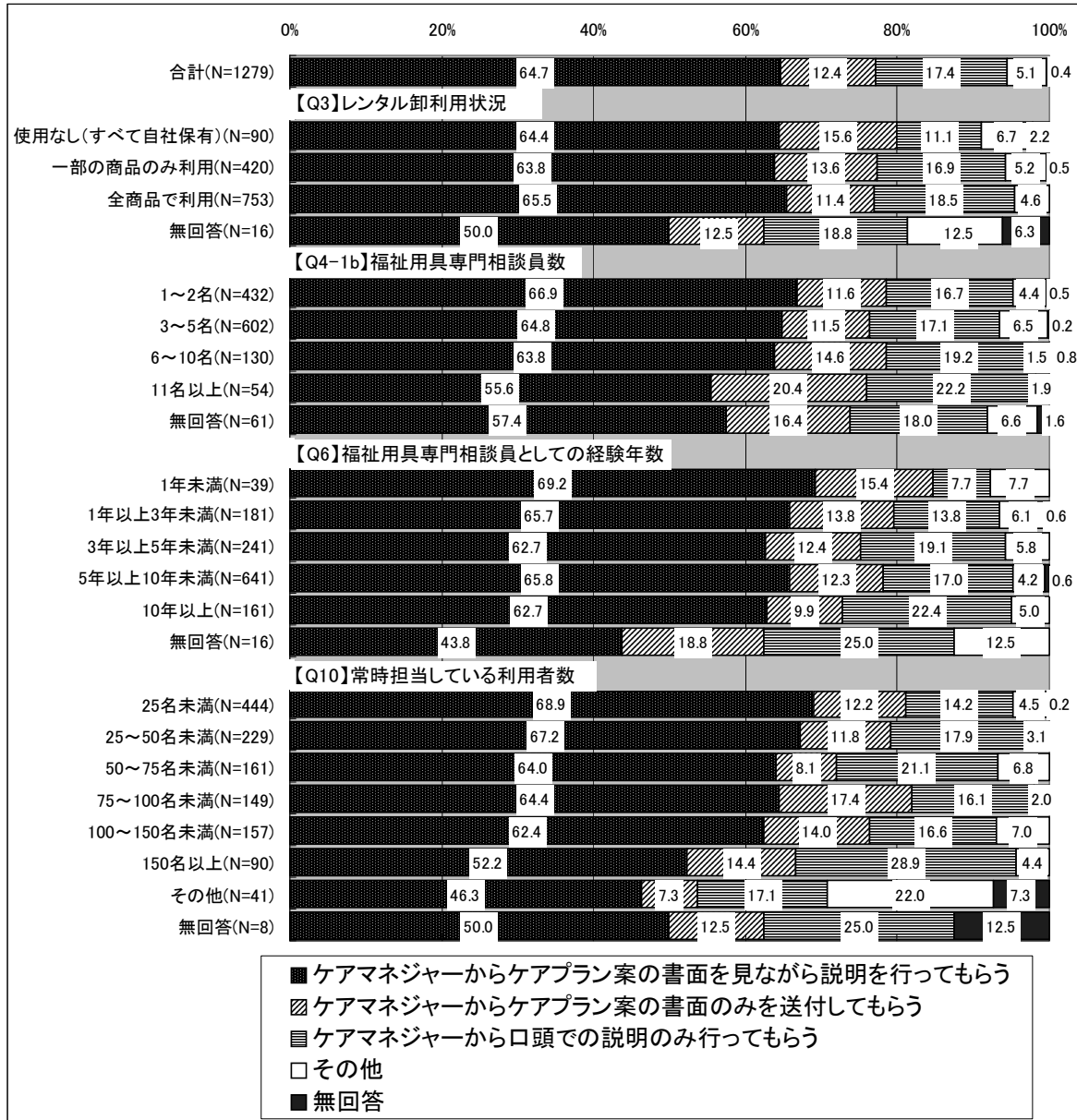
図表 3-17 必要性判断のためのアセスメント手段



【Q12】 必要性判断の際のケアマネジャーとの連携の状況

必要性判断の際のケアマネジャーとの連携の状況について尋ねた。「ケアマネジャーからケアプラン案の書面を見ながら説明を行ってもらう」が64.7%で最も多く、続いて「ケアマネジャーから口頭での説明のみ行ってもらう」が17.4%、「ケアマネジャーからケアプラン案の書面のみを送付してもらう」が12.4%となっている。80%弱の福祉用具専門相談員がケアプランの書面を受け取っているが、残りの20%弱はケアプランを受け取っていないことがわかる。

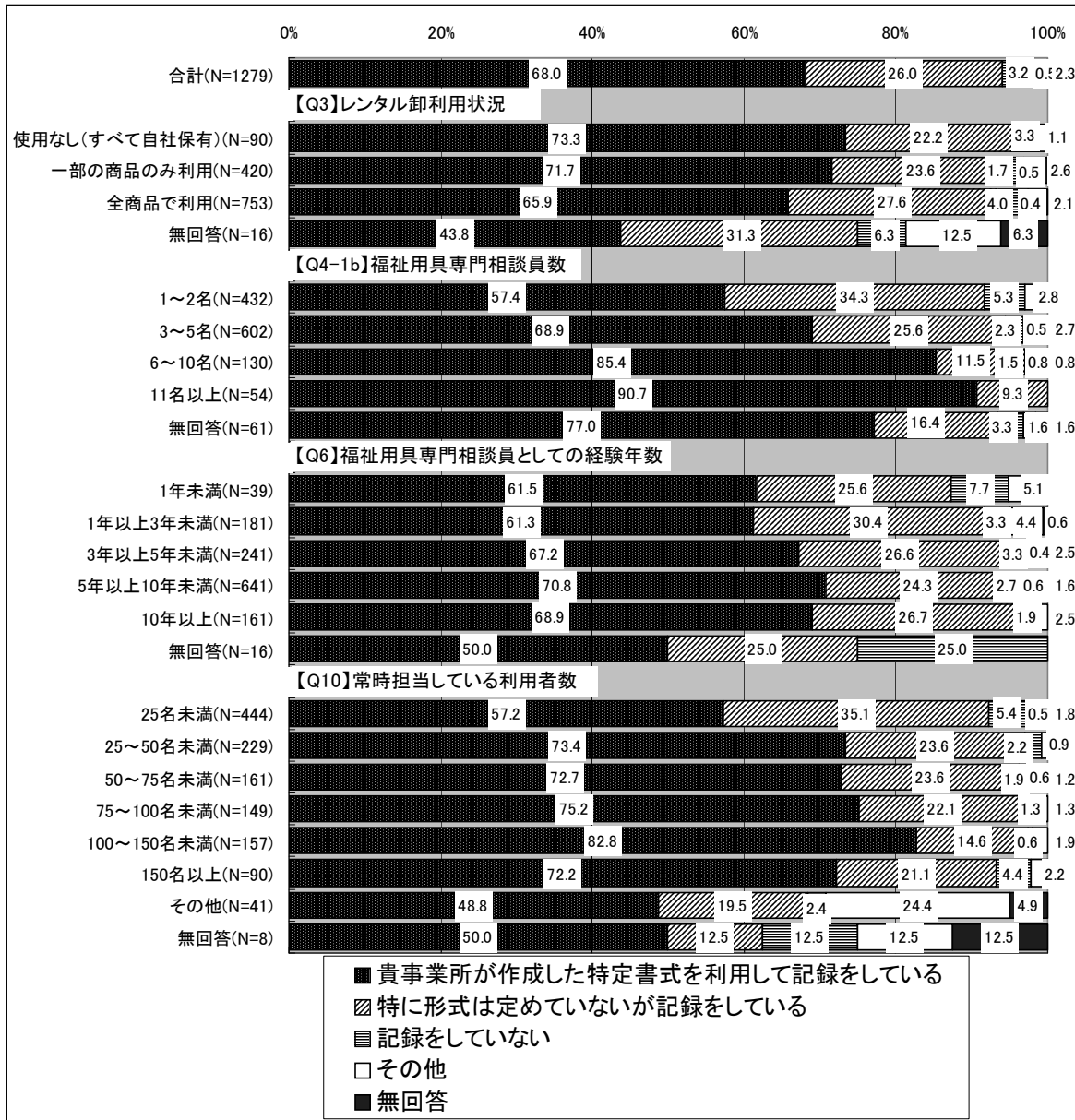
図表 3-18 必要性判断の際のケアマネジャーとの連携の状況



【Q13】 必要性判断の際の記録の状況

必要性判断の際の記録作成の状況について尋ねた。「事業所が作成した特定書式を利用して記録をしている」が 68.0%、「特に形式は定めていないが記録をしている」が 26.0%である。何らかの形で 90%強の福祉用具専門相談員が必要性判断の際に記録作成を行っていることがわかる。

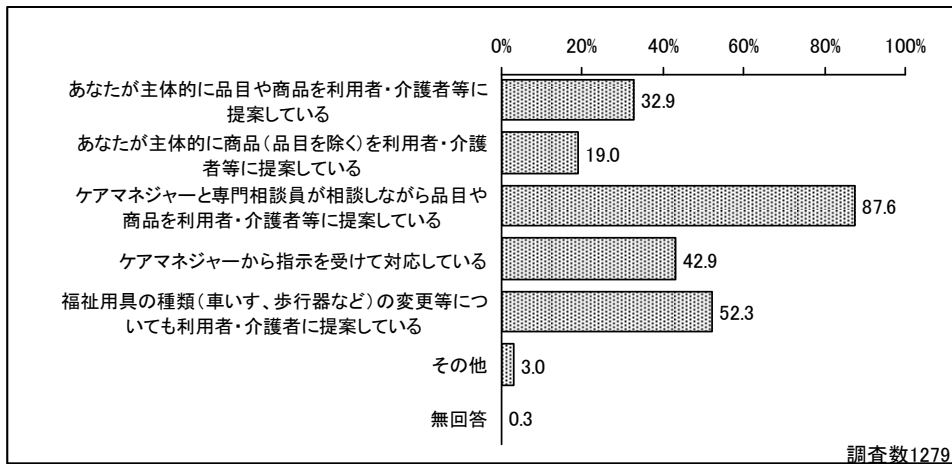
図表 3-19 必要性判断の際の記録の状況



【Q14】 福祉用具の選定方法

福祉用具の選定方法について尋ねた（複数回答可）。「ケアマネジャーと専門相談員が相談しながら品目や商品を利用者・介護者等に提案している」が 87.6%と多い一方で、「ケアマネジャーから指示を受けて対応している」が 42.9%であり、「あなたが主体的に品目や商品を利用者・介護者等に提案している」「あなたが主体的に商品（品目を除く）を利用者・介護者等に提案している」は 32.9%、19.0%に留まっている。原則としてケアマネジャーと福祉用具専門相談員が相談しながら福祉用具を選定しているが、福祉用具専門相談員に比べてケアマネジャーの裁量が大きいことが推測される。

図表 3-20 福祉用具の選定方法



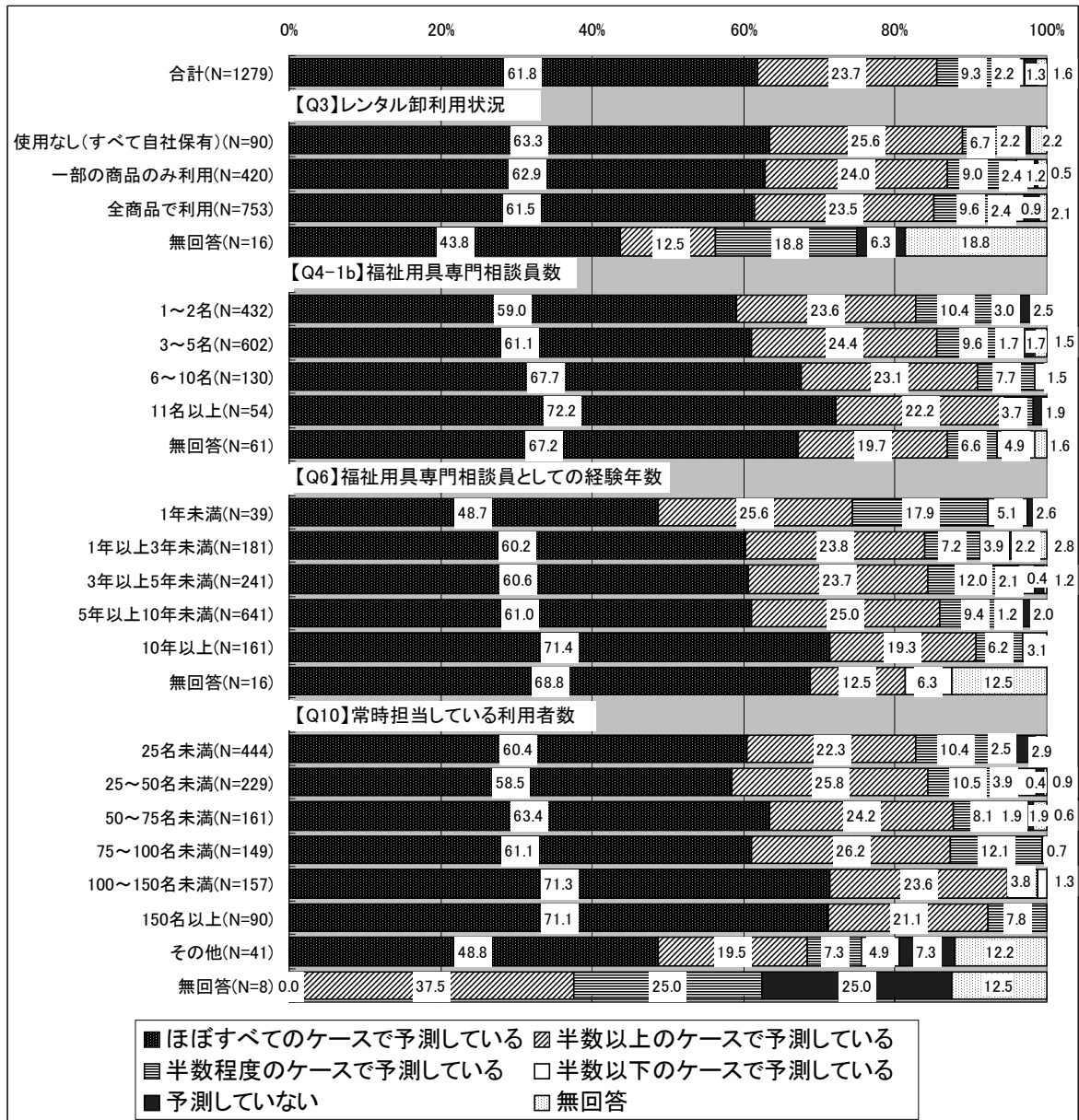
図表 3-21 福祉用具の選定方法 クロス集計表

		あなたが主体的に品目や商品を利用者・介護者等に提案している	あなたが主体的に商品（品目を除く）を利用者・介護者等に提案している	ケアマネジャーと専門相談員が相談しながら品目や商品を利用者・介護者等に提案している	ケアマネジャーから指示を受けて対応している	福祉用具の種類（車いす、歩行器など）の変更等についても利用者・介護者に提案している	その他
Q3. レンタル卸の利用状況	使用なし（すべて自社保有）(N=90)	40.0%	20.0%	73.3%	37.8%	58.9%	2.2%
	一部の商品のみ利用(N=420)	36.7%	24.0%	91.0%	41.7%	56.7%	2.9%
	全商品で利用(N=753)	30.3%	16.2%	88.0%	44.2%	49.5%	2.9%
	無回答(N=16)	18.8%	12.5%	62.5%	43.8%	31.3%	18.8%
Q4-1b. 福祉用具専門相談員数	1～2名(N=432)	29.4%	14.8%	83.8%	41.7%	45.6%	2.8%
	3～5名(N=602)	33.4%	19.9%	88.7%	44.2%	53.5%	3.3%
	6～10名(N=130)	41.5%	25.4%	93.8%	46.9%	63.8%	3.1%
	11名以上(N=54)	40.7%	31.5%	90.7%	37.0%	63.0%	3.7%
	無回答(N=61)	27.9%	14.8%	88.5%	36.1%	54.1%	1.6%
Q6. 福祉用具専門相談員としての経験年数	1年未満(N=39)	20.5%	10.3%	76.9%	38.5%	30.8%	7.7%
	1年以上3年未満(N=181)	29.8%	16.0%	84.0%	47.0%	44.2%	1.7%
	3年以上5年未満(N=241)	31.5%	20.3%	90.5%	44.4%	52.7%	1.7%
	5年以上10年未満(N=641)	32.8%	18.4%	89.1%	44.1%	55.9%	3.6%
	10年以上(N=161)	42.9%	25.5%	85.7%	33.5%	54.0%	3.7%
	無回答(N=16)	25.0%	12.5%	75.0%	31.3%	31.3%	0.0%
Q10. 常時担当している利用者数	25名未満(N=444)	24.1%	14.4%	82.2%	45.9%	38.7%	2.5%
	25～50名未満(N=229)	36.2%	16.2%	93.0%	46.7%	55.9%	2.2%
	50～75名未満(N=161)	33.5%	24.8%	90.7%	46.0%	60.9%	4.3%
	75～100名未満(N=149)	31.5%	23.5%	94.0%	38.9%	67.1%	2.0%
	100～150名未満(N=157)	51.0%	22.9%	92.4%	36.3%	64.3%	2.5%
	150名以上(N=90)	46.7%	30.0%	91.1%	36.7%	63.3%	1.1%
	その他(N=41)	17.1%	7.3%	61.0%	29.3%	26.8%	19.5%
	無回答(N=8)	12.5%	12.5%	62.5%	50.0%	25.0%	0.0%

【Q15】 福祉用具選定の際の利用効果予測の状況

福祉用具を選定する際の利用効果予測の頻度について尋ねた。「ほぼすべてのケースで予測している」は61.8%、「半数以上のケースで予測している」が23.7%、「半数程度のケースで予測している」が9.3%である。90%強の福祉用具専門相談員が、半数程度のケースにおいて福祉用具の利用効果を予測していることがわかる。

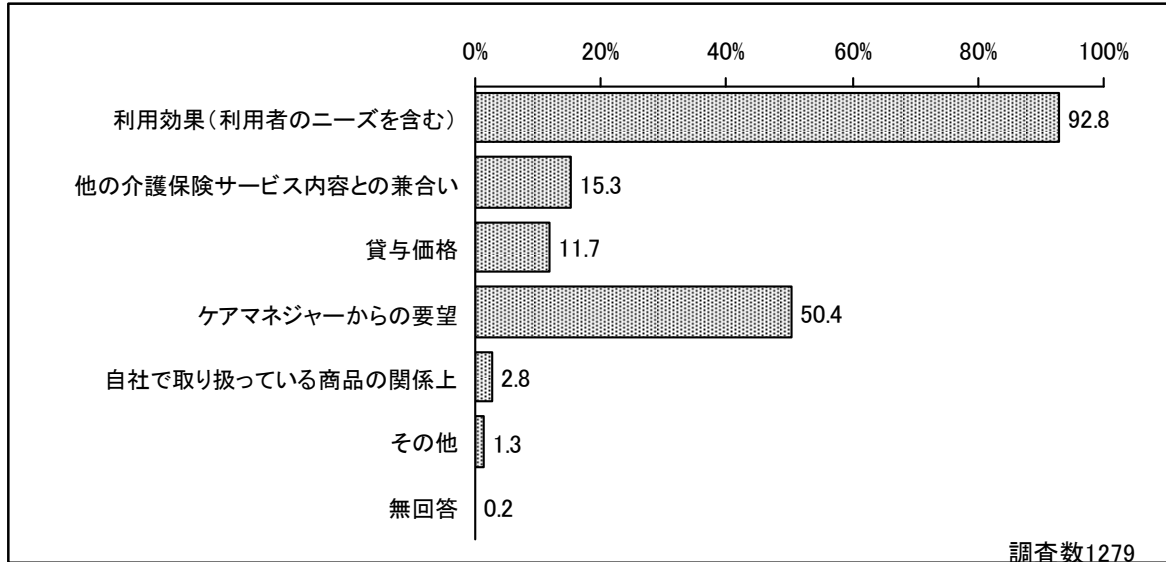
図表 3-22 福祉用具選定の際の利用効果予測の状況



【Q16】 福祉用具選定の際に重要視する点

福祉用具選定の際に重要視している点について尋ねた（複数回答可）。「利用効果（利用者のニーズ含む）」が 92.8%と最も多く、次に「ケアマネジャーからの要望」が 50.4%となっている。ここでも福祉用具選定の際にケアマネジャーの裁量が大きいことがわかる。

図表 3-23 福祉用具選定の際に重要視する点



図表 3-24 福祉用具選定の際に重要視する点 クロス集計表

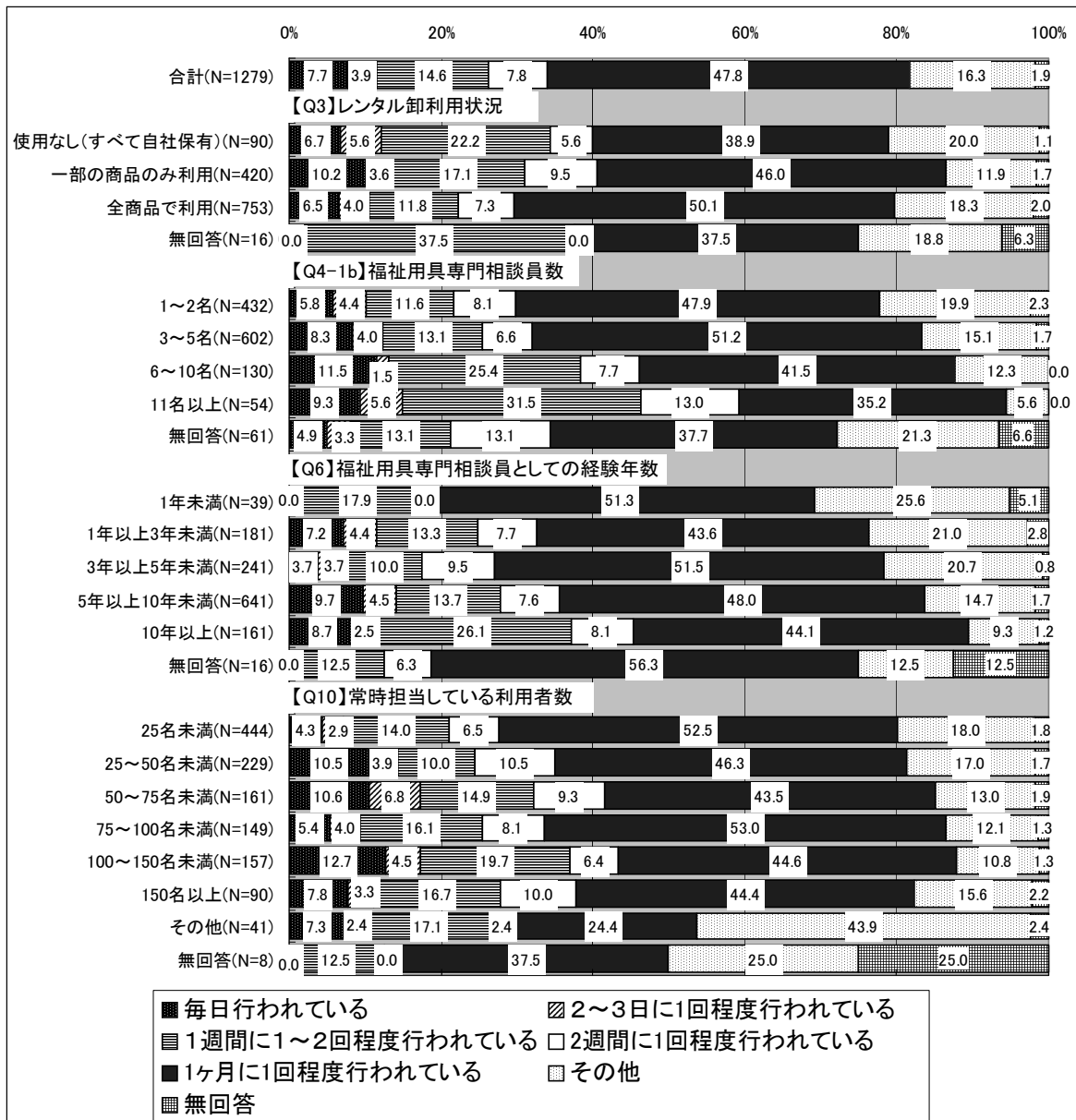
	利用効果 (利用者の ニーズを含 む)	他の介護保 険サービス 内容との兼 合い	貸与価格	ケアマネ ジャーから の要望	自社で取り 扱っている 商品の関係 上	その他	
Q3. レンタル卸の利用状況	使用なし（すべて自社保有）(N=90)	86.7%	18.9%	12.2%	44.4%	5.6%	1.1%
	一部の商品のみ利用(N=420)	93.3%	14.8%	11.4%	51.9%	4.3%	1.2%
	全商品で利用(N=753)	93.6%	15.3%	11.8%	50.3%	1.6%	1.2%
	無回答(N=16)	75.0%	12.5%	12.5%	50.0%	6.3%	12.5%
Q4-1b. 福祉用具専門相談員数	1～2名(N=432)	91.4%	12.5%	13.0%	51.4%	3.2%	0.9%
	3～5名(N=602)	93.5%	15.8%	12.3%	51.2%	2.5%	2.0%
	6～10名(N=130)	96.2%	16.2%	6.2%	53.1%	3.1%	0.8%
	11名以上(N=54)	96.3%	22.2%	7.4%	40.7%	5.6%	0.0%
	無回答(N=61)	85.2%	23.0%	13.1%	39.3%	0.0%	0.0%
Q6. 福祉用具専門相談員としての経験年数	1年未満(N=39)	89.7%	7.7%	10.3%	46.2%	7.7%	2.6%
	1年以上3年未満(N=181)	91.7%	10.5%	15.5%	51.4%	5.0%	1.1%
	3年以上5年未満(N=241)	90.9%	16.6%	12.4%	51.9%	1.7%	2.1%
	5年以上10年未満(N=641)	93.6%	15.8%	11.7%	51.2%	2.5%	0.9%
	10年以上(N=161)	94.4%	19.9%	7.5%	45.3%	2.5%	1.2%
無回答(N=16)	93.8%	6.3%	6.3%	50.0%	0.0%	6.3%	
Q10. 常時担当している利用者数	25名未満(N=444)	89.4%	9.7%	12.8%	55.0%	1.6%	1.6%
	25～50名未満(N=229)	93.9%	17.5%	10.9%	54.1%	1.7%	0.9%
	50～75名未満(N=161)	96.3%	14.3%	16.1%	50.3%	2.5%	1.9%
	75～100名未満(N=149)	95.3%	20.8%	8.7%	54.4%	2.7%	0.7%
	100～150名未満(N=157)	97.5%	22.3%	8.9%	38.2%	3.2%	1.3%
	150名以上(N=90)	97.8%	21.1%	12.2%	36.7%	5.6%	0.0%
	その他(N=41)	78.0%	12.2%	7.3%	43.9%	12.2%	4.9%
無回答(N=8)	62.5%	0.0%	12.5%	50.0%	25.0%	0.0%	

【Q17】 個別の貸与サービス内容に関する事業所内での会議の実施状況

個別の貸与サービス内容に関する事業所内での会議の実施状況について尋ねた。「1カ月に1回程度行われている」が47.8%であり最も多い。また1週間に1回以上会議を実施している（「毎日行われている」「2～3日に1回程度行われている」「1週間に1～2回程度行われている」）事業所は全体の、25%強に上っている。

「その他」が16.3%である。具体的な回答内容としては「必要に応じて実施する」という内容の回答が目立った。

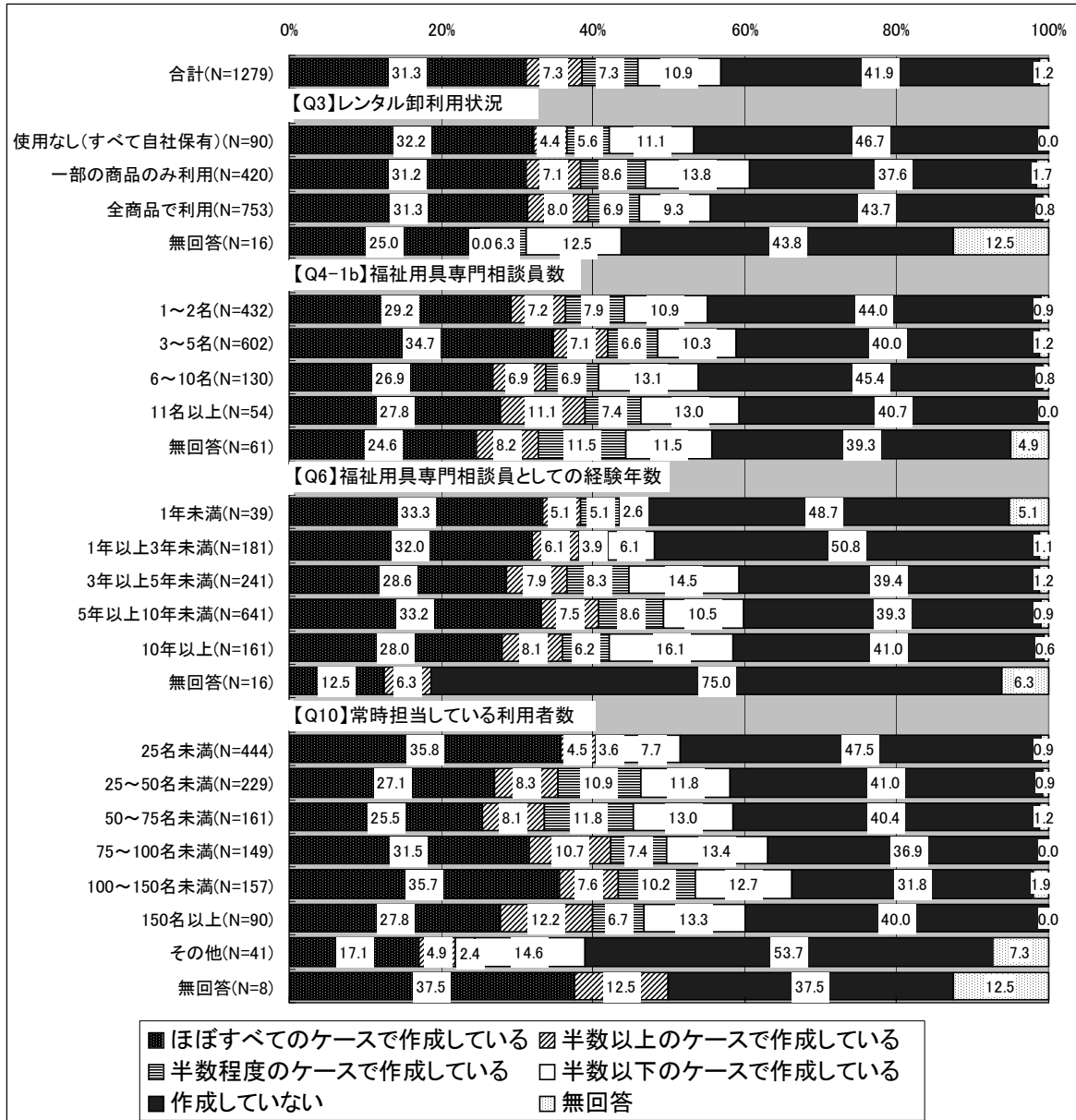
図表 3-25 個別の貸与サービス内容に関する事業所内での会議の実施状況



【Q18】 福祉用具利用計画書の作成状況

福祉用具利用計画書の作成状況について尋ねた。「作成していない」という回答が 41.9%で最も多い。「ほぼすべてのケースで作成している」が 31.3%、「半数以上のケースで作成している」が 7.3%、「半数程度のケースで作成している」が 7.3%、「半数以下のケースで作成している」が 10.9%であり、何らかの形で利用計画書を作成している福祉用具専門相談員は全体の 50%強である。

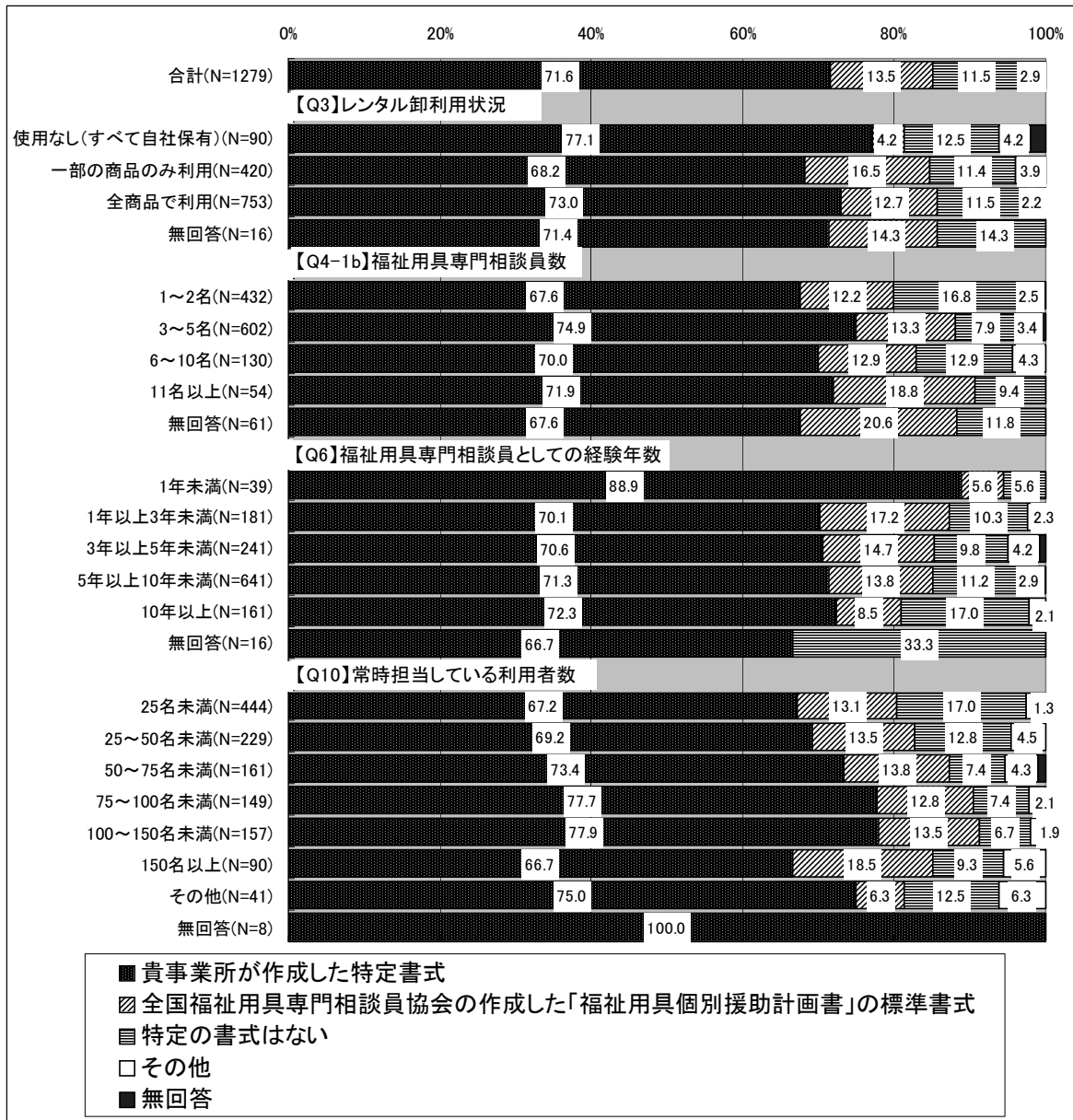
図表 3-26 福祉用具利用計画書の作成状況



【Q18-2】福祉用具利用計画書の書式

Q18 で福祉用具利用計画書を「作成している」と回答した回答者に対して、福祉用具利用計画書の書式について尋ねた。「事業所が作成した特定書式」が71.6%、「福祉用具個別援助計画書の標準書式」が13.5%となっており、80%強の福祉用具専門相談員が特定の書式を用いて福祉用具利用計画書を作成していることがわかる。

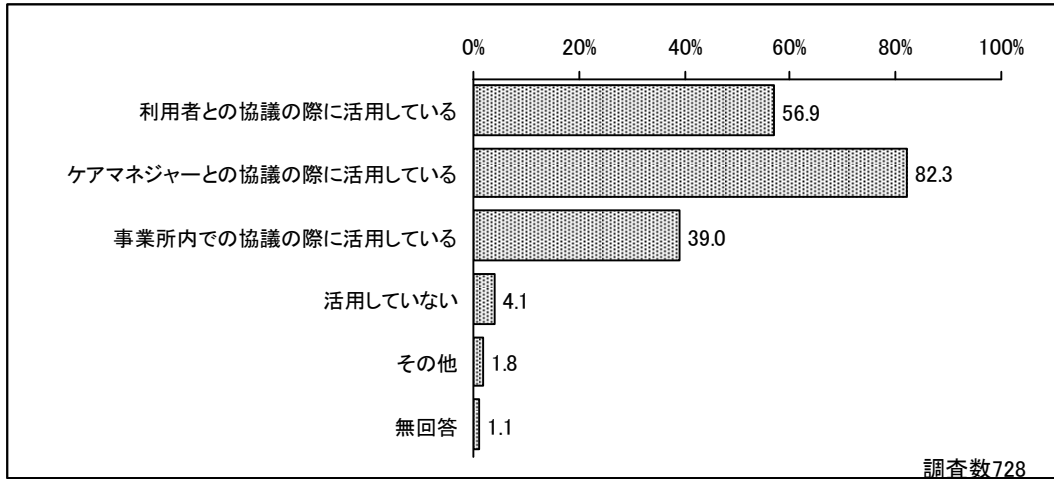
図表 3-27 福祉用具利用計画書の書式



【Q18-3】福祉用具利用計画書の活用状況

Q18 で福祉用具利用計画書を「作成している」と回答した回答者に対して、福祉用具利用計画書の活用状況について尋ねた（複数回答可）。「ケアマネジャーとの協議の際に活用している」が82.3%であり最も多い。続いて「利用者との協議の際に活用している」が56.9%、「事業所内での協議の際に活用している」が39.0%となっている。大半の福祉用具専門相談員がケアマネジャーとの協議に活用していることがわかる。

図表 3-28 福祉用具利用計画書の活用状況



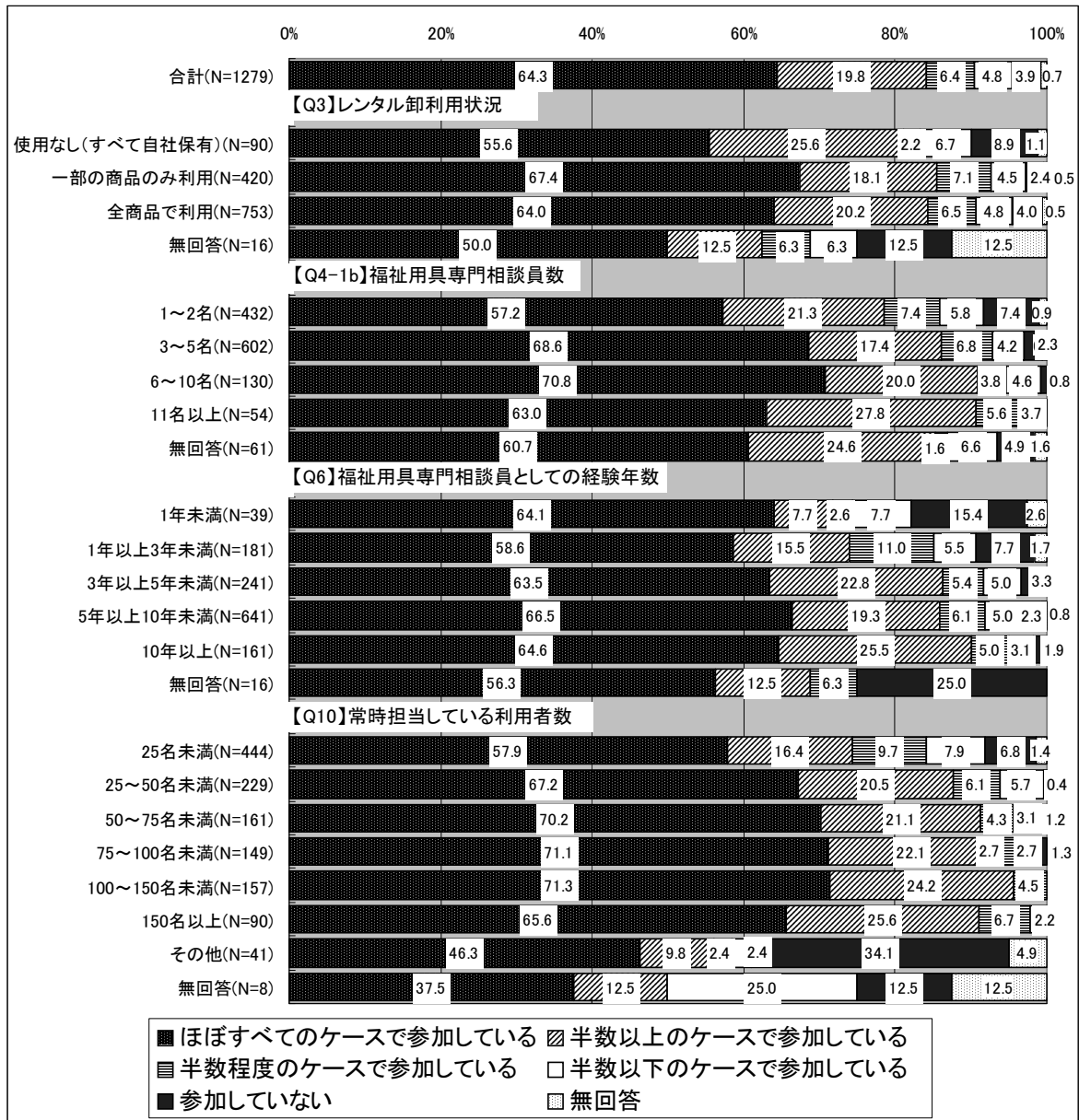
図表 3-29 福祉用具利用計画書の活用状況 クロス集計表

		利用者との協議の際に活用している	ケアマネジャーとの協議の際に活用している	事業所内での協議の際に活用している	活用していない	その他
Q3. レンタル卸の利用状況	使用なし（すべて自社保有）(N=90)	62.5%	83.3%	37.5%	0.0%	6.3%
	一部の商品のみ利用(N=420)	58.4%	85.9%	39.6%	3.9%	0.8%
	全商品で利用(N=753)	55.0%	79.9%	38.8%	4.8%	1.9%
	無回答(N=16)	71.4%	85.7%	42.9%	0.0%	0.0%
Q4-1b. 福祉用具専門相談員数	1～2名(N=432)	52.9%	78.6%	34.0%	5.0%	1.3%
	3～5名(N=602)	58.8%	83.3%	40.1%	3.7%	2.0%
	6～10名(N=130)	61.4%	88.6%	40.0%	4.3%	1.4%
	11名以上(N=54)	62.5%	90.6%	59.4%	3.1%	0.0%
	無回答(N=61)	50.0%	76.5%	41.2%	2.9%	5.9%
Q6. 福祉用具専門相談員としての経験年数	1年未満(N=39)	72.2%	94.4%	44.4%	0.0%	0.0%
	1年以上3年未満(N=181)	56.3%	83.9%	35.6%	6.9%	1.1%
	3年以上5年未満(N=241)	51.0%	76.2%	40.6%	4.9%	3.5%
	5年以上10年未満(N=641)	58.5%	83.3%	39.4%	3.1%	1.0%
	10年以上(N=161)	57.4%	85.1%	36.2%	4.3%	3.2%
無回答(N=16)	33.3%	33.3%	66.7%	33.3%	0.0%	
Q10. 常時担当している利用者数	25名未満(N=444)	60.7%	80.8%	44.5%	3.1%	1.3%
	25～50名未満(N=229)	47.4%	76.7%	39.1%	6.0%	3.0%
	50～75名未満(N=161)	57.4%	85.1%	34.0%	2.1%	0.0%
	75～100名未満(N=149)	52.1%	85.1%	38.3%	2.1%	4.3%
	100～150名未満(N=157)	59.6%	86.5%	31.7%	5.8%	1.9%
	150名以上(N=90)	70.4%	88.9%	40.7%	5.6%	0.0%
	その他(N=41)	50.0%	62.5%	37.5%	12.5%	0.0%
無回答(N=8)	25.0%	100.0%	25.0%	0.0%	0.0%	

【Q19】 サービス担当者会議への参加状況

福祉用具の品目の選定に当たってのサービス担当者会議への参加状況について尋ねた。「ほぼすべてのケースで参加している」が 64.3%、「半数以上のケースで参加している」が 19.8%となっている。福祉用具専門相談員の 80%強が、サービス担当者会議へ半数以上のケースで参加していることがわかる。

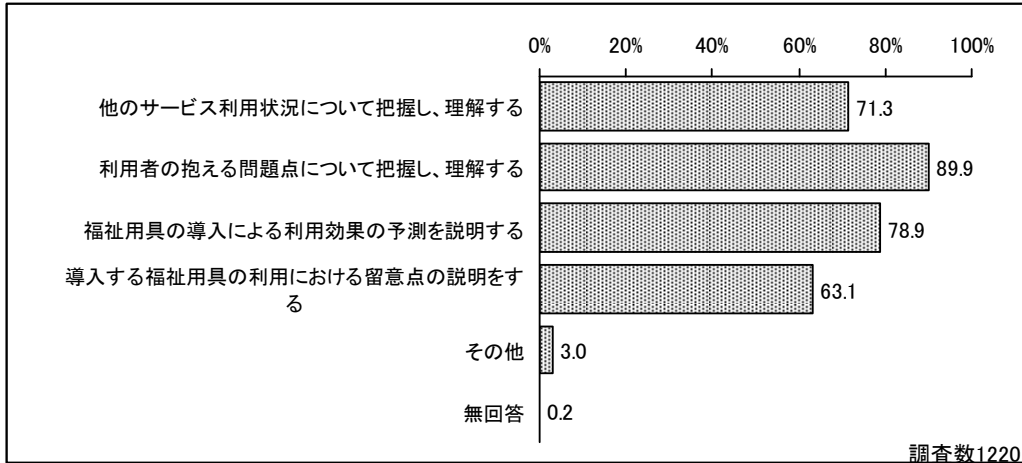
図表 3-30 サービス担当者会議への参加状況



【Q19-2】 サービス担当者会議で行っていること

Q19でサービス担当者会議へ参加していると回答した回答者に対して、サービス担当者会議で行っていることについて尋ねた（複数回答可）。「利用者の抱える問題点について把握し、理解する」が89.9%、「福祉用具の導入による利用効果の予測を説明する」が78.9%、「他のサービス利用状況について把握し、理解する」が71.3%、「導入する福祉用具の利用における留意点の説明をする」が63.1%と続いている。

図表 3-31 サービス担当者会議で行っていること



図表 3-32 サービス担当者会議で行っていること クロス集計

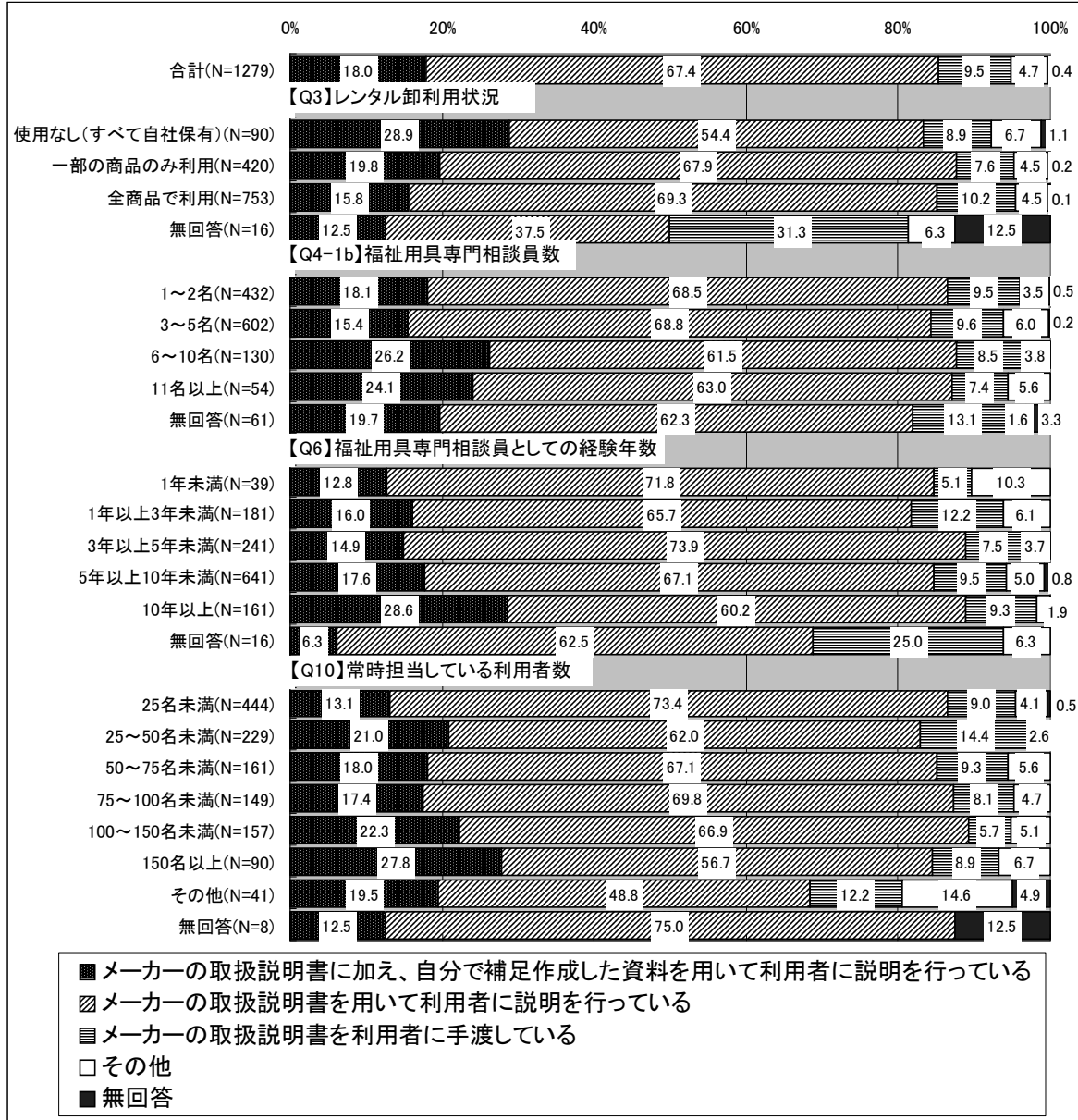
		他のサービス利用状況について把握し、理解する	利用者の抱える問題点について把握し、理解する	福祉用具の導入による利用効果の予測を説明する	導入する福祉用具の利用における留意点の説明をする	その他
Q3. レンタル卸の利用状況	使用なし（すべて自社保有）(N=90)	74.1%	85.2%	79.0%	58.0%	3.7%
	一部の商品のみ利用(N=420)	73.5%	90.2%	83.1%	65.0%	2.2%
	全商品で利用(N=753)	70.1%	90.1%	76.8%	62.9%	3.2%
	無回答(N=16)	50.0%	100.0%	66.7%	50.0%	8.3%
Q4-1b. 福祉用具専門相談員数	1～2名(N=432)	65.7%	88.4%	71.7%	55.6%	2.3%
	3～5名(N=602)	72.1%	88.7%	80.7%	65.6%	3.6%
	6～10名(N=130)	82.2%	93.0%	89.9%	72.1%	1.6%
	11名以上(N=54)	81.5%	96.3%	88.9%	75.9%	3.7%
	無回答(N=61)	68.4%	100.0%	77.2%	57.9%	3.5%
Q6. 福祉用具専門相談員としての経験年数	1年未満(N=39)	78.1%	93.8%	68.8%	43.8%	3.1%
	1年以上3年未満(N=181)	75.0%	92.1%	78.0%	59.8%	3.7%
	3年以上5年未満(N=241)	71.2%	89.7%	74.2%	68.2%	3.0%
	5年以上10年未満(N=641)	68.9%	89.0%	80.5%	62.2%	3.2%
	10年以上(N=161)	75.9%	89.9%	82.3%	68.4%	1.3%
	無回答(N=16)	66.7%	100.0%	83.3%	41.7%	0.0%
Q10. 常時担当している利用者数	25名未満(N=444)	62.0%	86.5%	68.4%	55.1%	2.0%
	25～50名未満(N=229)	71.5%	92.1%	79.8%	62.3%	4.4%
	50～75名未満(N=161)	76.7%	88.1%	83.0%	66.0%	3.8%
	75～100名未満(N=149)	74.8%	93.2%	87.8%	67.3%	2.0%
	100～150名未満(N=157)	82.8%	93.6%	88.5%	73.9%	3.8%
	150名以上(N=90)	80.0%	93.3%	86.7%	70.0%	3.3%
	その他(N=41)	72.0%	80.0%	76.0%	64.0%	0.0%
	無回答(N=8)	33.3%	100.0%	83.3%	66.7%	0.0%

② 導入

【Q20】取扱説明書等の説明の状況

福祉用具の導入にあたっての取扱説明書の説明の状況について尋ねた。「メーカーの取扱説明書を用いて利用者に説明を行っている」が67.4%で最も多いことがわかる。次に「メーカーの取扱説明書に加え、自分で補足作成した資料を用いて利用者に説明を行っている」が18.0%となっている。

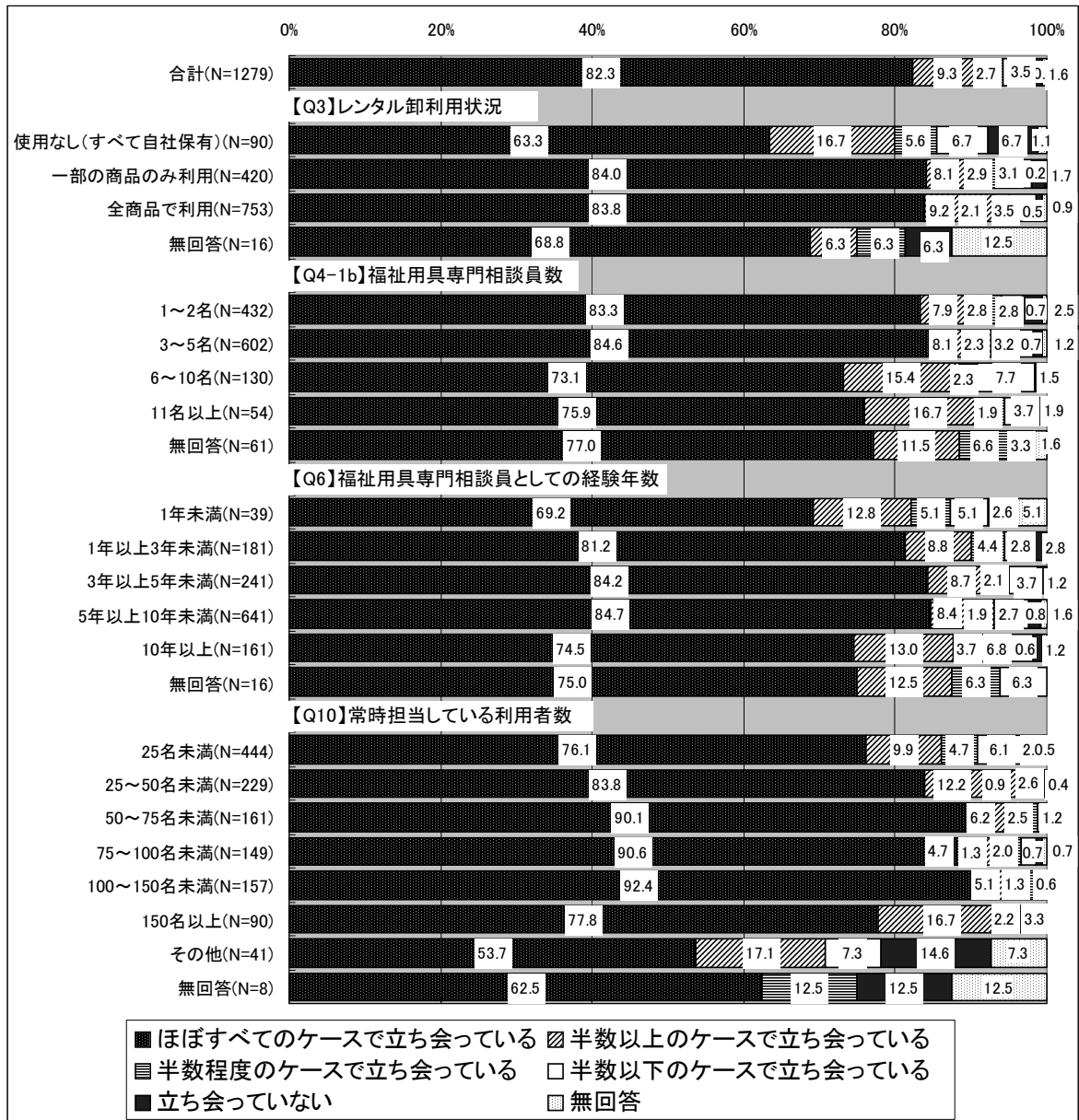
図表 3-33 取扱説明書等の説明の状況



【Q21】 福祉用具の搬入・設置の際の直接立ち会いの状況

福祉用具の搬入・設置の際の直接立ち会いの状況について尋ねた。「ほぼすべてのケースで立ち会っている」が 82.3%であり、「半数以上のケースで立ち会っている」が 9.3%となっている。90%強の福祉用具専門相談員が半数以上のケースで福祉用具の搬入・設置の際に直接立ち会っていることがわかる。

図表 3-34 福祉用具の搬入・設置の際の直接立ち会いの状況

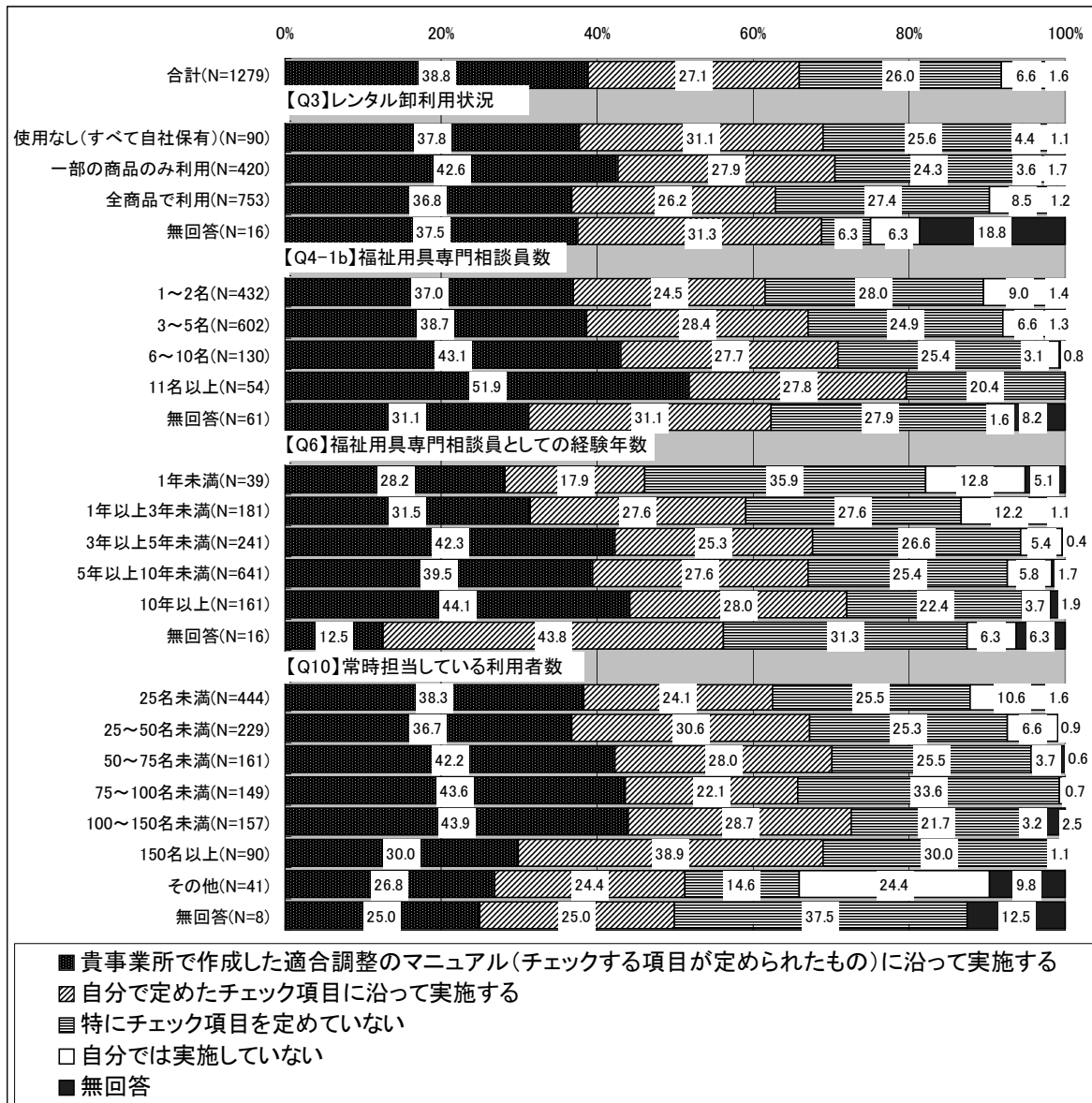


③ 適合性判断・利用指導

【Q22】 適合調整の実施状況

適合調整の実施状況について尋ねた。「事業所で作成した適合調整のマニュアルに沿って実施する」が38.8%、「自分で定めたチェック項目に沿って実施する」が27.1%であり、60%強の福祉用具専門相談員が適合調整の際に確認する項目を定式化していることがわかる。一方で「特にチェック項目を定めていない」という回答も26.0%ある。

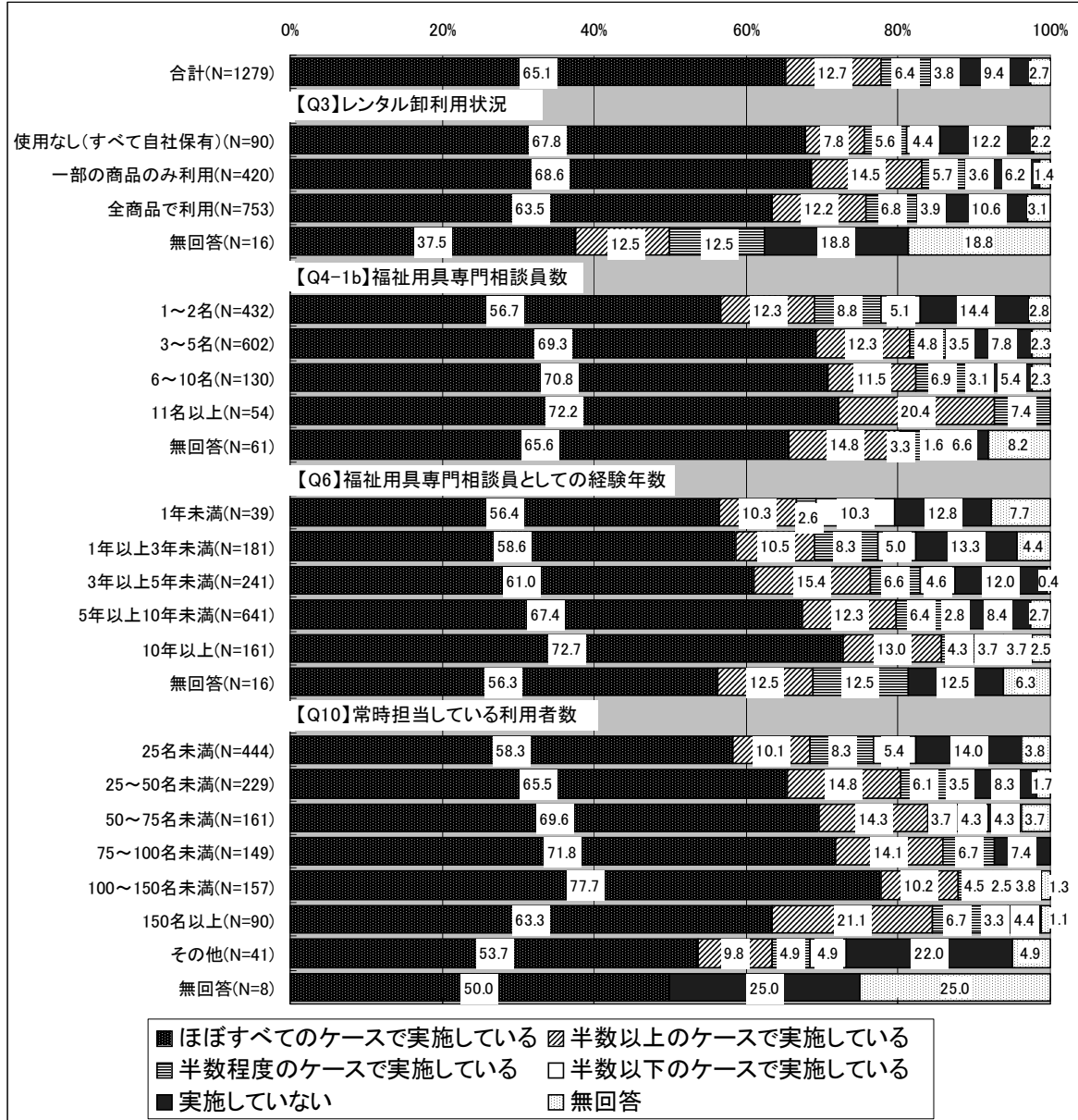
図表 3-35 適合調整の実施状況



【Q23】 適合性判断の実施状況

適合性判断の実施状況について尋ねた。「ほぼすべてのケースで実施している」が65.1%、「半数以上のケースで実施している」が12.7%、「半数程度のケースで実施している」が6.4%となっている。

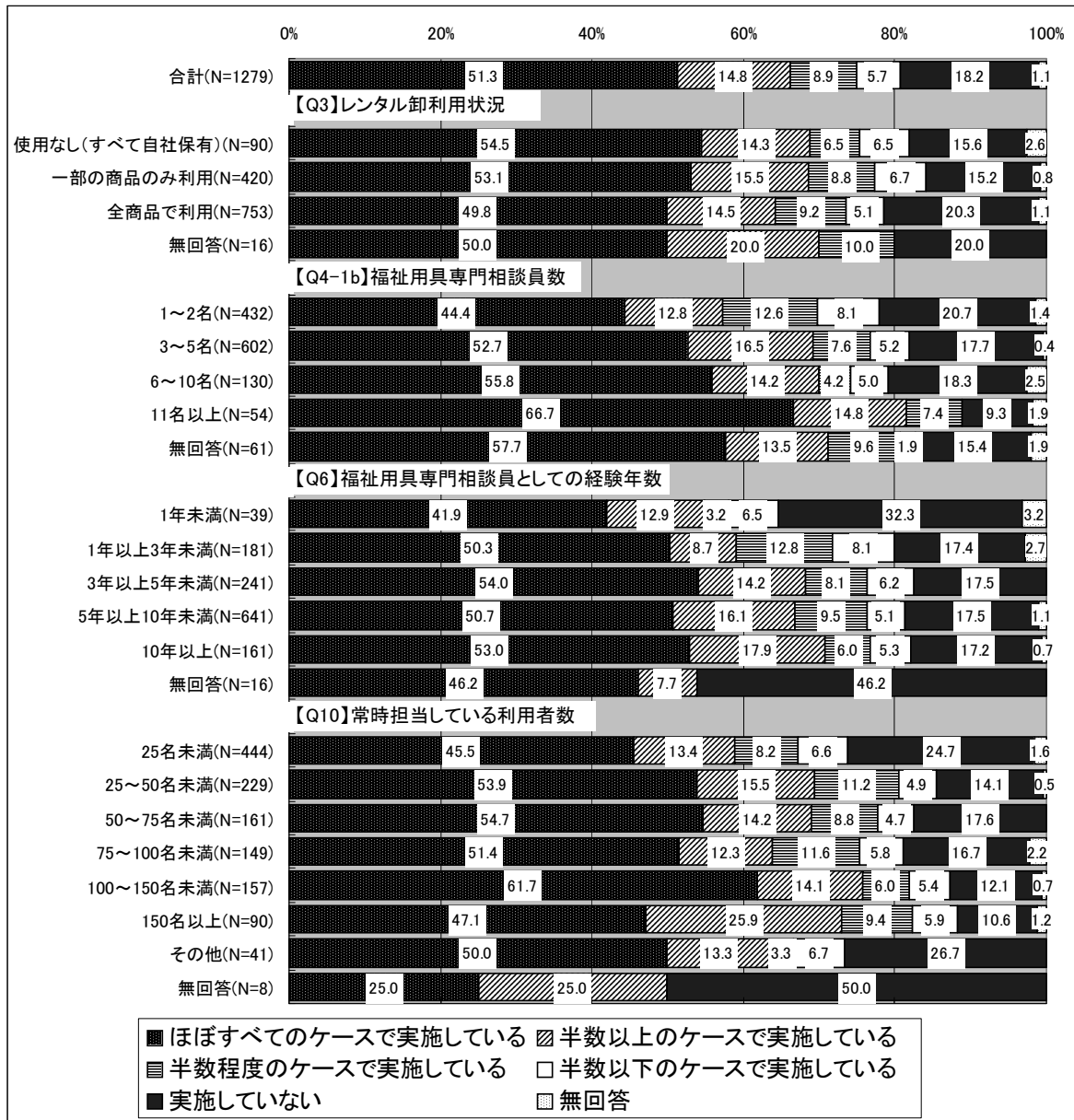
図表 3-36 適合性判断の実施状況



【Q23-2】適合性判断の記録作成の状況

Q23で「適合性判断を実施している」と回答した回答者に、適合性判断の記録作成の状況について尋ねた。「ほぼ全てのケースで作成している」が51.3%であり、「半数以上のケースで実施している」「半数程度のケースで実施している」「半数以下のケースで実施している」を合わせると80%を超える。

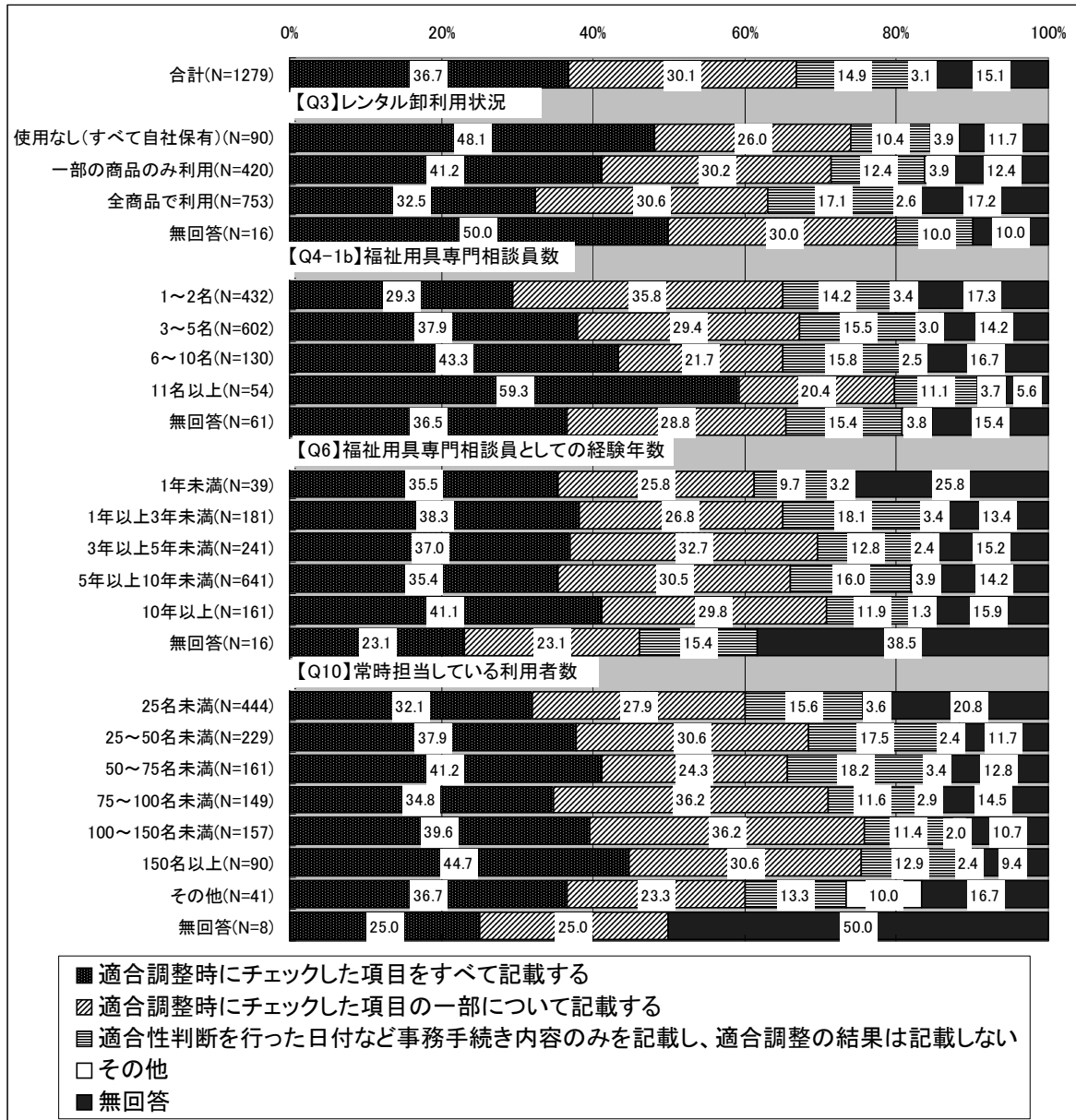
図表 3-37 適合性判断の記録作成の状況



【Q23-3】適合性判断記録の記載内容

Q23 で適合性判断を「実施している」と回答した回答者に対して、「適合性判断の記載内容」について尋ねた。「適合調整時にチェックした項目をすべて記載する」が 36.7%で最も多く「適合調整時にチェックした項目の一部について記載する」が 30.1%と続いている。

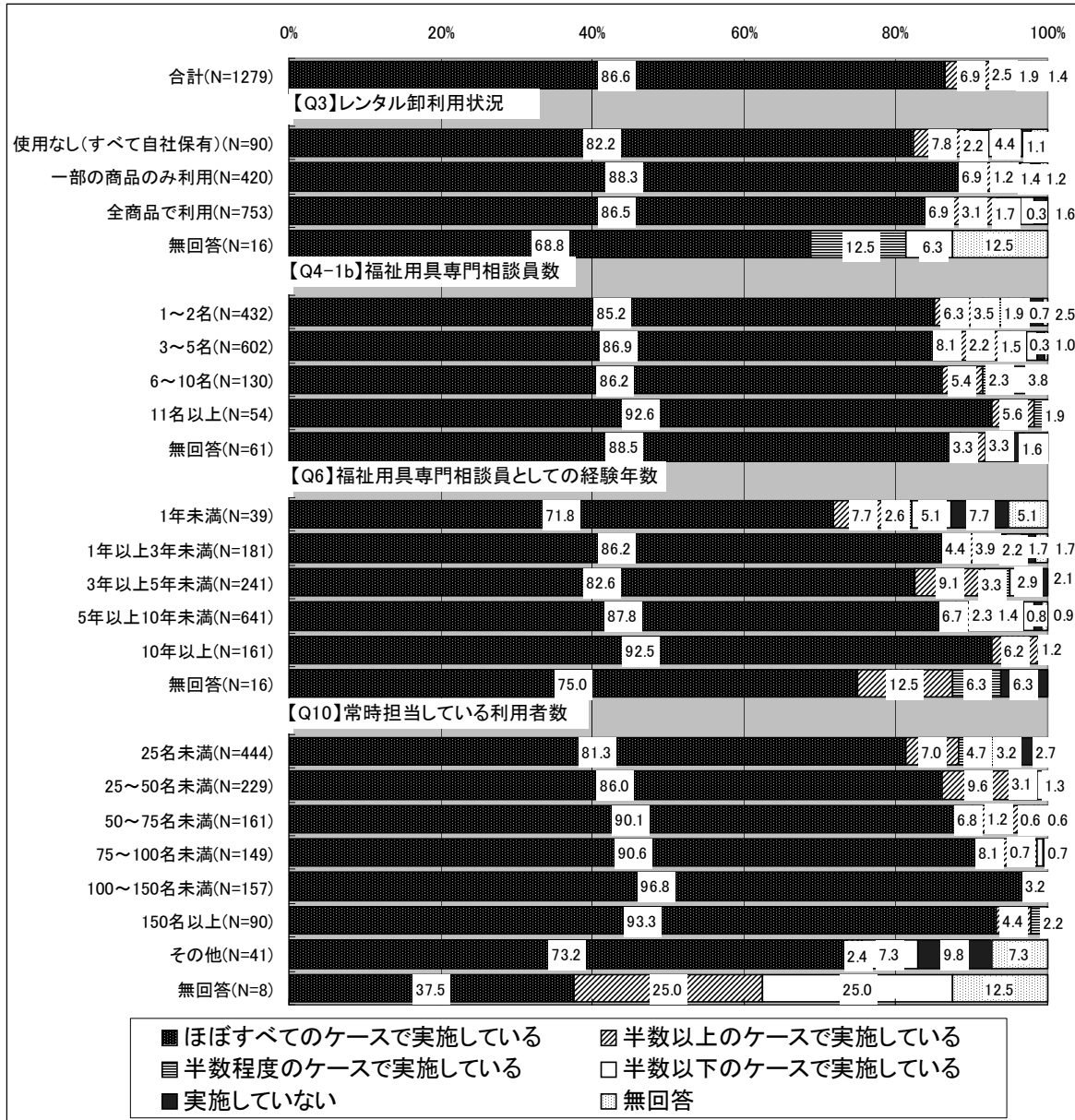
図表 3-38 適合性判断記録の記載内容



【Q24】 利用説明の実施状況

福祉用具の利用説明の実施状況について尋ねた。「ほぼすべてのケースで実施している」が86.6%であり 90%弱の福祉用具専門相談員が利用説明を実施していることがわかる。

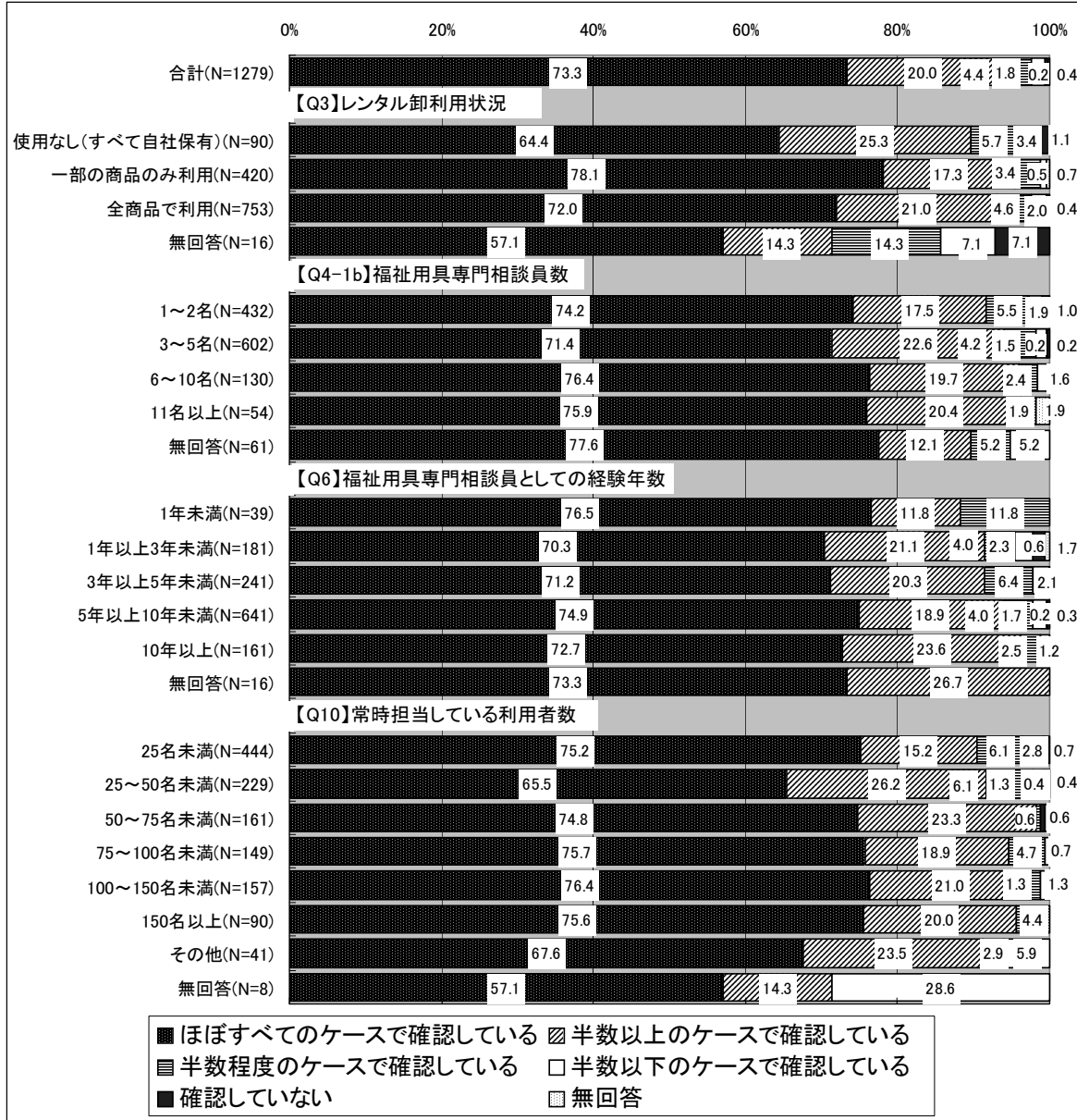
図表 3-39 利用説明の実施状況



【Q24-2】利用者・介護者による実際の使用場面確認の状況

Q24 で利用説明を「実施している」と回答した回答者に対して、利用者・介護者の実際の使用場面確認の状況について尋ねた。「ほぼすべてのケースで確認している」が 73.3%、「半数以上のケースで確認している」が 20.0%となっている。

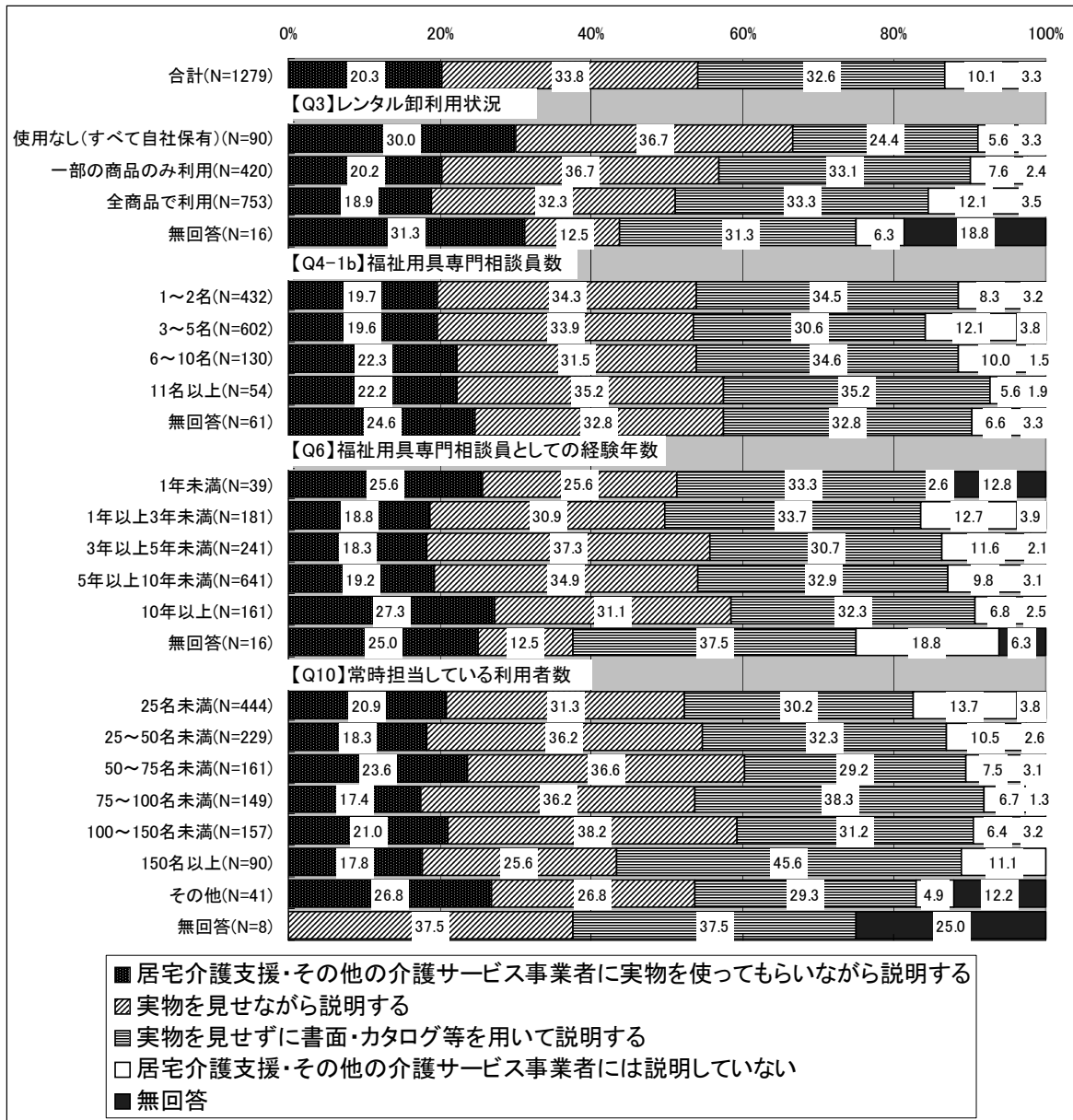
図表 3-40 利用者・介護者による実際の使用場面確認の状況



【Q25】他のサービス事業者への利用説明の状況について

他のサービス事業者への利用説明の状況について尋ねた。「実物を見せながら説明する」が33.8%、「実物を見せずに書面・カタログ等を用いて説明する」が32.6%、「実物を使ってもらいながら説明する」が20.3%となっている。一方で「居宅介護支援・その他の介護サービス事業者には説明していない」が10.1%である。

図表 3-41 他のサービス事業者への利用説明の状況について

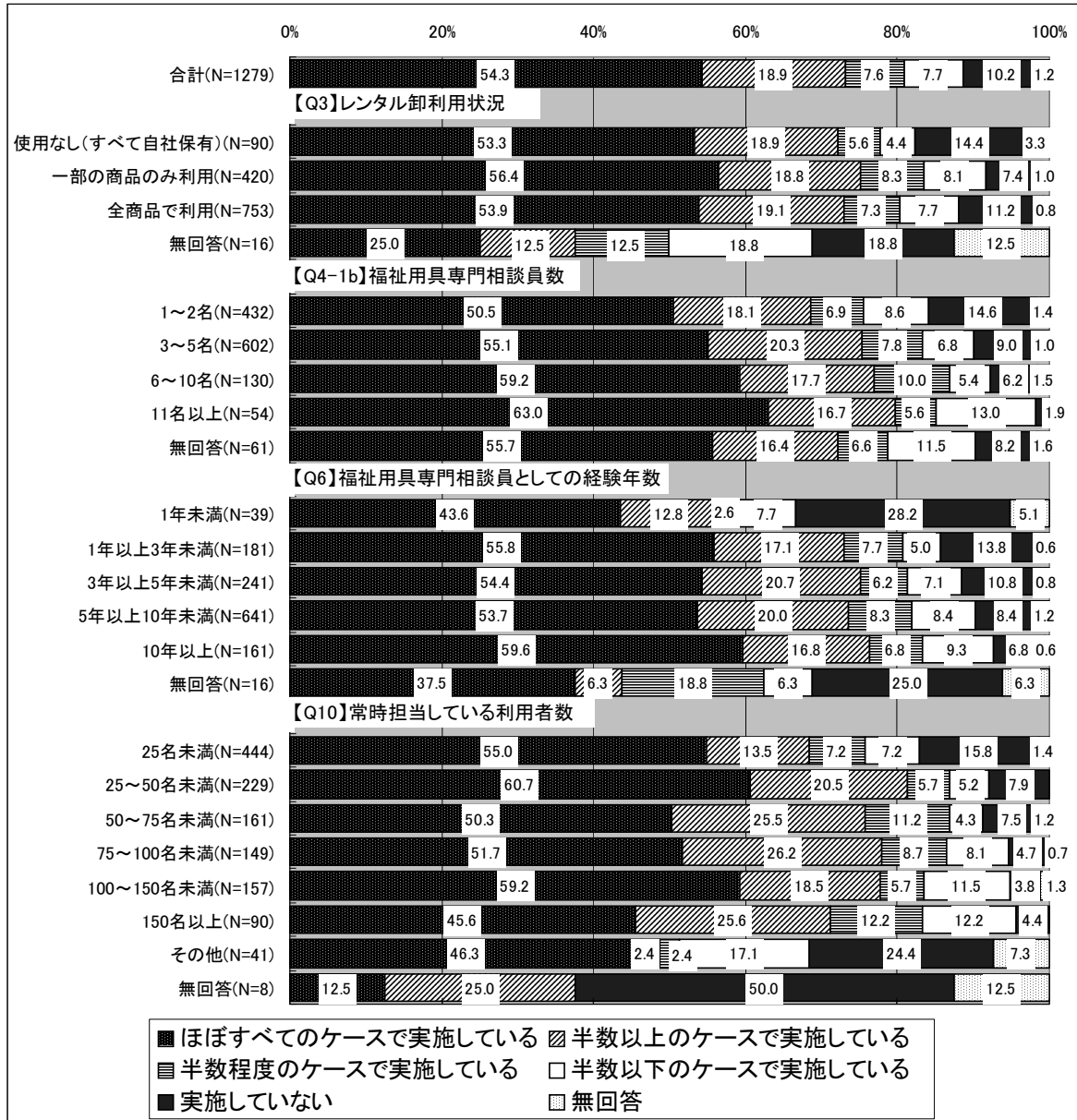


④ モニタリング

【Q26】10日以内のモニタリングの実施状況

10日以内のモニタリングの実施状況について尋ねた。「ほぼすべてのケースで実施している」が54.3%、「半数以上のケースで実施している」が18.9%、「半数程度のケースで実施している」が7.6%であった。一方で「実施していない」という回答も10.2%であった。

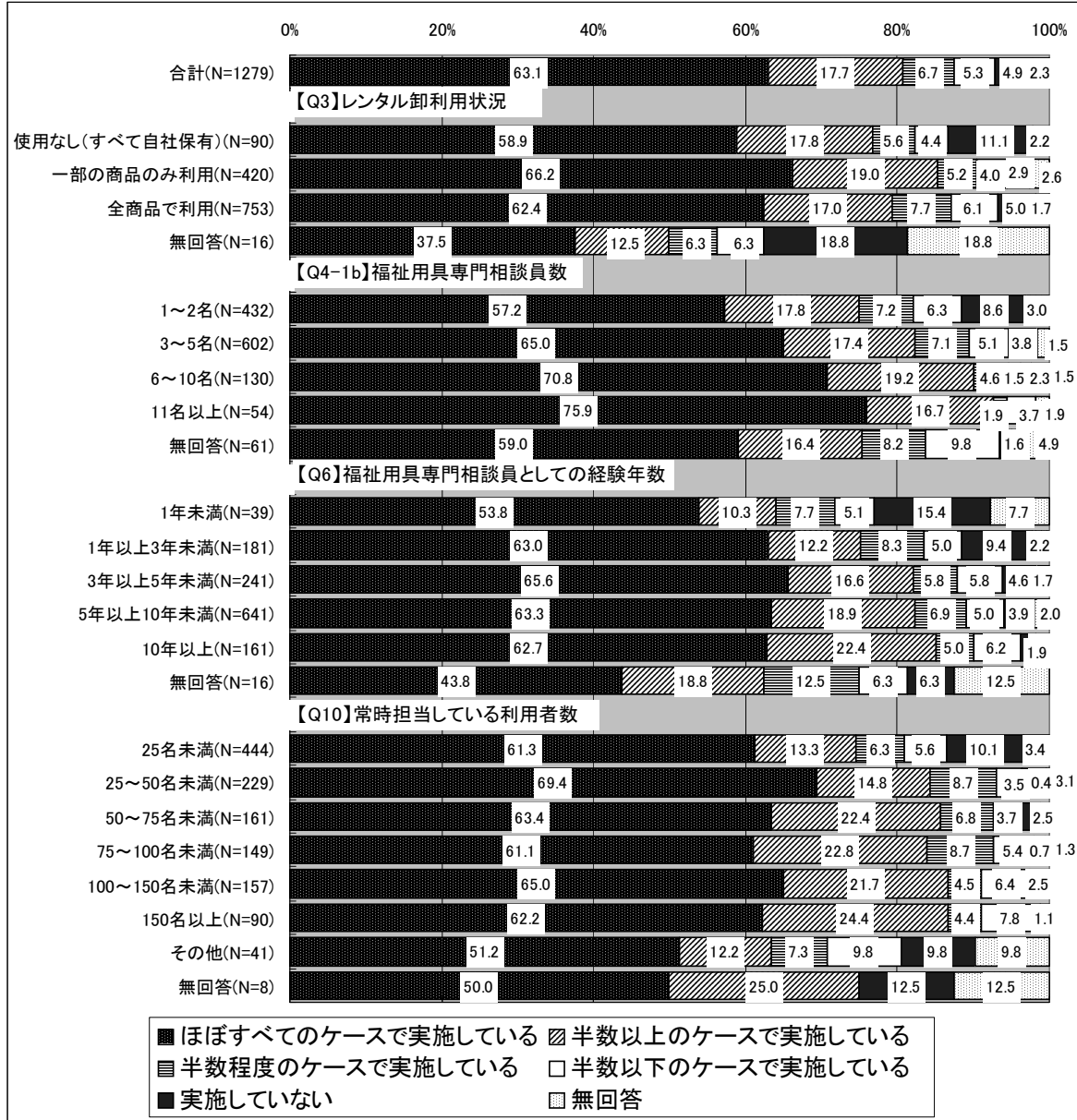
図表 3-42 10日以内のモニタリングの実施状況



【Q27】 定期的なモニタリングの実施状況

定期的なモニタリングの実施状況について尋ねた。「ほぼすべてのケースで実施している」が63.1%、「半数以上のケースで実施している」が17.7%である。一方で「実施していない」という回答も4.9%ある。

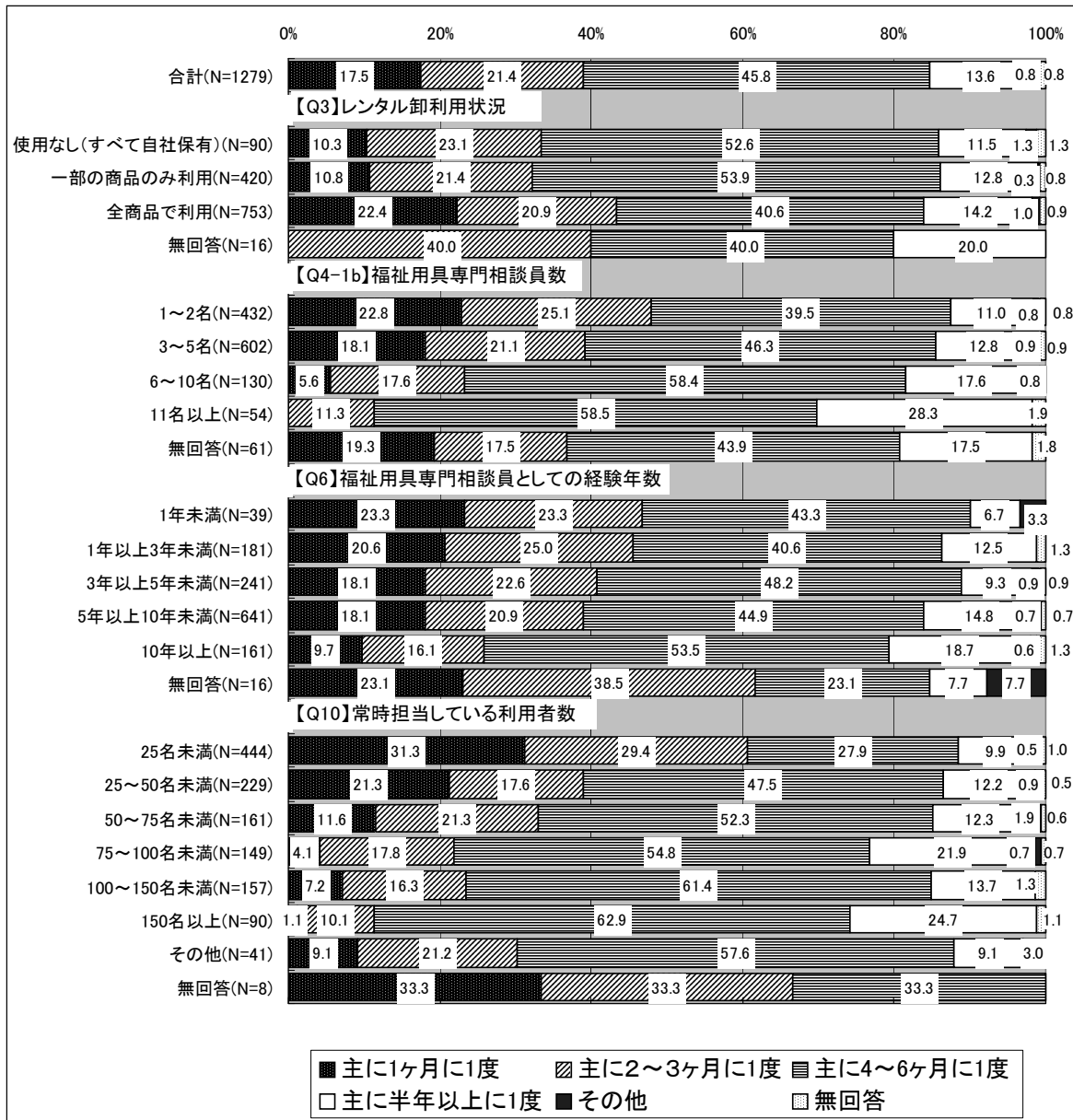
図表 3-43 定期的なモニタリングの実施状況



【Q27-2】 定期的なモニタリングの頻度

Q27 で定期的なモニタリングを「実施している」と回答した回答者に定期的なモニタリングの実施頻度について尋ねた。「主に4～6ヶ月に1度」という回答が45.8%であり最も多い。続いて「主に2～3ヶ月に1度」という回答が21.4%、「主に1ヶ月に1度」という回答が17.5%と続いている。

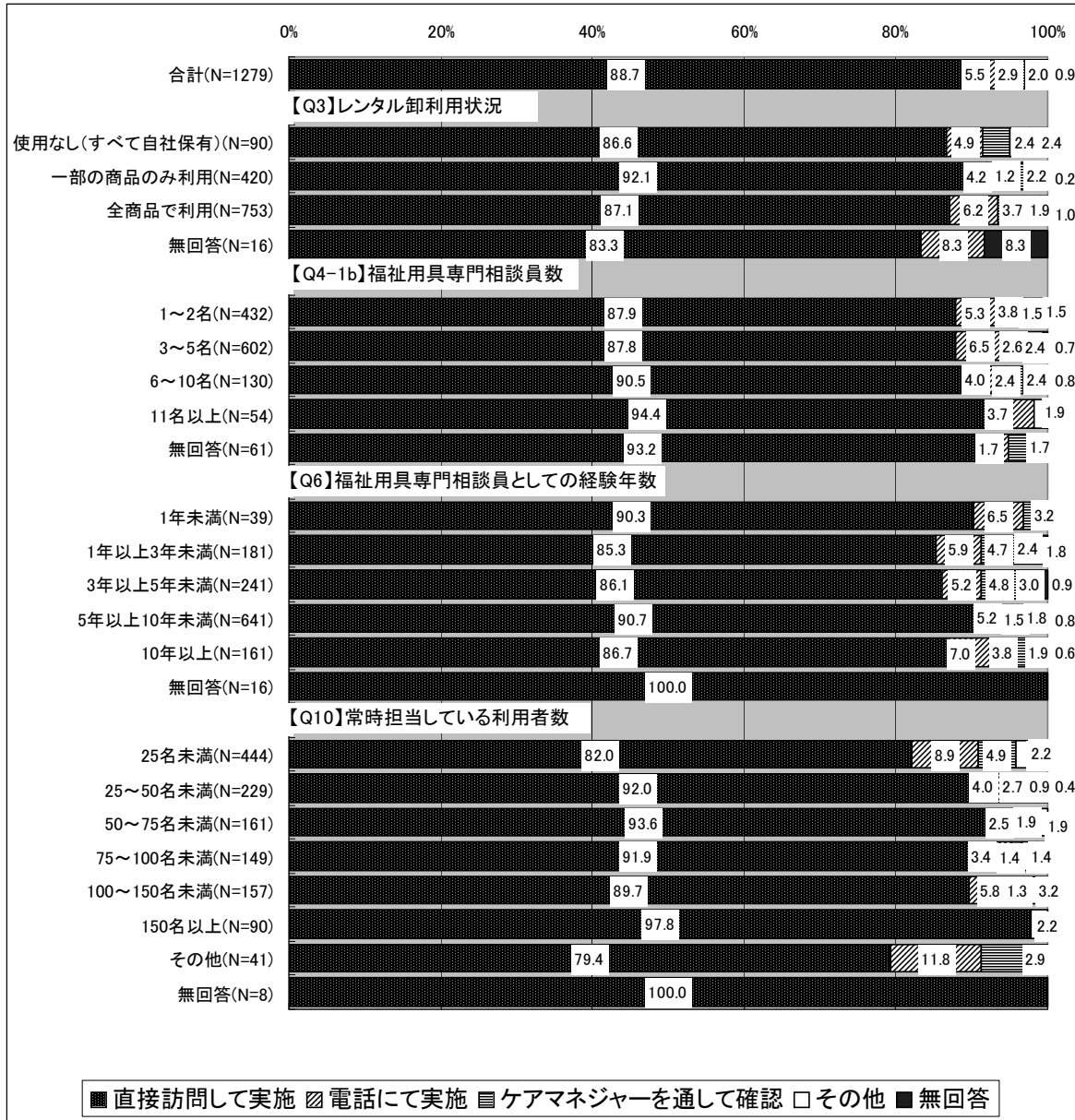
図表 3-44 定期的なモニタリングの頻度



【Q28】モニタリングの実施方法

Q26・Q27 でモニタリングを「実施している」と回答した回答者にモニタリングの実施方法について尋ねた。「直接訪問して実施」が88.7%と大半を占めていることがわかる。

図表 3-45 モニタリングの実施方法



【Q29】 モニタリング結果の記録状況

Q26・Q27 でモニタリングを「実施している」と回答した回答者にモニタリングの結果の記録状況について尋ねた。「ほぼすべてのケースで記録している」が 74.8%、「半数以上のケースで記録している」が 9.8%、「半数程度のケースで記録している」が 4.1%、「半数以下のケースで記録している」が 4.9%、「記録していない」が 5.4%、「無回答」が 0.9%。

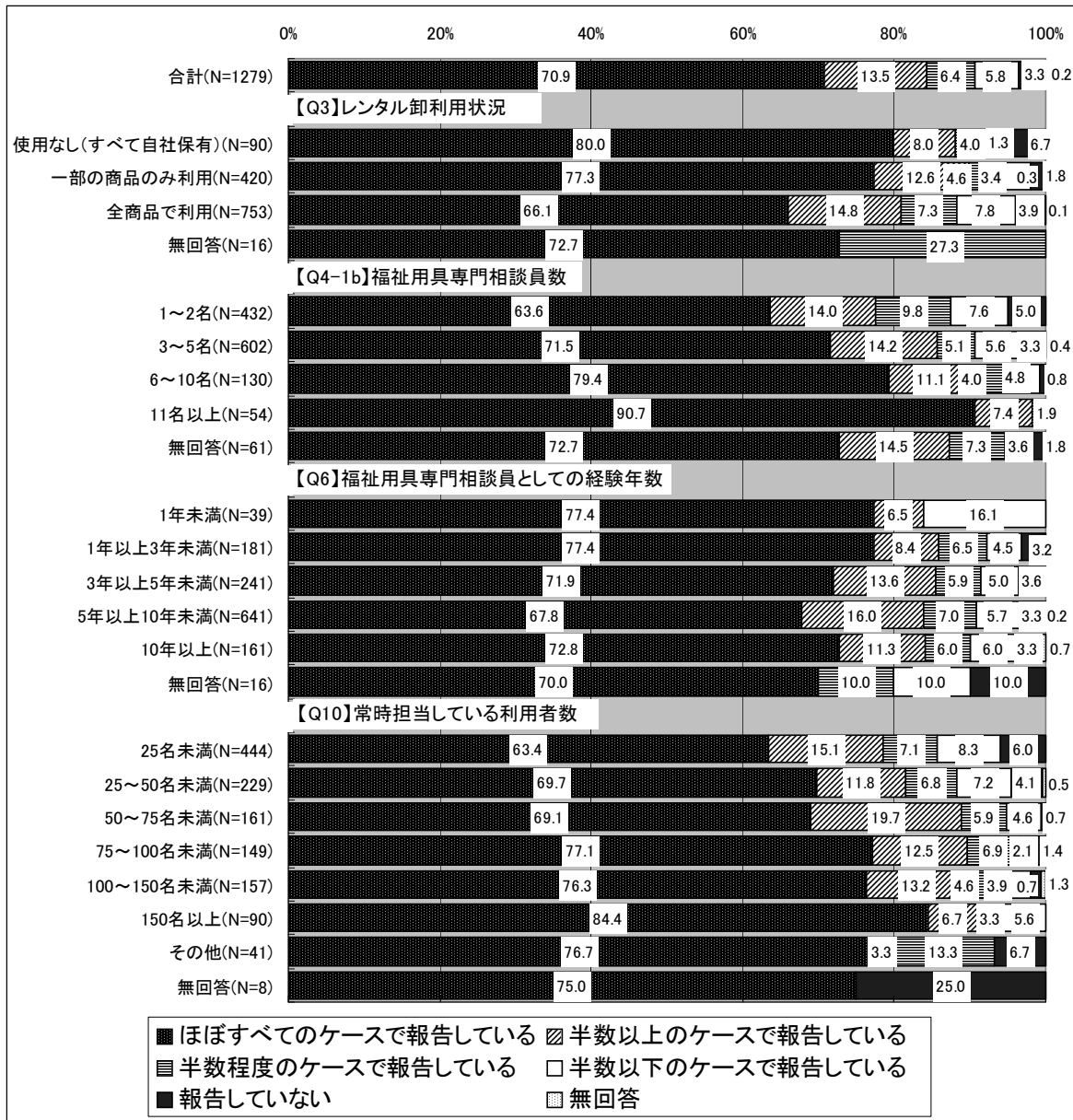
図表 3-46 モニタリング結果の記録状況



【Q29-2】 モニタリング結果記録のケアマネジャーへの報告の状況

Q29 でモニタリング結果の記録を「実施している」と回答した回答者に対して、モニタリング結果記録のケアマネジャーへの報告の状況について尋ねた。「ほぼすべてのケースで報告している」が 70.9%、「半数以上のケースで実施している」が 13.5%であり、80%強の福祉用具専門相談員がモニタリング結果記録をケアマネジャーへ報告しているといえる。

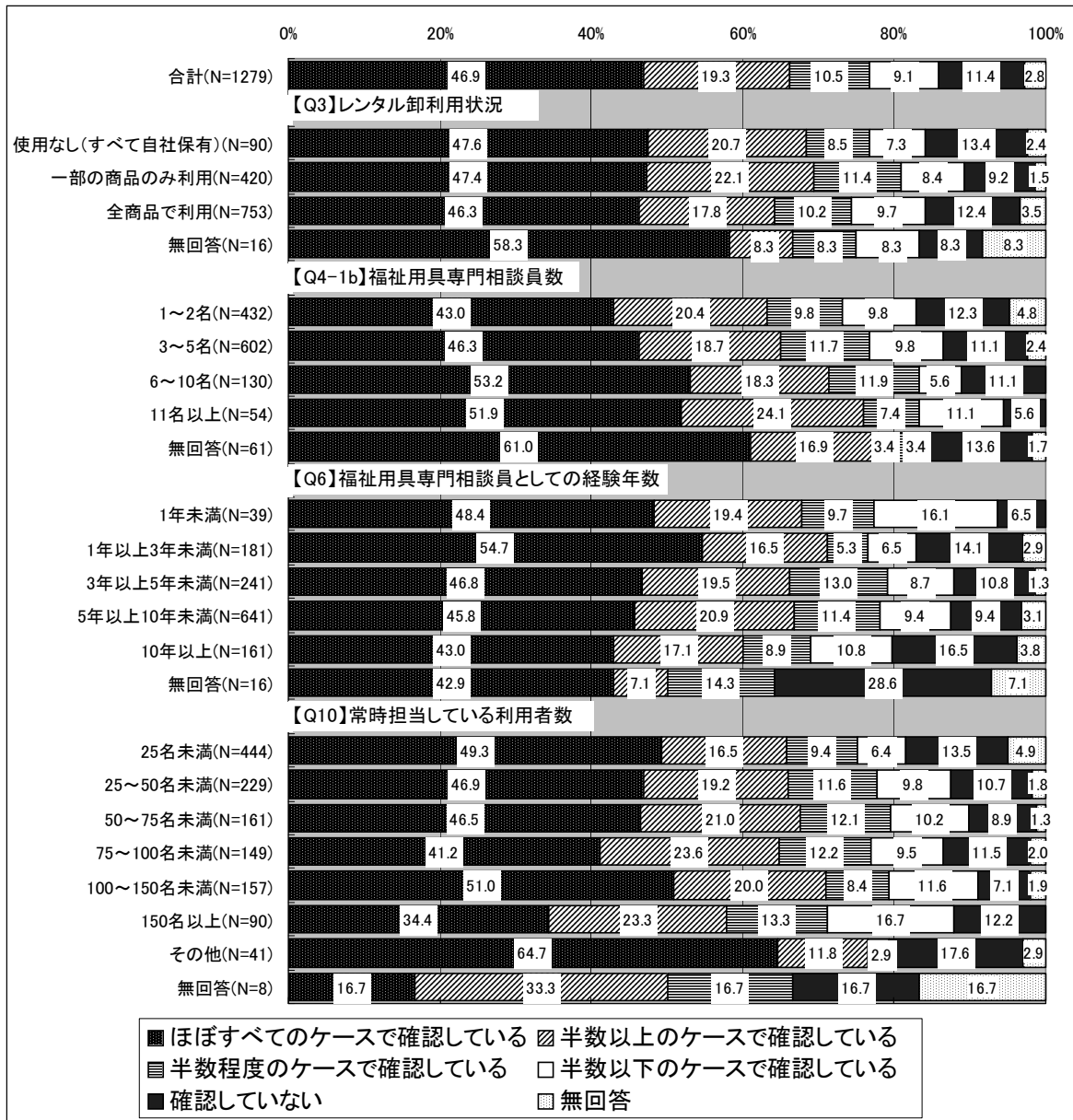
図表 3-47 モニタリング結果記録のケアマネジャーへの報告の状況



【Q30】 モニタリング時のケアプラン確認の状況

Q26・Q27 でモニタリングを「実施している」と回答した回答者に対してモニタリング時のケアプラン確認の状況について尋ねた。「ほぼすべてのケースで確認している」が 46.9%、「半数以上のケースで確認している」が 19.3%となっている。一方で「確認していない」という回答も 11.4%である。

図表 3-48 モニタリング時のケアプラン確認の状況



【Q31】 モニタリング後のサービス担当者会議への参加状況

モニタリング後のサービス担当者会議への参加状況について尋ねた。「ほぼすべてのケースで参加している」が64.3%、「半数以上のケースで参加している」が15.5%である。

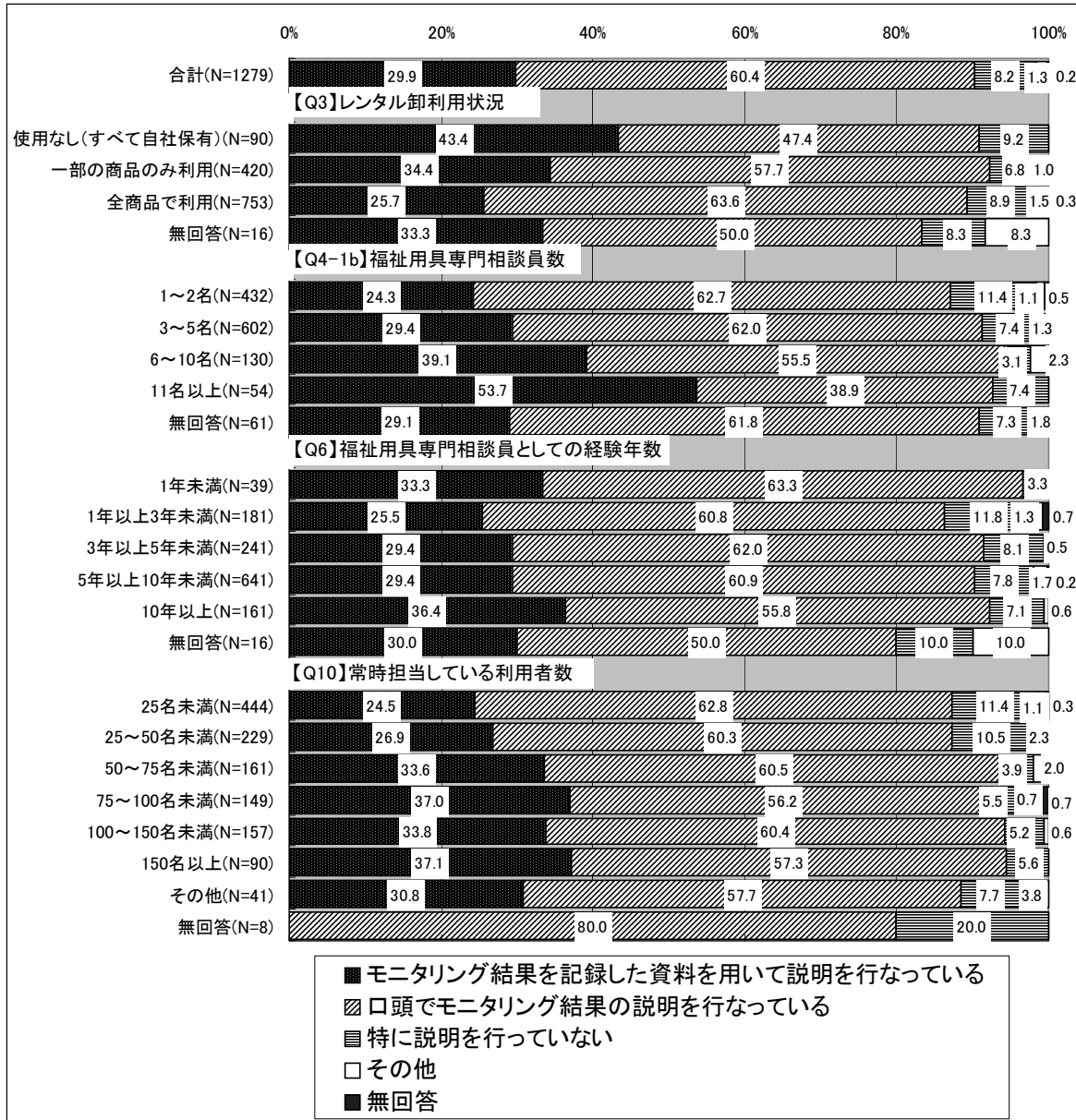
図表 3-49 モニタリング後のサービス担当者会議への参加状況



【Q31-2】 モニタリング後のサービス担当者会議でのモニタリング結果報告の状況

Q31 でモニタリング後のサービス担当者会議へ「参加している」と回答した回答者に対して、モニタリング結果報告の状況について尋ねた。「口頭でモニタリング結果の説明を行っている」が60.4%であり、「モニタリング結果を記録した資料を用いて説明を行っている」が29.9%と続いている。福祉用具専門相談員の90%強が、モニタリング後のサービス担当者会議においてモニタリング結果の報告を行っていることがわかる。

図表 3-50 モニタリング後のサービス担当者会議でのモニタリング結果報告の状況

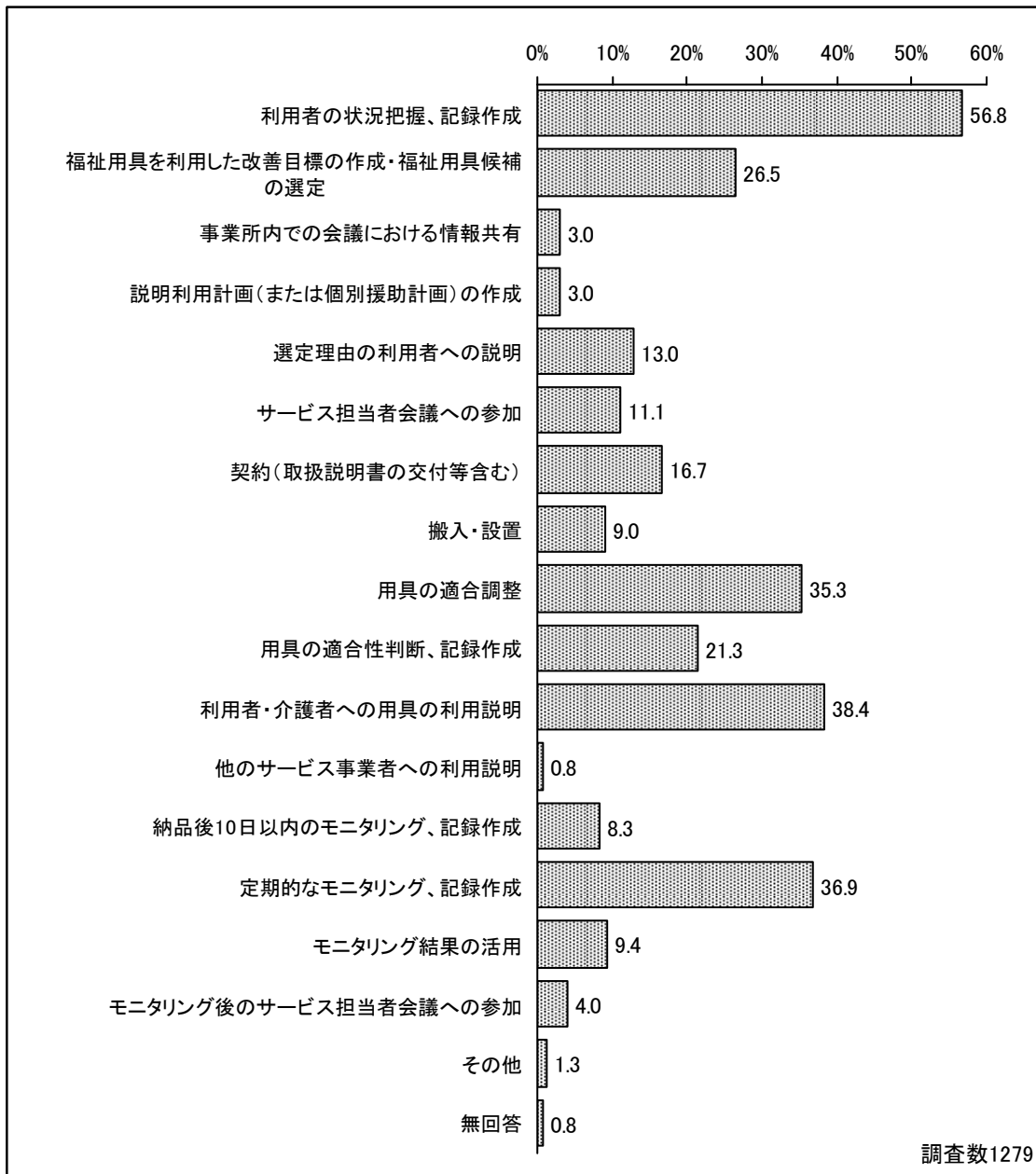


(4) 福祉用具専門相談員が実施すべき業務

【Q32】福祉用具専門相談員が行うべき重要な業務内容

福祉用具専門相談員の業務内容のうち、「より重要な業務内容」について尋ねた。「利用者の状況把握、記録作成」が56.8%と最も多く、「利用者・介護者への用具の利用説明」が38.4%、「定期的なモニタリング、記録作成」が36.9%、「用具の適合調整」が35.3%と続いている。

図表 3-51 福祉用具専門相談員が行うべき重要な業務内容

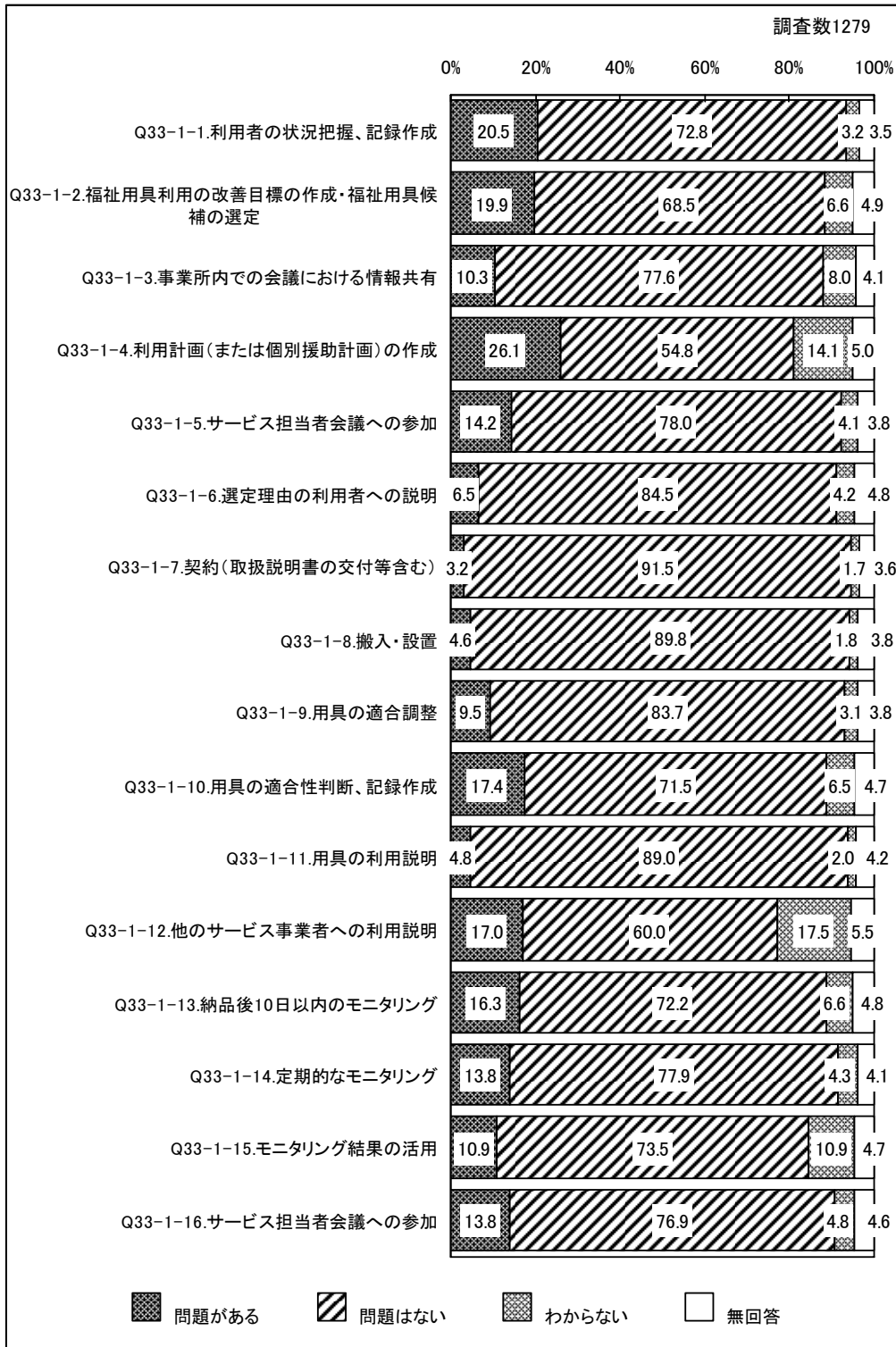


(5) 日常の業務における問題

【Q33a】 日常の業務における課題の有無

日常の業務の中で何らかの課題があると考えるプロセスについて尋ねた。「利用計画の作成」が最も多く 26.1%、「利用者の状況把握、記録作成」が 20.5%、「福祉用具利用の改善目標の設定・福祉用具候補の選定」が 19.9%、「用具の適合性判断、記録作成」17.4%と続いている。

図表 3-52 日常の業務における課題の有無

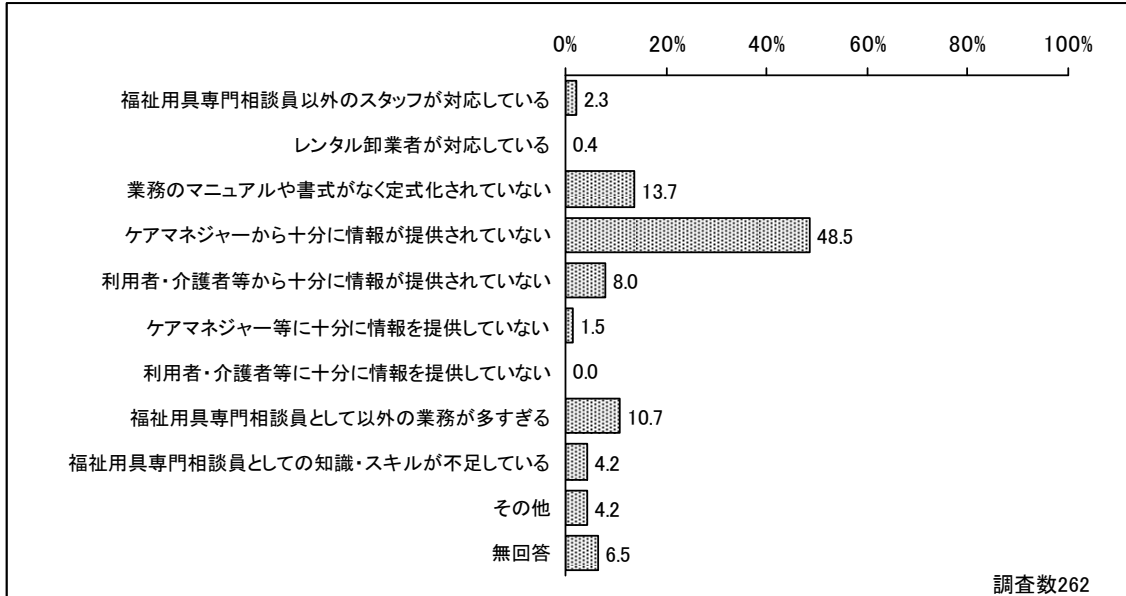


【Q33b】 日常の業務における課題の内容

○利用者の状況把握、記録作成

「ケアマネジャーから十分に情報が提供されていない」が48.5%と最も多い。

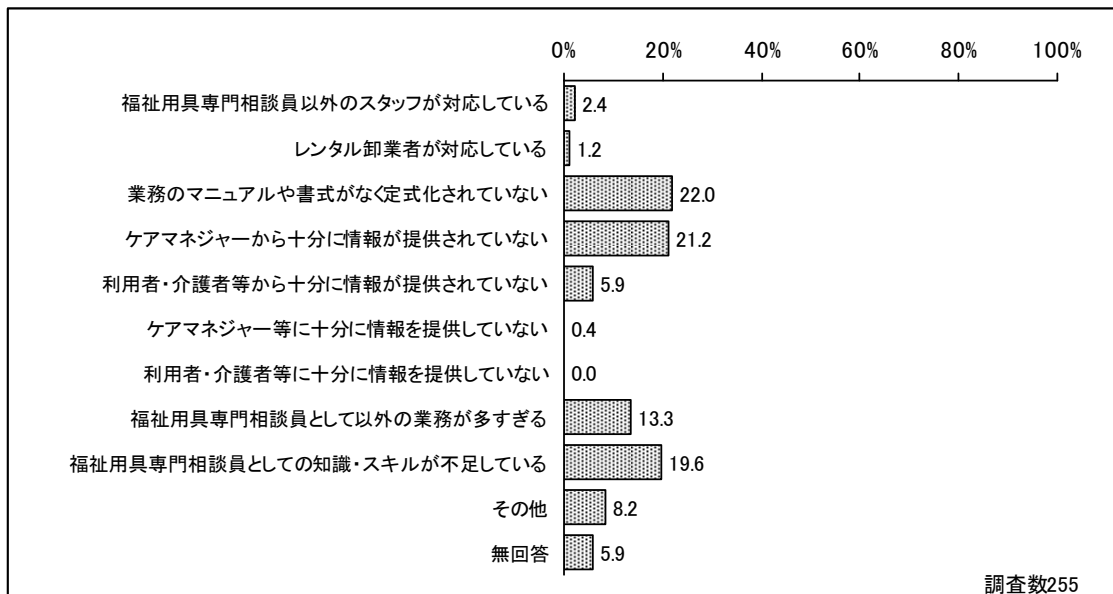
図表 3-53 「利用者の状況把握、記録作成」における課題の内容



○福祉用具利用の目標の設定・福祉用具候補の選定

「業務のマニュアルや書式がなく定式化されていない」が22.0%、「ケアマネジャーから十分に情報が提供されていない」が21.2%、「福祉用具専門相談員としての知識・スキルが不足している」が19.6%と上位を占めている。

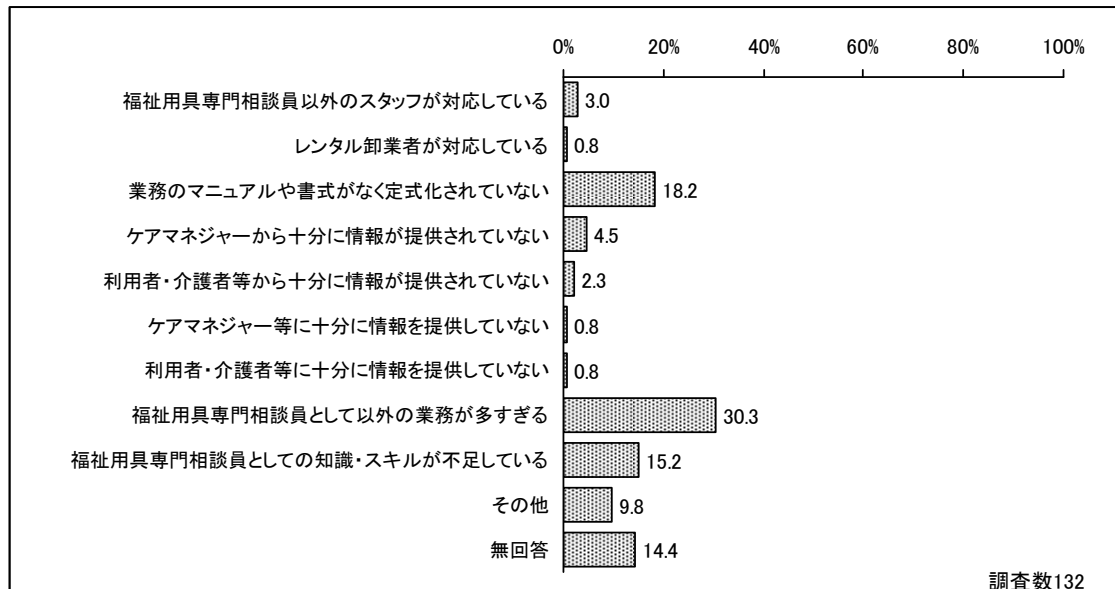
図表 3-54 「福祉用具利用の目標の設定・福祉用具候補の選定」における課題の内容



○事業所内での会議における情報共有

「福祉用具専門相談員として以外の業務が多すぎる」が 30.3%と最も多く、「業務のマニュアルや書式がなく定式化されていない」が 18.2%となっている。

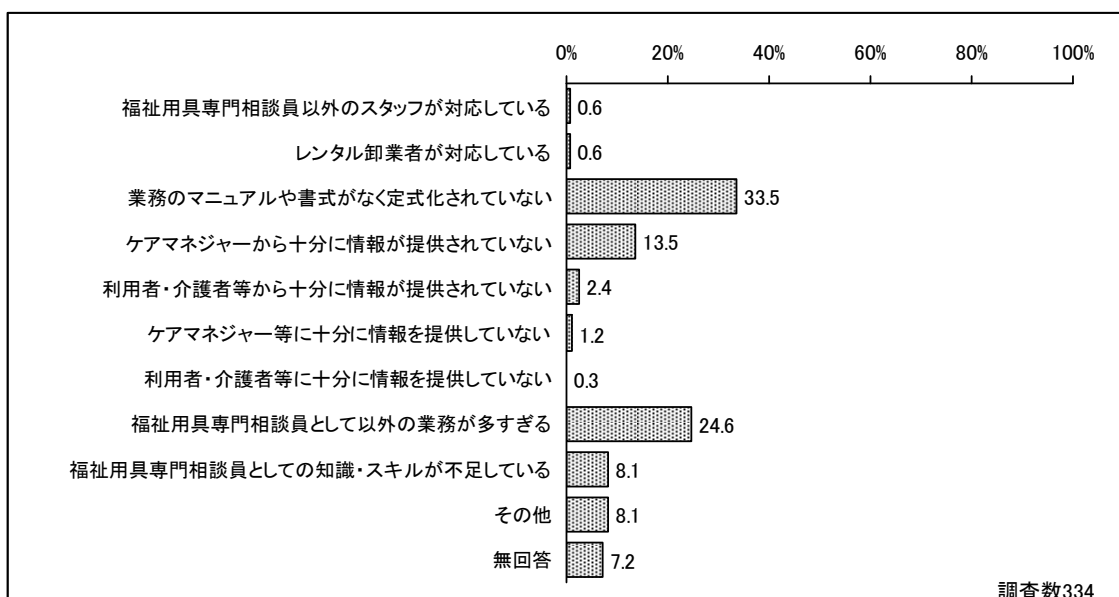
図表 3-55 「事業所内での会議における情報共有」における課題の内容



○利用計画（または個別援助計画）の作成

「業務のマニュアルや書式がなく定式化されていない」が 33.5%、「福祉用具専門相談員として以外の業務が多すぎる」が 24.6%となっている。

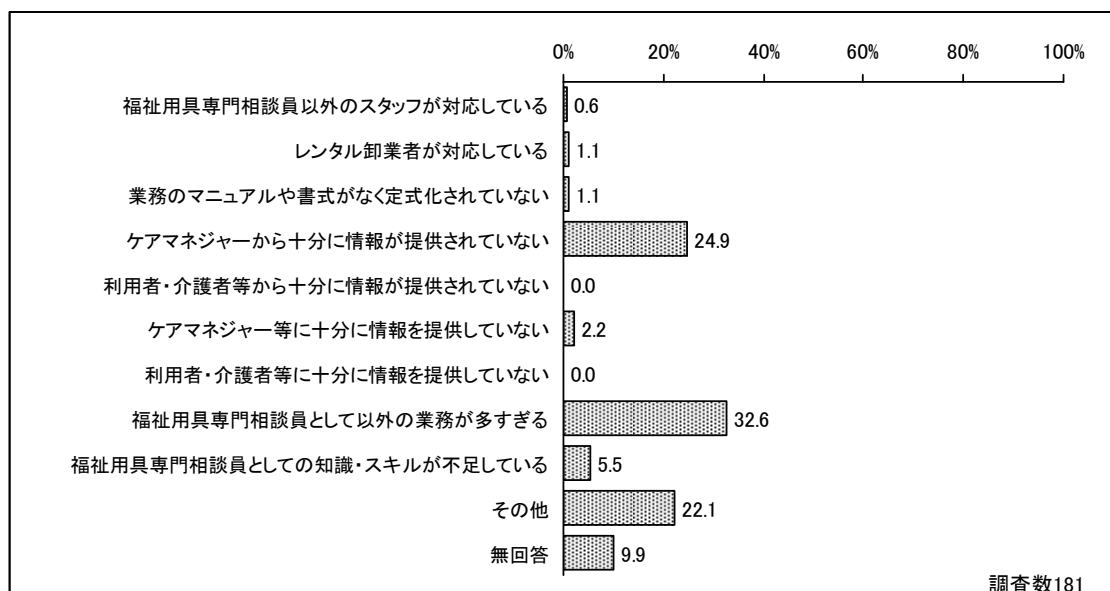
図表 3-56 「利用計画（または個別援助計画）の作成」における課題の内容



○サービス担当者会議への参加

「福祉用具専門相談員として以外の業務が多すぎる」が 32.6%、「ケアマネジャーから十分に情報が提供されていない」が 24.9%である。また「その他」への回答が 22.1%ある。具体的な内訳としては、「福祉用具専門相談員の発言機会が少ない」「福祉用具専門相談員の意見が反映されにくい」「日程調整が困難である」といった回答があった。

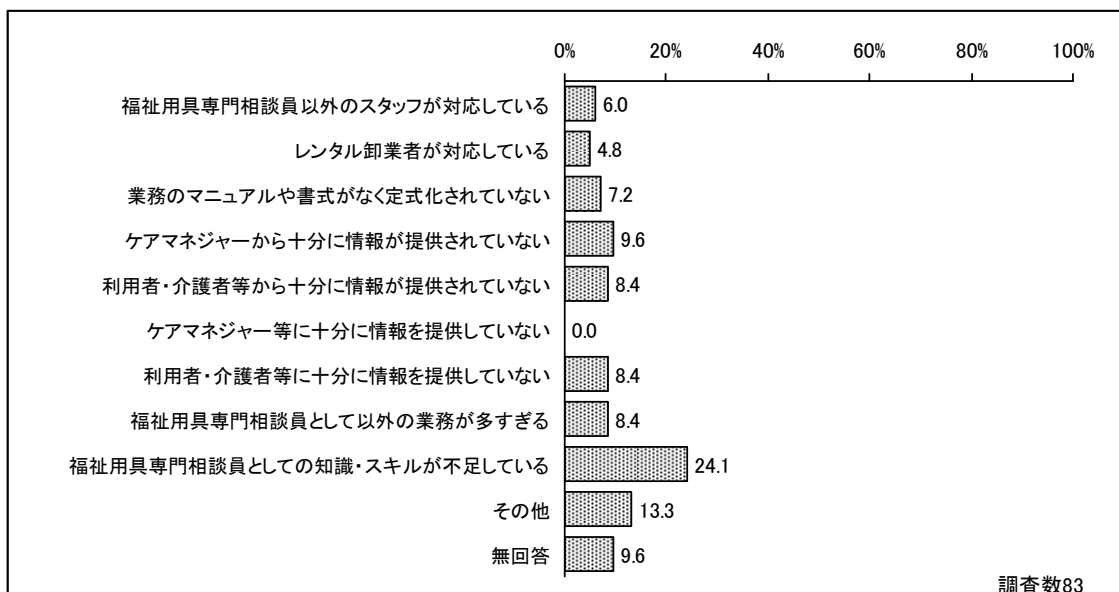
図表 3-57 「サービス担当者会議への参加」における課題の内容



○選定理由の利用者への説明

「福祉用具専門相談員としての知識・スキル」が不足しているが 24.1%となっている。「その他」への回答が 13.3%である。内訳としては、「利用者・介護者の状況によっては、説明内容が十分に伝わらないことがある」「一度の説明では不十分である」「説明内容を忘れてしまうケースが多い」といった回答があった。

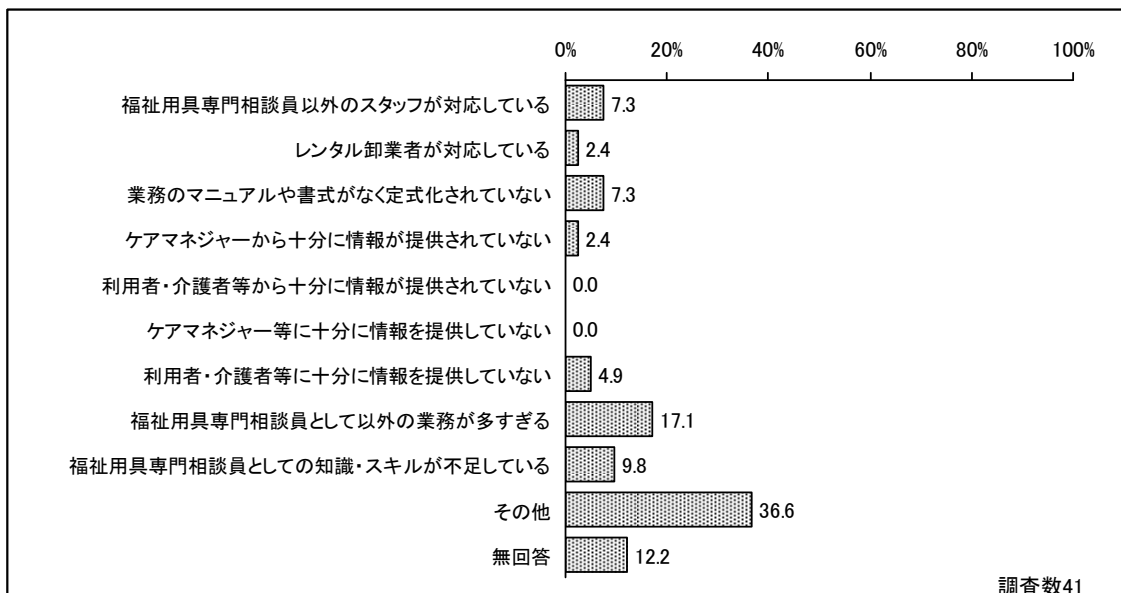
図表 3-58 「選定理由の利用者への説明」における課題の内容



○契約（取扱説明書の交付等含む）

「その他」が36.6%、「福祉用具専門相談員として以外の業務が多すぎる」が17.1%である。「その他」の具体的内容としては、「説明すべき書類が多すぎるため、最後まで利用者に説明を聞いて貰うのが困難である」「利用者に捺印を貰う書類が多すぎる」「契約の説明は高齢者によっては内容が困難すぎて理解して頂くのが難しい」といった回答があった。

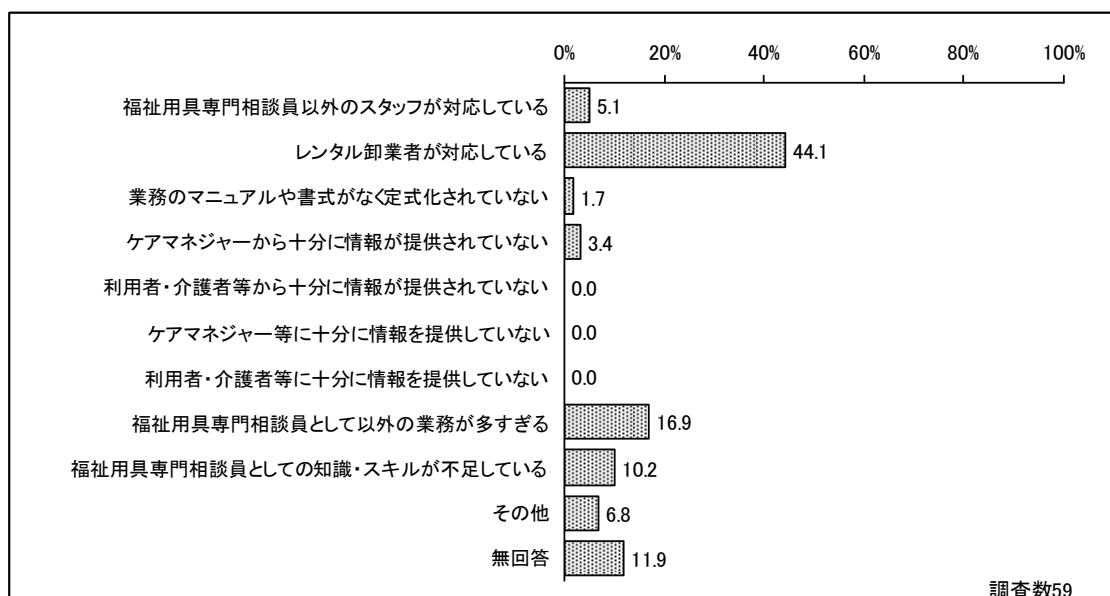
図表 3-59 「契約（取扱説明書の交付等含む）」における課題の内容



○搬入・設置

「レンタル卸業者が対応している」が44.1%と最も多い。続いて「福祉用具専門相談員として以外の業務が多すぎる」が16.9%と続いている。

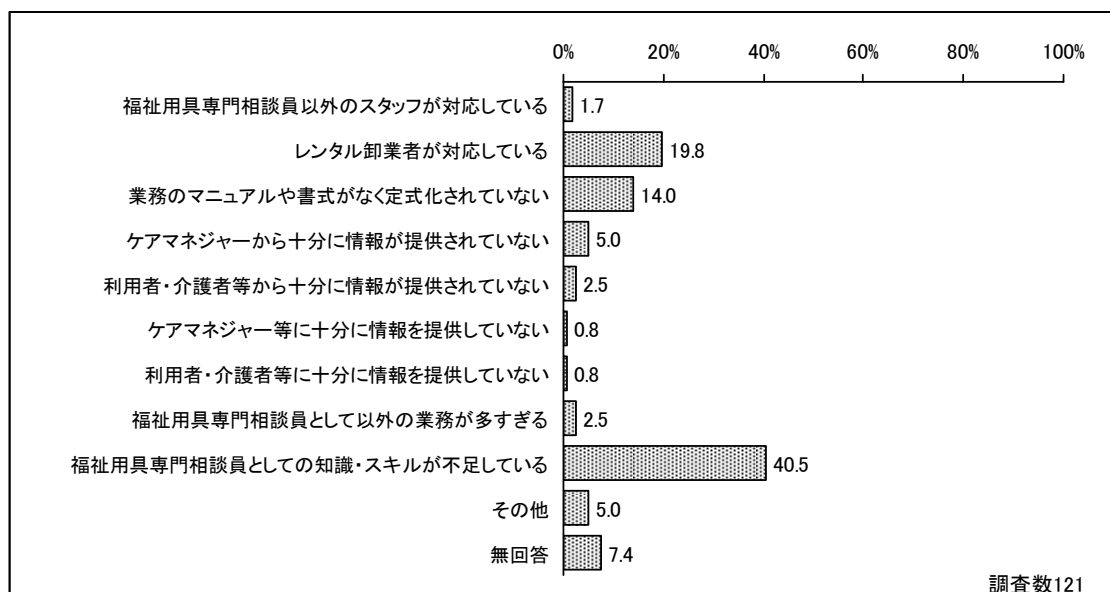
図表 3-60 「搬入・設置」における課題の内容



○用具の適合調整

「福祉用具専門相談員としての知識・スキルが不足している」が40.5%と最も多い。

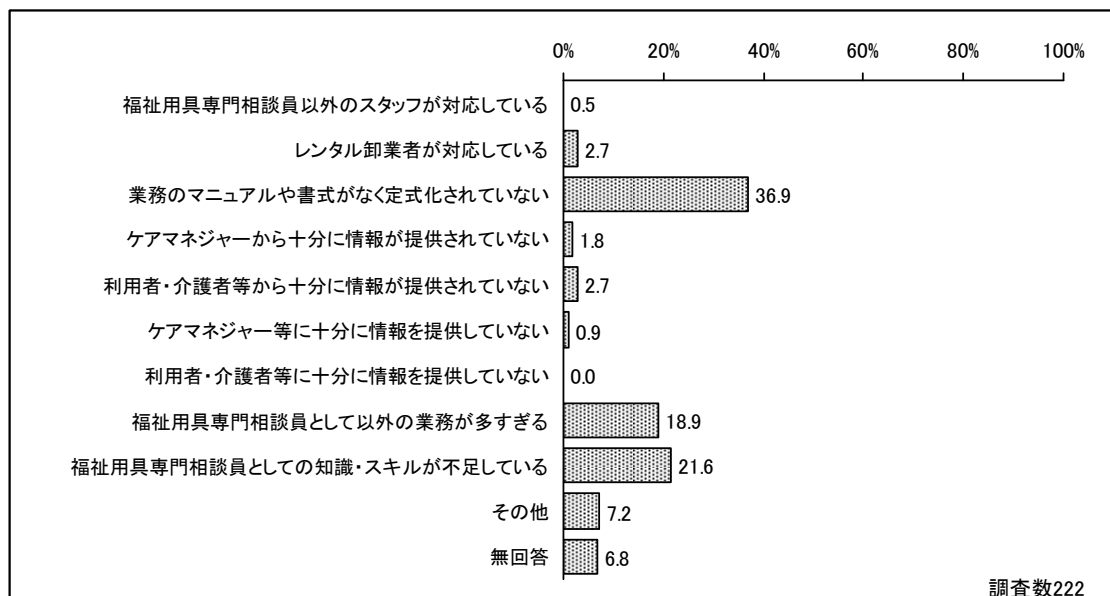
図表 3-61 「用具の適合調整」における課題の内容



○用具の適合性判断、記録作成

「業務のマニュアルや書式が無く、定式化されていない」が36.9%で最も多く、「福祉用具専門相談員としての知識・スキルが不足している」が21.6%と続いている。

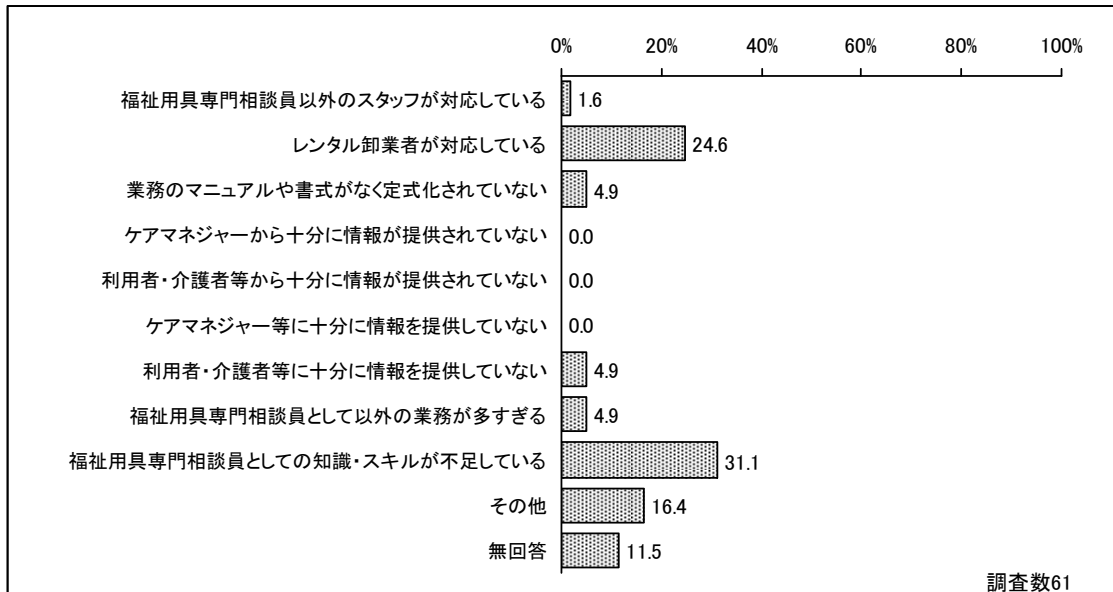
図表 3-62 「用具の適合性判断、記録作成」における課題の内容



○用具の利用説明

「福祉用具専門相談員としての知識・スキルが不足している」が31.1%と最も多く、「レンタル卸業者が対応している」が24.6%と続いている。また「その他」が16.4%である。具体的な内訳としては、「高齢者の状況によっては、理解を得るのが困難なケースがある」「利用者や家族が十分に説明を聞いてくれない」といった回答があった。

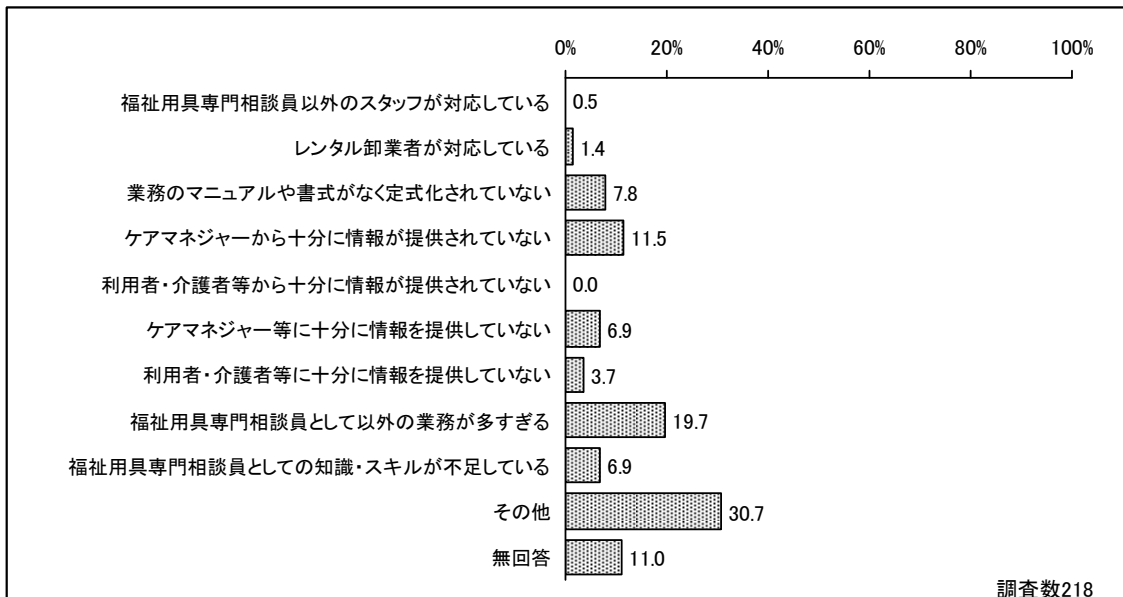
図表 3-63 「用具の利用説明」における課題の内容



○他のサービス事業者への利用説明

「その他」が30.7%と最も多く、「福祉用具専門相談員以外の業務が多すぎる」が19.7%と続いている。「その他」の具体的な内容としては、「時間調整が難しく、説明する機会が十分に取れない」「説明を行う機会が無い」「ケアマネジャーを通じて情報共有を実施しているため必要は無い」といった回答があった。

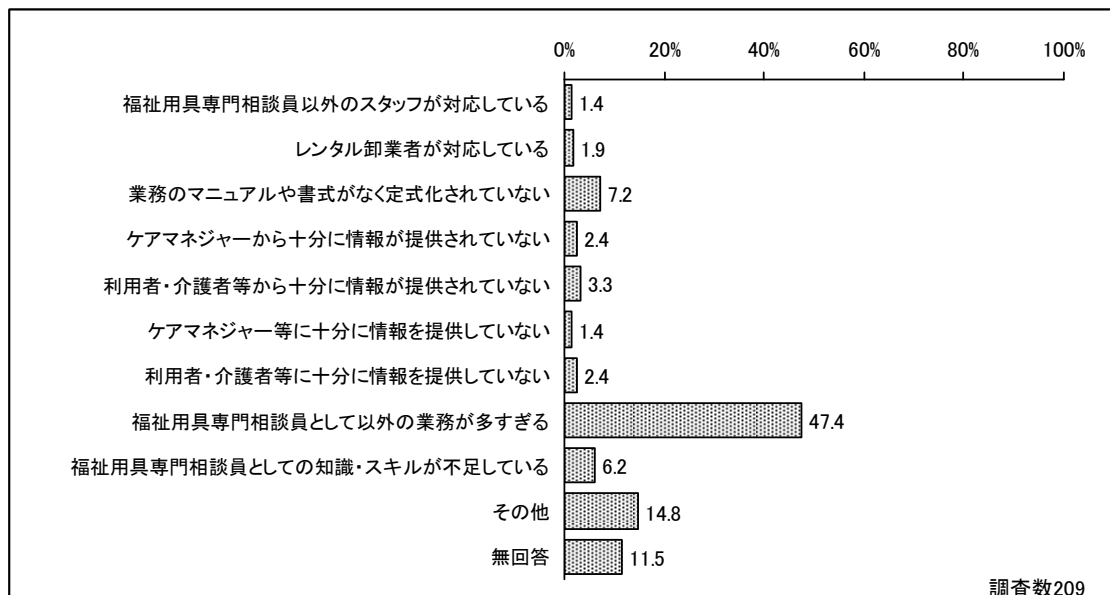
図表 3-64 「他のサービス事業者への利用説明」における課題の内容



○納品後 10 日以内のモニタリング、結果の記録作成

「福祉用具専門相談員として以外の業務が多すぎる」が 47.4%と最も多く、「その他」が 14.8%と続いている。具体的内容としては、「利用者・介護者の状況によっては日程調整が難しい」「納品後 1 週間以内にモニタリングを実施する必要性を感じない」といった回答があった。

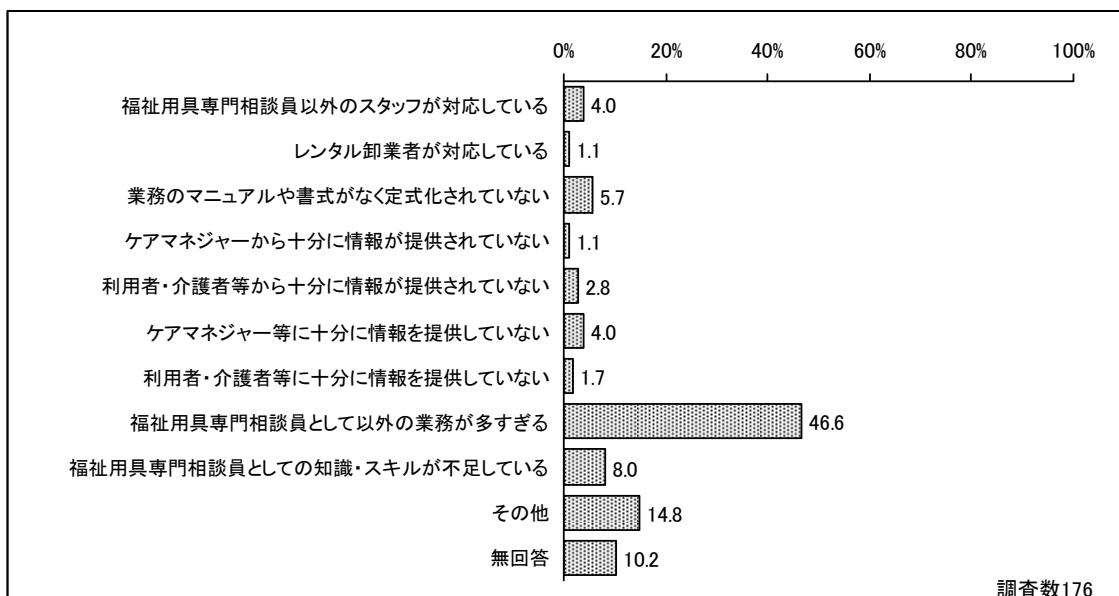
図表 3-65 「納品後 10 日以内のモニタリング、結果の記録作成」における課題の内容



○定期的なモニタリング、結果の記録作成

「福祉用具専門相談員として以外の業務が多すぎる」が 46.6%と最も多く、「その他」が 14.8%と続いている。具体的内容としては「一件あたりの訪問時間がかかりすぎる」「利用者・介護者にアポイントが取れないケースがある」「利用者から訪問を拒否されるケースがある」といった回答があった。

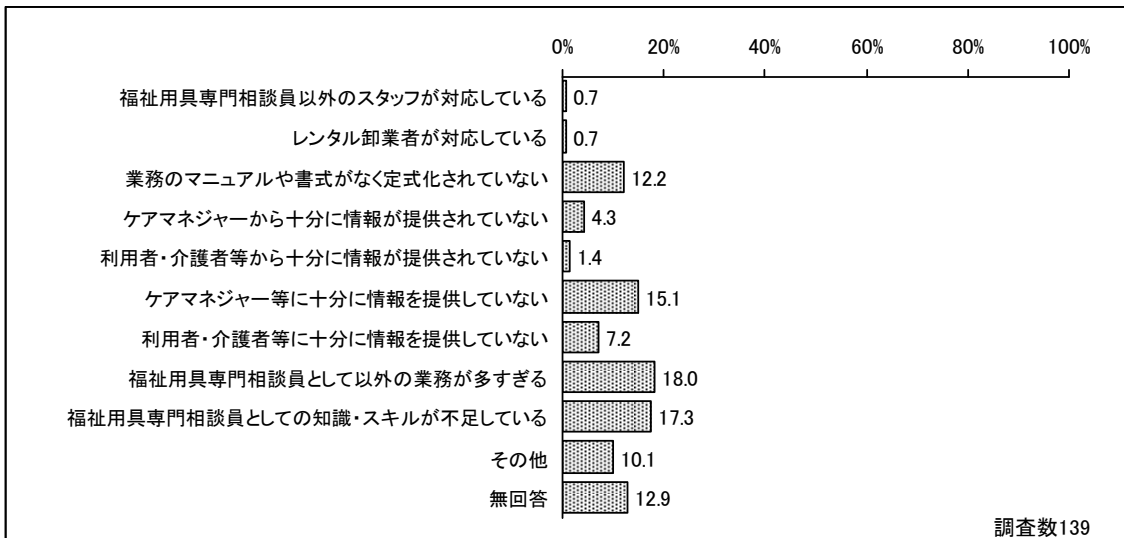
図表 3-66 「定期的なモニタリング、結果の記録作成」における課題の内容



○モニタリング結果の活用

「福祉用具専門相談員として以外の業務が多すぎる」が 18.0%、「福祉用具専門相談員としての知識・スキルが不足している」17.3%、「ケアマネジャー等に十分に情報を提供していない」が 15.1%と続いている。「その他」は 10.1%であるが、具体的内容としては「業務量が多く十分な記録が取れていない」「モニタリング結果にケアマネジャーが興味を示さないケースがある」「モニタリング結果を踏まえて新たな提案を行っても、ケアマネジャーから軽視されたり、却下されるケースが多い」といった回答があった。

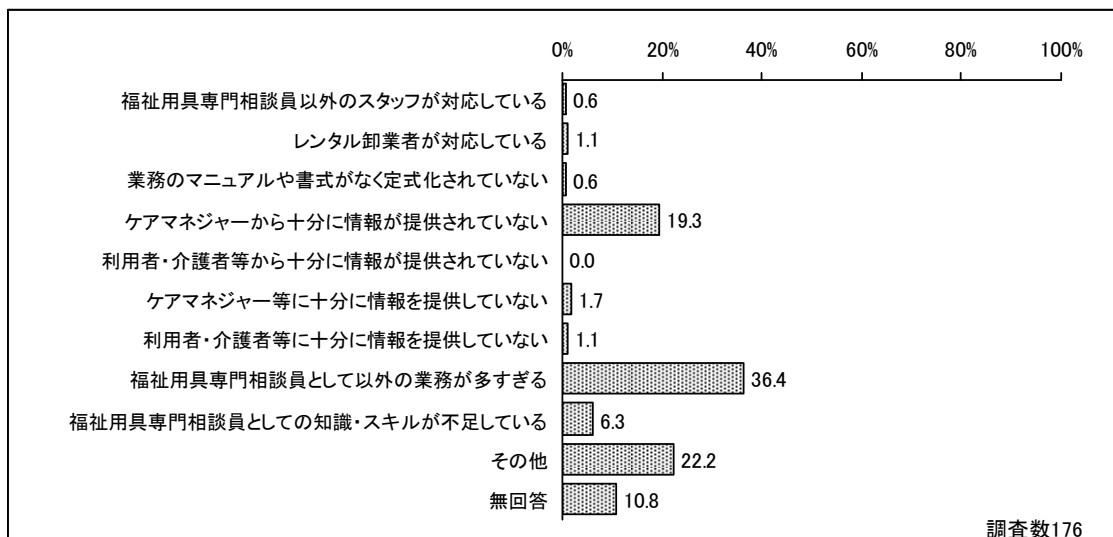
図表 3-67 「モニタリング結果の活用」における課題の内容



○モニタリング後のサービス担当者会議への参加

「福祉用具専門相談員として以外の業務が多すぎる」が 36.4%と最も多く、「その他」が 22.2%、「ケアマネジャーから十分に情報が提供されていない」が 19.3%と続いている。「その他」の内容としては、「予定調整が困難である」「会議の中で、福祉用具について議論する時間が少ない」「ケアマネジャーからの参加要請が無い」といった回答があった。

図表 3-68 「モニタリング後のサービス担当者会議への参加」における課題の内容



(6) マネジメント上の工夫と業務の実施状況

マネジメント上の取り組みの状況によって業務実施状況について、10ポイント以上の差異が見られるものについては薄い灰色、20ポイント以上の差異が見られるものについては濃い灰色の網掛けを行った。結果は次の通りである。

① 定期的な会議の実施状況と業務実施状況の関係

図表 3-69 定期的な会議の実施状況と業務実施状況の関係 (前半)

	全体(N=1279)	05. 定期的な会議の実施状況				実施していない(N=172)
		週に1回以上実施している(N=211)	月に2~3回程度実施している(N=207)	月に1回程度実施している(N=663)		
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
011. 福祉用具の必要性判断の際に利用者の身体状況や生活環境の把握する手段	85.5%	89.1%	89.9%	86.1%	75.6%	
訪問	4.7%	5.7%	3.4%	3.8%	8.1%	
電話	3.1%	1.9%	1.9%	3.8%	3.5%	
書面	6.3%	3.3%	4.8%	5.7%	12.2%	
その他	0.5%	0.0%	0.0%	0.6%	0.6%	
無回答	64.7%	67.8%	69.6%	65.6%	53.5%	
012. 利用者の身体状況や生活環境の把握)におけるケアマネジャーとの連携	12.4%	10.4%	11.1%	11.9%	16.9%	
ケアプランの書面送付のみ	17.4%	15.2%	16.4%	18.3%	18.6%	
口頭でのみ説明	5.1%	6.2%	2.9%	4.1%	9.9%	
その他	0.4%	0.5%	0.0%	0.2%	1.2%	
無回答	68.0%	72.0%	74.4%	70.7%	44.2%	
013. 利用者の身体状況や生活環境の記録について	26.0%	24.2%	23.7%	25.3%	33.7%	
特定書式を利用	3.2%	1.9%	0.5%	2.3%	12.2%	
形式を定めずに記録	2.3%	1.9%	1.4%	1.2%	8.7%	
記録をしていない	0.5%	0.0%	0.0%	0.5%	1.2%	
その他	0.5%	0.0%	0.0%	0.5%	1.2%	
無回答	32.9%	40.8%	35.7%	33.3%	19.2%	
014. 福祉用具の選定について	19.0%	23.7%	20.3%	18.9%	12.2%	
主体的に品目・種目を提案	87.6%	90.5%	92.8%	88.1%	76.7%	
主体的に商品を提案	42.9%	39.8%	34.3%	44.0%	52.9%	
ケアマネジャーとの協議の際に活用している相談しながら提案	52.3%	59.2%	60.9%	52.5%	33.1%	
ケアマネジャーからの要望指示を受けて対応	3.0%	4.3%	2.4%	2.3%	5.2%	
福祉用具の導入による種類の変更等についても提案	0.3%	0.0%	0.0%	0.3%	0.6%	
その他	61.8%	69.2%	65.2%	60.9%	51.7%	
無回答	23.7%	20.4%	25.6%	24.7%	20.3%	
015. 福祉用具を選定する際の利用効果予測	9.3%	6.2%	6.8%	10.3%	14.0%	
ほぼすべてのケースで予測している	2.2%	1.4%	1.4%	2.0%	5.2%	
半数以上のケースで予測している	1.6%	1.4%	1.0%	1.2%	4.7%	
半数程度のケースで予測している	1.3%	1.4%	0.0%	0.9%	4.1%	
半数以下のケースで予測している	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
予測していない	92.8%	94.3%	92.3%	94.0%	87.2%	
無回答	15.3%	16.6%	17.9%	16.3%	8.1%	
016. 福祉用具を選定する際に特に重視していること	11.7%	7.6%	14.0%	12.1%	12.8%	
利用効果(利用者のニーズを含む)	50.4%	51.7%	48.8%	50.1%	52.3%	
特に介護保険サービス内容との兼合い	2.8%	2.4%	1.9%	2.9%	4.1%	
質と価格	1.3%	1.4%	0.5%	1.1%	3.5%	
ケアマネジャーからの要望	0.2%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	
自社で取り扱っている商品の関係上	7.7%	21.3%	10.1%	4.4%	1.7%	
その他	3.9%	7.1%	6.8%	2.6%	1.7%	
無回答	14.6%	41.2%	20.3%	7.2%	2.9%	
017. 個別の質とサービスの内容についての事業所内での会議	7.8%	5.7%	23.7%	5.1%	2.9%	
毎日	47.8%	18.5%	29.5%	66.7%	36.0%	
2,3日に1回	16.3%	6.2%	9.2%	12.4%	50.0%	
週に1,2回	1.9%	0.0%	0.5%	1.7%	4.7%	
週に1,2回	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
月に1回	31.3%	33.2%	34.3%	32.3%	20.9%	
その他	7.3%	8.1%	8.2%	7.7%	4.1%	
無回答	7.3%	7.1%	11.6%	7.5%	2.9%	
018. 福祉用具利用計画書の作成について	10.9%	11.4%	13.5%	10.7%	9.3%	
ほぼすべてのケースで作成している	41.9%	39.3%	31.4%	40.7%	61.6%	
半数以上のケースで作成している	1.2%	0.9%	1.0%	1.1%	1.2%	
半数程度のケースで作成している	71.6%	66.7%	69.3%	75.6%	59.4%	
半数以下のケースで作成している	13.5%	15.1%	16.4%	11.1%	18.8%	
作成していない	11.5%	15.9%	10.7%	9.8%	15.6%	
無回答	2.9%	2.4%	2.9%	2.8%	4.7%	
018-1. 作成する計画書の書式について	0.5%	0.0%	0.7%	0.5%	1.6%	
実事業所が作成した特定書式	56.9%	58.7%	60.0%	57.8%	43.8%	
「福祉用具個別援助計画書」の標準書式	82.3%	85.7%	87.1%	80.8%	70.3%	
特定書式はない	39.0%	50.8%	40.0%	38.9%	18.8%	
その他	4.1%	3.2%	2.9%	3.6%	12.5%	
無回答	1.8%	1.6%	3.6%	1.6%	0.0%	
018-2. 作成した利用計画書の活用について	1.1%	2.4%	0.7%	0.5%	3.1%	
利用者との協議	64.3%	69.7%	70.5%	64.9%	49.4%	
ケアマネジャーとの協議	19.8%	19.4%	20.3%	20.8%	14.5%	
事業所内協議	6.4%	2.8%	6.3%	6.5%	11.0%	
活用無し	4.8%	2.8%	1.9%	5.4%	8.7%	
その他	3.9%	5.2%	1.0%	2.3%	12.8%	
無回答	0.7%	0.0%	0.0%	0.2%	3.5%	
019. 福祉用具の品目の選定にあたるサービス担当者会議参加について	71.3%	78.0%	68.8%	71.6%	61.8%	
他サービスの把握	89.9%	94.5%	90.2%	89.5%	84.7%	
利用者との問題点把握	78.9%	85.5%	85.9%	78.1%	63.9%	
福祉用具利用効果説明	63.1%	68.5%	66.8%	61.8%	55.6%	
福祉用具利用の留意点説明	3.0%	1.5%	4.9%	2.6%	4.2%	
その他	0.2%	0.5%	0.0%	0.2%	0.7%	
無回答	18.0%	26.5%	20.8%	15.7%	13.4%	
020. 福祉用具の導入にあたる取扱説明書等の説明について	67.4%	64.0%	66.7%	70.0%	64.0%	
自分で補足作成した資料で説明	9.5%	5.7%	7.2%	9.7%	15.1%	
説明書で説明	4.7%	3.8%	4.8%	4.5%	6.4%	
説明書交付のみ	0.4%	0.0%	0.5%	0.2%	1.2%	
その他	0.4%	0.0%	0.0%	0.2%	1.2%	
無回答	82.3%	84.4%	79.2%	83.7%	78.4%	
021. 福祉用具の搬入・設置にあたる商品業務に直接立ち会っている	9.3%	8.5%	12.1%	9.2%	8.1%	
ほぼすべてのケースで立ち会っている	2.7%	2.8%	3.4%	2.1%	3.5%	
半数以上のケースで立ち会っている	3.5%	2.8%	4.3%	3.2%	4.7%	
半数程度のケースで立ち会っている	1.6%	1.4%	1.0%	1.5%	2.9%	
半数以下のケースで立ち会っている	0.6%	0.0%	0.0%	0.3%	2.3%	
立ち会っていない	0.6%	0.0%	0.0%	0.3%	2.3%	
無回答						

図表 3-70 定期的な会議の実施状況と業務実施状況の関係（後半）

		05. 定期的な会議の実施状況				
		全体 (N=1279)	週に1回以上実施している (N=211)	月に2～3回程度実施している (N=207)	月に1回程度実施している (N=663)	実施していない (N=172)
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
022. 福祉用具の適合調整の実施について	マニュアル	38.8%	44.5%	42.0%	41.8%	19.8%
	自分で定めたチェック項目	27.1%	28.0%	32.4%	25.3%	26.2%
	チェック項目無し	26.0%	22.3%	23.2%	25.6%	34.9%
	自分では実施していない	6.6%	4.7%	1.4%	6.0%	15.7%
	無回答	1.6%	0.5%	1.0%	1.2%	3.5%
023. 福祉用具の適合性判断の実施について	ほぼすべてのケースで実施している	65.1%	73.5%	70.0%	66.5%	44.2%
	半数以上のケースで実施している	12.7%	10.0%	16.9%	12.8%	11.0%
	半数程度のケースで実施している	6.4%	3.8%	4.3%	7.1%	10.5%
	半数以下のケースで実施している	3.8%	3.8%	2.9%	2.9%	8.1%
	実施していない	9.4%	7.6%	3.4%	8.4%	22.7%
023-2. 「適合性判断を実施しているケース」についての記録状況	ほぼすべてのケースで実施している	51.3%	55.7%	59.5%	52.0%	28.3%
	半数以上のケースで実施している	14.8%	12.5%	17.4%	15.0%	15.0%
	半数程度のケースで実施している	8.9%	8.9%	7.7%	9.5%	7.9%
	半数以下のケースで実施している	5.7%	5.2%	3.1%	5.4%	11.8%
	実施していない	18.2%	17.2%	12.3%	17.1%	34.6%
023-3. 適合性判断の記録に記載する主な内容	すべて記載	36.7%	42.2%	48.2%	34.6%	22.8%
	一部記載	30.1%	25.5%	29.7%	32.3%	28.3%
	事務手続きのみ記載	14.9%	14.6%	12.3%	15.7%	15.7%
	その他	3.1%	2.6%	2.1%	2.9%	5.5%
	無回答	15.1%	15.1%	7.7%	14.5%	27.6%
024. 福祉用具の利用説明の実施について	ほぼすべてのケースで実施している	86.6%	91.0%	90.3%	87.2%	75.6%
	半数以上のケースで実施している	6.9%	4.3%	5.8%	7.7%	8.1%
	半数程度のケースで実施している	2.5%	2.4%	1.0%	2.4%	5.2%
	半数以下のケースで実施している	1.9%	0.5%	2.4%	1.2%	5.8%
	実施していない	1.4%	1.4%	0.0%	1.2%	3.5%
024-2. 利用者・介護者が福祉用具の使用の確認状況	ほぼすべてのケースで確認している	73.3%	77.3%	76.2%	72.4%	69.9%
	半数以上のケースで確認している	20.0%	16.4%	18.9%	20.8%	20.2%
	半数程度のケースで確認している	4.4%	3.9%	2.9%	4.9%	5.5%
	半数以下のケースで確認している	1.8%	1.4%	1.9%	1.2%	3.7%
	確認していない	0.4%	0.5%	0.0%	0.5%	0.6%
025. 選定した福祉用具の利用上の使用方法・留意事項等の説明について	実物を使って買う	20.3%	26.1%	21.7%	19.9%	13.4%
	実物を見せる	33.8%	32.7%	42.0%	33.2%	29.1%
	書面で説明	32.6%	31.3%	28.5%	34.4%	32.6%
	説明無し	10.1%	6.2%	5.3%	10.1%	19.8%
	無回答	3.3%	3.8%	2.4%	2.4%	5.2%
026. 福祉用具納品後10日以内にモニタリング実施	ほぼすべてのケースで実施している	54.3%	57.8%	62.8%	56.6%	33.1%
	半数以上のケースで実施している	18.9%	19.9%	17.9%	18.6%	18.0%
	半数程度のケースで実施している	7.6%	6.6%	7.2%	7.4%	10.5%
	半数以下のケースで実施している	7.7%	6.2%	7.7%	8.1%	8.7%
	実施していない	10.2%	8.1%	3.4%	8.6%	27.3%
027. 福祉用具納品後（11日以降）の定期的なモニタリング実施	ほぼすべてのケースで実施している	63.1%	71.6%	67.6%	63.5%	45.3%
	半数以上のケースで実施している	17.7%	13.7%	20.3%	19.0%	14.5%
	半数程度のケースで実施している	6.7%	6.2%	6.8%	6.9%	7.6%
	半数以下のケースで実施している	5.3%	2.8%	4.3%	5.9%	7.6%
	実施していない	4.9%	2.8%	0.0%	3.5%	19.2%
027-2. モニタリング実施の頻度	1ヶ月に1度	17.5%	13.6%	18.5%	16.6%	24.8%
	2～3ヶ月に1度	21.4%	21.1%	21.5%	21.2%	24.0%
	4～6ヶ月に1度	45.8%	48.2%	46.8%	47.3%	32.6%
	半年以上に1度	13.6%	16.1%	11.2%	13.1%	17.1%
	その他	0.8%	0.5%	0.5%	0.9%	0.8%
028. モニタリング実施の方法	訪問	88.7%	91.6%	89.3%	88.5%	85.3%
	電話	5.5%	4.4%	3.9%	5.4%	8.4%
	ケアマネジャー	2.9%	3.0%	2.9%	2.8%	2.8%
	その他	2.0%	0.5%	3.9%	2.3%	0.7%
	無回答	0.9%	0.5%	0.0%	0.9%	2.8%
029. モニタリングの結果の記録について	ほぼすべてのケースで記録している	74.8%	78.3%	85.0%	74.9%	53.8%
	半数以上のケースで記録している	9.8%	10.8%	8.3%	10.1%	9.8%
	半数程度のケースで記録している	4.1%	2.5%	1.9%	4.7%	7.7%
	半数以下のケースで記録している	4.9%	3.9%	1.9%	5.4%	9.1%
	記録していない	5.4%	3.9%	2.4%	4.2%	16.8%
029-2. モニタリングの結果をケアマネジャーへの報告状況	ほぼすべてのケースで報告している	70.9%	78.9%	74.5%	70.1%	52.2%
	半数以上のケースで報告している	13.5%	9.3%	17.5%	13.7%	12.2%
	半数程度のケースで報告している	6.4%	4.6%	2.0%	7.3%	13.0%
	半数以下のケースで報告している	5.8%	4.1%	3.5%	5.2%	16.5%
	報告していない	3.3%	3.1%	2.5%	3.3%	6.1%
030. モニタリングを実施する際の改めてケアプランの確認について	ほぼすべてのケースで確認している	46.9%	49.3%	52.9%	46.0%	39.2%
	半数以上のケースで確認している	19.3%	20.7%	22.3%	18.6%	16.8%
	半数程度のケースで確認している	10.5%	10.8%	9.2%	11.9%	5.6%
	半数以下のケースで確認している	9.1%	7.9%	6.8%	9.5%	12.8%
	確認していない	11.4%	10.3%	7.3%	11.6%	16.8%
031. モニタリング実施後の福祉用具とサービスの継続検討のためのサービス担当者会議	ほぼすべてのケースで参加している	64.3%	70.6%	74.4%	64.9%	44.8%
	半数以上のケースで参加している	15.5%	14.2%	16.9%	16.1%	11.0%
	半数程度のケースで参加している	6.0%	3.8%	3.9%	7.1%	7.6%
	半数以下のケースで参加している	4.8%	3.8%	2.9%	4.7%	9.3%
	参加していない	6.4%	6.6%	1.4%	4.8%	18.0%
031-2. 会議においてモニタリングの結果の報告状況	資料で説明	29.9%	37.9%	39.4%	26.7%	20.0%
	口頭で説明	60.4%	53.3%	56.2%	63.6%	60.8%
	説明無し	8.2%	8.2%	3.4%	8.0%	17.6%
	その他	1.3%	0.5%	1.0%	1.6%	0.8%
	無回答	0.2%	0.0%	0.0%	0.2%	0.8%

利用者の身体状況や生活環境の記録の状況と業務実施状況の関係

図表 3-71 利用者の身体状況や生活環境の記録の状況と業務実施状況の関係（前半）

	013. 利用者の身体状況や生活環境の記録について				
	全体(N=1279)	専事業所が作成した特定書式を利用して記録をしている(N=870)	特に形式は定めていないが記録をしている(N=332)	記録をしていない(N=41)	その他(N=30)
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
011. 福祉用具の必要を判断の際に利用者の身体状況や生活環境の把握する手段					
訪問	85.5%	88.5%	83.1%	68.3%	53.3%
電話	4.7%	3.9%	6.3%	9.8%	3.3%
書面	3.1%	2.6%	3.9%	7.3%	3.3%
その他	6.3%	4.8%	6.0%	14.6%	40.0%
無回答	0.5%	0.1%	0.6%	0.0%	0.0%
012. 利用者の身体状況や生活環境の把握におけるケアマネジャーとの連携					
ケアプラン策定の書面を見ながら説明	64.7%	67.4%	63.0%	46.3%	40.0%
ケアプランの書面送付のみ	12.4%	11.4%	15.1%	12.2%	16.7%
口頭でのみ説明	17.4%	16.8%	17.5%	36.6%	6.7%
その他	5.1%	4.4%	4.5%	2.4%	36.7%
無回答	0.4%	0.1%	0.0%	2.4%	0.0%
013. 利用者の身体状況や生活環境の記録について					
特定書式を利用	68.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
形式を定めて記録	26.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
記録をしていない	3.2%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
その他	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
無回答	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
014. 福祉用具の選定について					
主体的に品目・種目を提案	32.9%	36.0%	28.0%	19.5%	20.0%
主体的に商品提案	19.0%	21.3%	15.4%	12.2%	6.7%
ケアマネジャーとの協議の際に活用している相談しながら提案	87.6%	91.5%	85.5%	58.5%	46.7%
ケアマネジャーからの要望指示を受けて対応	42.9%	41.6%	46.7%	53.7%	26.7%
福祉用具の導入による種類の変更等についても提案	52.3%	56.6%	46.4%	31.7%	26.7%
その他	3.0%	2.5%	1.8%	0.0%	36.7%
無回答	0.3%	0.0%	0.0%	2.4%	3.3%
015. 福祉用具を選定する際の利用効果予測					
ほぼすべてのケースで予測している	61.8%	66.0%	55.7%	39.0%	46.7%
半数以上のケースで予測している	23.7%	23.7%	24.1%	22.0%	26.7%
半数程度のケースで予測している	9.3%	7.7%	13.6%	14.6%	3.3%
半数以下のケースで予測している	2.2%	1.3%	3.6%	4.9%	6.7%
予測していない	1.6%	0.7%	1.8%	14.6%	6.7%
無回答	1.3%	0.7%	1.2%	4.9%	10.0%
016. 福祉用具を選定する際に特に重視していること					
利用効果（利用者のニーズを含む）	92.8%	95.5%	89.2%	82.9%	73.3%
他の介護保険サービス内容との兼合い	15.3%	18.0%	9.0%	9.8%	13.3%
質と価格	11.7%	11.1%	13.9%	9.8%	10.0%
ケアマネジャーからの要望	50.4%	47.8%	56.9%	61.0%	43.3%
自社で取り扱っている商品の関係上	2.8%	2.5%	2.7%	4.9%	10.0%
その他	1.3%	1.3%	0.6%	0.0%	13.3%
無回答	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%
017. 個別の質とサービス内容についての事業所内での会議					
毎日	7.7%	9.7%	3.9%	0.0%	3.3%
2,3日に1回	3.9%	3.8%	4.5%	2.4%	3.3%
週に1,2回	14.6%	16.6%	11.4%	7.3%	6.7%
2週に1,2回	7.8%	8.0%	7.5%	9.8%	3.3%
月に1回	47.8%	46.9%	53.6%	36.6%	26.7%
その他	16.3%	13.3%	17.8%	36.6%	56.7%
無回答	1.9%	1.7%	1.2%	7.3%	0.0%
018. 福祉用具利用計画書の作成について					
ほぼすべてのケースで作成している	31.3%	38.9%	17.8%	0.0%	6.7%
半数以上のケースで作成している	7.3%	8.9%	4.8%	0.0%	3.3%
半数程度のケースで作成している	7.3%	8.2%	6.9%	0.0%	0.0%
半数以下のケースで作成している	10.9%	9.5%	15.7%	4.9%	10.0%
作成していない	41.9%	33.7%	53.9%	95.1%	73.3%
無回答	1.2%	0.9%	0.9%	0.0%	6.7%
018-2. 作成する計画書の書式について					
専事業所が作成した特定書式	71.6%	78.4%	46.7%	50.0%	66.7%
「福祉用具個別援助計画書」の標準書式	13.5%	13.7%	11.3%	0.0%	33.3%
特定の書式はない	11.5%	5.1%	36.0%	50.0%	0.0%
その他	2.9%	2.5%	4.7%	0.0%	0.0%
無回答	0.5%	0.4%	1.3%	0.0%	0.0%
018-3. 作成した利用計画書の活用について					
利用者との協議	56.9%	60.6%	43.3%	50.0%	50.0%
ケアマネジャーとの協議	82.3%	85.6%	71.3%	0.0%	66.7%
事業所内協議	39.0%	40.2%	35.3%	0.0%	33.3%
活用無し	4.1%	3.3%	6.0%	50.0%	16.7%
その他	1.8%	1.8%	1.3%	0.0%	16.7%
無回答	1.1%	1.1%	1.3%	0.0%	0.0%
019. 福祉用具の品目の選定にあたってのサービス担当者会議参加について					
ほぼすべてのケースで参加している	64.3%	67.8%	61.1%	41.5%	36.7%
半数以上のケースで参加している	19.8%	21.5%	16.6%	19.5%	10.0%
半数程度のケースで参加している	6.4%	5.4%	8.4%	9.8%	6.7%
半数以下のケースで参加している	4.8%	3.7%	7.8%	2.4%	10.0%
参加していない	3.9%	1.1%	6.0%	24.4%	30.0%
無回答	0.7%	0.5%	0.0%	2.4%	6.7%
019-2. サービス担当者会議で主に行っていること					
他サービスの把握	71.3%	75.1%	63.1%	50.0%	68.4%
利用者との問題点把握	89.9%	91.1%	88.1%	76.7%	89.5%
福祉用具利用効果説明	78.9%	83.1%	69.9%	60.0%	68.4%
福祉用具利用の留意点説明	63.1%	65.7%	57.1%	50.0%	73.7%
その他	3.0%	3.5%	1.6%	3.3%	0.0%
無回答	0.2%	0.1%	0.6%	0.0%	0.0%
020. 福祉用具の導入にあたる取扱説明書等の説明について					
自分で補足作成した資料で説明	18.0%	19.5%	16.3%	7.3%	10.0%
説明書で説明	67.4%	67.7%	68.7%	65.9%	53.3%
説明書交付のみ	9.5%	8.7%	10.2%	17.1%	10.0%
その他	4.7%	4.0%	4.5%	7.3%	23.3%
無回答	0.4%	0.0%	0.3%	2.4%	3.3%
021. 福祉用具の搬入・設置にあたる給品業務に直接立ち会いについて					
ほぼすべてのケースで立ち会っている	82.3%	83.4%	82.5%	73.2%	63.3%
半数以上のケースで立ち会っている	9.3%	9.8%	8.7%	9.8%	3.3%
半数程度のケースで立ち会っている	2.7%	2.5%	3.0%	4.9%	0.0%
半数以下のケースで立ち会っている	3.5%	3.1%	3.6%	4.9%	13.3%
立ち会っていない	1.6%	0.9%	2.1%	4.9%	10.0%
無回答	0.6%	0.2%	0.0%	2.4%	10.0%

図表 3-72 利用者の身体状況や生活環境の記録の状況と業務実施状況の関係（後半）

	Q13. 利用者の身体状況や生活環境の記録について					
	全体 (N=1279)	貴事業所が作成した特定書式を利用している (N=870)	特に形式は定めていないが記録をしている (N=332)	記録をしていない (N=41)	その他 (N=30)	
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
Q22. 福祉用具の適合調整の実施について	マニュアル	38.8%	46.8%	23.8%	12.2%	16.7%
	自分で定めたチェック項目	27.1%	25.3%	34.0%	17.1%	20.0%
	チェック項目無し	26.0%	22.6%	31.9%	46.8%	23.3%
	自分では実施していない	6.6%	4.0%	9.9%	19.5%	23.3%
	無回答	1.6%	1.3%	0.3%	2.4%	16.7%
Q23. 福祉用具の適合性判断実施について	ほぼすべてのケースで実施している	65.1%	71.3%	56.3%	26.8%	43.3%
	半数以上のケースで実施している	12.7%	12.5%	13.3%	17.1%	6.7%
	半数程度のケースで実施している	6.4%	6.3%	6.9%	9.8%	0.0%
	半数以下のケースで実施している	3.8%	2.6%	6.3%	2.4%	6.7%
	実施していない	9.4%	5.2%	14.2%	41.5%	33.3%
無回答	2.7%	2.1%	3.0%	2.4%	10.0%	
Q23-2. 「適合性判断を実施しているケース」についての記録状況	ほぼすべてのケースで実施している	51.3%	59.5%	31.6%	17.4%	29.4%
	半数以上のケースで実施している	14.8%	13.9%	18.2%	17.4%	5.9%
	半数程度のケースで実施している	8.9%	8.1%	12.0%	4.3%	5.9%
	半数以下のケースで実施している	5.7%	4.8%	7.3%	8.7%	17.6%
	実施していない	18.2%	13.3%	28.7%	47.0%	41.2%
無回答	1.1%	0.5%	2.2%	4.3%	0.0%	
Q23-3. 適合性判断の記録に記載する主な内容	すべて記載	36.7%	42.5%	21.8%	26.1%	23.5%
	一部記載	30.1%	30.9%	30.2%	21.7%	11.8%
	事務手続きのみ記載	14.9%	13.6%	18.2%	21.7%	11.8%
	その他	3.1%	2.4%	4.4%	4.3%	17.6%
	無回答	15.1%	10.7%	25.5%	26.1%	35.3%
Q24. 福祉用具の利用説明実施について	ほぼすべてのケースで実施している	86.6%	89.5%	83.7%	65.9%	70.0%
	半数以上のケースで実施している	6.9%	7.0%	6.3%	12.2%	3.3%
	半数程度のケースで実施している	2.5%	1.5%	5.1%	2.4%	3.3%
	半数以下のケースで実施している	1.9%	1.0%	3.0%	7.3%	6.7%
	実施していない	1.4%	0.5%	1.8%	9.8%	10.0%
無回答	0.8%	0.5%	0.0%	2.4%	6.7%	
Q24-2. 利用者・介護者が福祉用具の使用の確認状況	ほぼすべてのケースで確認している	73.3%	76.3%	67.2%	58.3%	68.0%
	半数以上のケースで確認している	20.0%	19.0%	22.7%	19.4%	20.0%
	半数程度のケースで確認している	4.4%	3.2%	6.7%	13.9%	0.0%
	半数以下のケースで確認している	1.8%	0.8%	3.1%	5.6%	12.0%
	確認していない	0.4%	0.3%	0.3%	2.8%	0.0%
無回答	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	
Q25. 選定した福祉用具の利用上の使用方法・留意事項等の説明について	実物を使って貰う	20.3%	22.6%	15.4%	9.8%	23.3%
	実物を見せる	33.8%	34.5%	32.2%	24.4%	46.7%
	書面での説明	32.6%	31.3%	37.7%	34.1%	13.3%
	説明無し	10.1%	9.4%	11.7%	19.5%	0.0%
	無回答	3.3%	2.2%	3.0%	12.2%	16.7%
Q26. 福祉用具納品後10日以内にモニタリング実施	ほぼすべてのケースで実施している	54.3%	61.3%	44.0%	17.1%	26.7%
	半数以上のケースで実施している	18.9%	19.1%	19.9%	14.6%	13.3%
	半数程度のケースで実施している	7.6%	7.1%	9.3%	7.3%	3.3%
	半数以下のケースで実施している	7.7%	6.2%	10.5%	12.2%	16.7%
	実施していない	10.2%	6.0%	14.8%	43.9%	33.3%
無回答	1.2%	0.3%	1.5%	4.9%	6.7%	
Q27. 福祉用具納品後（11日以降）の定期的なモニタリング実施	ほぼすべてのケースで実施している	63.1%	69.5%	53.0%	36.6%	36.7%
	半数以上のケースで実施している	17.7%	17.5%	19.9%	14.6%	6.7%
	半数程度のケースで実施している	6.7%	6.4%	7.5%	7.3%	3.3%
	半数以下のケースで実施している	5.3%	3.4%	8.7%	9.8%	16.7%
	実施していない	4.9%	2.0%	8.1%	22.0%	26.7%
無回答	2.3%	1.1%	2.7%	9.8%	10.0%	
Q27-2. モニタリング実施の頻度	1ヶ月に1度	17.5%	15.8%	22.3%	14.3%	26.3%
	2~3ヶ月に1度	21.4%	20.9%	23.3%	21.4%	15.8%
	4~6ヶ月に1度	45.8%	49.2%	37.5%	32.1%	47.4%
	半年以上に1度	13.6%	12.7%	15.2%	25.0%	10.5%
	その他	0.8%	0.7%	0.3%	7.1%	0.0%
無回答	0.8%	0.7%	1.4%	0.0%	0.0%	
Q28. モニタリング実施の方法	訪問	88.7%	90.7%	84.8%	81.8%	76.2%
	電話	5.5%	4.9%	7.1%	3.0%	9.5%
	ケアマネジャー	2.9%	1.9%	4.9%	6.1%	9.5%
	その他	2.0%	2.2%	1.9%	0.0%	0.0%
	無回答	0.9%	0.4%	1.3%	9.1%	4.8%
Q29. モニタリングの結果の記録について	ほぼすべてのケースで記録している	74.8%	82.8%	57.9%	45.5%	47.6%
	半数以上のケースで記録している	9.8%	8.6%	13.6%	3.0%	14.3%
	半数程度のケースで記録している	4.1%	3.4%	5.8%	3.0%	4.8%
	半数以下のケースで記録している	4.9%	2.7%	10.0%	9.1%	14.3%
	記録していない	5.4%	2.0%	12.0%	30.3%	9.5%
無回答	0.9%	0.5%	0.6%	9.1%	9.5%	
Q29-2. モニタリングの結果をケアマネジャーへの報告状況	ほぼすべてのケースで報告している	70.9%	75.1%	59.6%	50.0%	64.7%
	半数以上のケースで報告している	13.5%	12.6%	16.7%	10.0%	11.8%
	半数程度のケースで報告している	6.4%	5.6%	8.5%	10.0%	5.9%
	半数以下のケースで報告している	5.8%	3.8%	10.4%	20.0%	11.8%
	報告していない	3.3%	2.6%	4.8%	10.0%	5.9%
無回答	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	
Q30. モニタリングを実施する際の改めてケアプランの確認について	ほぼすべてのケースで確認している	46.9%	51.1%	36.2%	33.3%	52.4%
	半数以上のケースで確認している	19.3%	20.0%	19.7%	6.1%	9.5%
	半数程度のケースで確認している	10.5%	10.5%	11.7%	3.0%	4.8%
	半数以下のケースで確認している	9.1%	7.8%	11.3%	16.2%	14.3%
	確認していない	11.4%	9.2%	16.2%	27.3%	4.8%
無回答	2.8%	1.4%	4.9%	12.1%	14.3%	
Q31. モニタリング実施後の福祉用具やサービスの継続検討のためのサービス担当者会議	ほぼすべてのケースで参加している	64.3%	69.2%	58.4%	31.7%	36.7%
	半数以上のケースで参加している	15.5%	17.2%	12.0%	14.6%	6.7%
	半数程度のケースで参加している	6.0%	5.4%	7.2%	7.3%	10.0%
	半数以下のケースで参加している	4.8%	3.3%	8.1%	9.8%	6.7%
	参加していない	6.4%	3.2%	11.4%	29.3%	13.3%
無回答	3.0%	1.6%	2.7%	7.3%	26.7%	
Q31-2. 会議においてモニタリングの結果の報告状況	資料で説明	29.9%	34.9%	17.5%	19.2%	16.7%
	口頭で説明	60.4%	57.1%	69.8%	61.5%	55.6%
	説明無し	8.2%	6.5%	10.9%	19.2%	27.8%
	その他	1.3%	1.3%	1.4%	0.0%	0.0%
	無回答	0.2%	0.1%	0.4%	0.0%	0.0%

② 福祉用具利用計画書の作成状況と業務実施状況の関係

図表 3-73 福祉用具利用計画書の作成状況と業務実施状況の関係（前半）

	全体 (N=1279)	018. 福祉用具利用計画書の作成について					
		ほぼすべてのケースで作成している (N=400)	半数以上のケースで作成している (N=94)	半数程度のケースで作成している (N=94)	半数以下のケースで作成している (N=140)	作成していない (N=536)	
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
011. 福祉用具の必要性判断の際に利用者の身体状況や生活環境の把握する手段	85.5%	90.0%	90.4%	90.4%	88.6%	79.9%	79.9%
訪問	4.7%	4.3%	3.2%	3.2%	1.1%	5.8%	5.8%
電話	3.1%	1.5%	3.2%	3.2%	0.7%	5.0%	5.0%
書面	6.3%	4.3%	3.2%	3.2%	5.3%	8.6%	8.6%
その他	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.7%
無回答	64.7%	70.8%	72.3%	72.3%	62.1%	59.7%	59.7%
012. 利用者の身体状況や生活環境の把握におけるケアマネジャーとの連携	12.4%	10.8%	8.5%	14.9%	14.3%	13.4%	13.4%
ケアプランの書面を見ながら説明	17.4%	13.0%	16.0%	14.9%	20.0%	20.9%	20.9%
ケアプランの書面送付のみ	5.1%	5.5%	3.2%	3.2%	3.6%	5.4%	5.4%
口頭でのみ説明	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.6%
その他	68.0%	84.5%	81.9%	75.5%	59.3%	54.7%	54.7%
無回答	26.0%	14.8%	17.0%	24.5%	37.1%	33.4%	33.4%
013. 利用者の身体状況や生活環境の記録について	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	7.3%	7.3%
特定書式を利用	2.3%	0.5%	1.1%	0.0%	2.1%	4.1%	4.1%
形式を定めて記録	0.5%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.6%
記録をしていない	32.9%	32.8%	41.5%	27.7%	41.4%	30.8%	30.8%
その他	19.0%	18.5%	17.0%	23.4%	25.0%	17.5%	17.5%
無回答	87.6%	91.0%	92.6%	90.4%	90.0%	83.6%	83.6%
014. 福祉用具の選定について	42.9%	34.8%	42.6%	44.7%	48.6%	47.6%	47.6%
主體的に品目・種目を提案	52.3%	53.5%	55.3%	62.8%	57.9%	47.8%	47.8%
主體的に商品を提案	3.0%	1.8%	4.3%	3.2%	1.4%	3.9%	3.9%
ケアマネジャーとの協議の際に活用している相談しながら提案	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.4%
ケアマネジャーからの要望指示を受けて対応	61.8%	74.5%	53.2%	52.1%	60.7%	56.0%	56.0%
福祉用具の導入による種類の変更等についても提案	23.7%	17.5%	41.5%	28.7%	25.0%	24.4%	24.4%
その他	9.3%	6.0%	5.3%	16.0%	7.9%	11.8%	11.8%
無回答	2.2%	1.3%	0.0%	2.1%	5.0%	2.6%	2.6%
015. 福祉用具を選定する際の利用効果予測	1.6%	0.5%	0.0%	0.0%	0.7%	3.4%	3.4%
ほぼすべてのケースで予測している	1.3%	0.3%	0.0%	1.1%	0.7%	1.9%	1.9%
半数以上のケースで予測している	92.8%	96.0%	94.7%	89.3%	96.4%	90.5%	90.5%
半数程度のケースで予測している	15.3%	19.5%	18.1%	18.1%	10.7%	12.7%	12.7%
半数以下のケースで予測している	11.7%	9.8%	10.6%	14.9%	11.4%	13.1%	13.1%
予測していない	50.4%	48.3%	46.8%	45.7%	52.1%	53.5%	53.5%
無回答	2.8%	1.8%	4.3%	3.2%	2.1%	3.5%	3.5%
016. 福祉用具を選定する際に特に重視していること	1.3%	1.8%	0.0%	0.0%	0.7%	1.3%	1.3%
利用効果（利用者のニーズを含む）	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%
他の介護保険サービス内容との兼合い	7.7%	8.5%	7.4%	7.4%	7.9%	7.1%	7.1%
貸与価格	3.9%	4.5%	3.2%	6.4%	2.1%	3.7%	3.7%
ケアマネジャーからの要望	14.6%	17.3%	22.3%	17.0%	15.0%	11.2%	11.2%
自社で取り扱っている商品の関係上	7.8%	8.0%	10.6%	12.8%	7.1%	6.5%	6.5%
その他	47.8%	48.8%	43.6%	48.9%	47.9%	47.9%	47.9%
無回答	16.3%	11.5%	11.7%	7.4%	17.9%	21.6%	21.6%
017. 個別の貸与サービスの内容についての事業所内での会議	1.9%	1.5%	1.1%	0.0%	2.1%	1.9%	1.9%
毎日	31.3%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2,3日に1回	7.3%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
週に1,2回	7.3%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2週に1,2回	10.9%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
月に1回	41.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
その他	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	71.6%	81.5%	63.8%	66.0%	52.1%	0.0%	0.0%
018-2. 作成する計画書の書式について	13.5%	11.8%	17.0%	14.9%	15.0%	0.0%	0.0%
実事業所が作成した特定書式	11.5%	5.0%	13.8%	13.8%	27.1%	0.0%	0.0%
「福祉用具個別援助計画書」の標準書式	2.9%	1.8%	4.3%	3.2%	5.0%	0.0%	0.0%
特定の書式はない	0.5%	0.0%	1.1%	2.1%	0.7%	0.0%	0.0%
その他	56.9%	68.0%	60.6%	46.8%	29.3%	0.0%	0.0%
無回答	82.3%	87.3%	84.0%	77.7%	70.0%	0.0%	0.0%
018-3. 作成した利用計画書の活用について	39.0%	45.8%	37.2%	31.9%	25.7%	0.0%	0.0%
利用者との協議	4.1%	2.5%	3.2%	3.2%	10.0%	0.0%	0.0%
事業所内協議	1.8%	1.5%	2.1%	1.1%	2.9%	0.0%	0.0%
ケアマネジャーとの協議	1.1%	0.0%	1.1%	4.3%	2.1%	0.0%	0.0%
事業所内協議	64.3%	73.3%	61.7%	64.9%	57.1%	60.1%	60.1%
半数以上のケースで参加している	19.8%	16.5%	29.8%	27.7%	26.4%	17.9%	17.9%
半数程度のケースで参加している	6.4%	6.3%	5.3%	6.4%	5.7%	6.7%	6.7%
半数以下のケースで参加している	4.8%	2.5%	3.2%	1.1%	8.6%	6.7%	6.7%
参加していない	3.9%	1.5%	0.0%	0.0%	2.1%	7.6%	7.6%
無回答	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.9%
019-2. サービス担当者会議で主にやっていること	71.3%	72.6%	74.5%	66.0%	73.0%	70.4%	70.4%
他サービスの把握	89.9%	90.9%	94.7%	85.1%	92.0%	88.8%	88.8%
利用者の問題点把握	78.9%	81.2%	87.2%	78.7%	79.6%	75.1%	75.1%
福祉用具利用効果説明	63.1%	66.0%	64.9%	57.4%	67.9%	59.6%	59.6%
福祉用具利用の留意点説明	3.0%	2.8%	2.1%	2.1%	6.6%	2.4%	2.4%
その他	0.2%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.4%
無回答	18.0%	22.3%	22.3%	20.2%	17.9%	13.4%	13.4%
020. 福祉用具の導入にあたる取扱説明書等の説明について	67.4%	66.8%	66.0%	69.1%	67.1%	68.8%	68.8%
自分で補足作成した資料で説明	9.5%	6.8%	10.6%	7.4%	9.3%	11.8%	11.8%
説明書で説明	4.7%	4.3%	1.1%	3.2%	5.0%	5.8%	5.8%
説明書交付のみ	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.2%	0.2%
その他	82.3%	82.8%	81.9%	90.4%	82.9%	81.3%	81.3%
無回答	9.3%	9.3%	14.9%	7.4%	9.3%	8.8%	8.8%
021. 福祉用具の購入・設置にあたる納品業務に直接立ち会いについて	2.7%	3.3%	0.0%	0.0%	2.1%	3.2%	3.2%
ほぼすべてのケースで立ち会っている	3.5%	4.3%	3.2%	2.1%	5.7%	2.4%	2.4%
半数以上のケースで立ち会っている	1.6%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	3.5%	3.5%
半数程度のケースで立ち会っている	1.6%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	3.5%	3.5%
半数以下のケースで立ち会っている	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.7%
立ち会っていない	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.7%
無回答	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.7%

図表 3-74 福祉用具利用計画書の作成状況と業務実施状況の関係（後半）

		018. 福祉用具利用計画書の作成について					
		全体 (N=1279)	ほぼすべてのケースで作成している (N=400)	半数以上のケースで作成している (N=94)	半数程度のケースで作成している (N=94)	半数以下のケースで作成している (N=140)	作成していない (N=536)
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
022. 福祉用具の適合調整の実施について	マニュアル	38.8%	53.3%	45.7%	44.7%	35.7%	26.9%
	自分で定めたチェック項目	27.1%	22.5%	35.1%	28.7%	31.4%	28.0%
	チェック項目無し	26.0%	19.3%	17.0%	22.3%	29.3%	32.6%
	自分で実施していない	6.6%	4.0%	2.1%	2.1%	2.9%	11.2%
	無回答	1.6%	1.0%	0.0%	2.1%	0.7%	1.3%
023. 福祉用具の適合性判断実施について	ほぼすべてのケースで実施している	65.1%	78.3%	69.1%	57.4%	58.6%	58.4%
	半数以上のケースで実施している	12.7%	9.0%	17.0%	19.1%	14.3%	13.2%
	半数程度のケースで実施している	6.4%	3.5%	7.4%	13.8%	12.9%	5.4%
	半数以下のケースで実施している	3.8%	2.5%	4.3%	3.2%	5.0%	4.5%
	実施していない	9.4%	5.3%	2.1%	2.1%	6.4%	15.9%
	無回答	2.7%	1.5%	0.0%	4.3%	2.9%	2.6%
023-2 「適合性判断を実施しているケース」についての記録状況	ほぼすべてのケースで実施している	51.3%	72.7%	33.7%	27.3%	40.9%	44.4%
	半数以上のケースで実施している	14.8%	9.9%	31.5%	21.6%	18.9%	13.0%
	半数程度のケースで実施している	8.9%	5.4%	8.7%	30.7%	10.2%	7.1%
	半数以下のケースで実施している	5.7%	2.4%	8.7%	8.0%	15.7%	4.3%
	実施していない	18.2%	8.8%	17.4%	12.5%	14.2%	29.1%
	無回答	1.1%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%
023-3. 適合性判断の記録に記載する主な内容	すべて記載	36.7%	49.3%	33.7%	37.5%	33.1%	27.2%
	一部記載	30.1%	29.0%	40.2%	37.5%	34.6%	26.3%
	事務手続きのみ記載	14.9%	10.5%	10.9%	12.5%	15.7%	20.1%
	その他	3.1%	2.7%	0.0%	1.1%	3.9%	4.1%
	無回答	15.1%	8.6%	15.2%	11.4%	12.6%	22.2%
024. 福祉用具の利用説明実施について	ほぼすべてのケースで実施している	86.6%	92.0%	92.6%	87.2%	88.6%	81.7%
	半数以上のケースで実施している	6.9%	5.3%	6.4%	8.5%	6.4%	8.0%
	半数程度のケースで実施している	2.5%	1.8%	1.1%	1.1%	0.7%	4.1%
	半数以下のケースで実施している	1.9%	0.8%	0.0%	2.1%	4.3%	2.2%
	実施していない	1.4%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%
	無回答	0.8%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.7%
024-2 利用者・介護者が福祉用具の使用の確認状況	ほぼすべてのケースで確認している	73.3%	80.2%	74.5%	76.3%	74.3%	67.2%
	半数以上のケースで確認している	20.0%	15.3%	20.2%	20.4%	20.0%	23.3%
	半数程度のケースで確認している	4.4%	3.3%	4.3%	3.2%	2.9%	6.0%
	半数以下のケースで確認している	1.8%	0.8%	1.1%	0.0%	2.9%	2.5%
	確認していない	0.4%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%
	無回答	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%
025. 選定した福祉用具の利用上の使用方法・留意事項等の説明について	実物を使って貰う	20.3%	24.0%	12.8%	21.3%	22.9%	18.3%
	実物を見る	33.8%	36.8%	45.7%	30.9%	37.9%	29.3%
	書面で説明	32.6%	30.0%	31.9%	36.2%	31.4%	34.3%
	説明無し	10.1%	7.5%	7.4%	7.4%	5.7%	14.4%
	無回答	3.3%	1.8%	2.1%	4.3%	2.1%	3.7%
026. 福祉用具納品後10日以内にモニタリング実施	ほぼすべてのケースで実施している	54.3%	69.0%	41.5%	46.8%	45.0%	49.6%
	半数以上のケースで実施している	18.9%	16.8%	42.6%	26.6%	18.6%	15.5%
	半数程度のケースで実施している	7.6%	5.3%	3.2%	12.8%	11.4%	8.4%
	半数以下のケースで実施している	7.7%	3.3%	5.3%	10.6%	17.9%	8.6%
	実施していない	10.2%	5.5%	7.4%	2.1%	6.4%	16.6%
	無回答	1.2%	0.3%	0.0%	1.1%	0.7%	1.3%
027. 福祉用具納品後（11日以降）の定期的なモニタリング実施	ほぼすべてのケースで実施している	63.1%	79.0%	56.4%	58.5%	48.6%	57.6%
	半数以上のケースで実施している	17.7%	11.0%	34.0%	22.3%	26.4%	16.8%
	半数程度のケースで実施している	6.7%	5.3%	6.4%	12.8%	7.1%	6.9%
	半数以下のケースで実施している	5.3%	1.5%	1.1%	6.4%	13.6%	6.5%
	実施していない	4.9%	2.0%	1.1%	0.0%	2.1%	9.5%
	無回答	2.3%	1.3%	1.1%	0.0%	2.1%	2.6%
027-2. モニタリング実施の頻度	1ヶ月に1度	17.5%	21.7%	13.0%	16.0%	12.7%	16.3%
	2~3ヶ月に1度	21.4%	23.8%	26.1%	18.1%	24.6%	18.3%
	4~6ヶ月に1度	45.8%	42.9%	51.1%	52.1%	41.8%	47.3%
	半年以上に1度	13.6%	10.6%	9.8%	13.8%	18.7%	15.5%
	その他	0.8%	0.8%	0.0%	0.0%	0.7%	1.1%
	無回答	0.8%	0.3%	0.0%	0.0%	1.5%	1.5%
028. モニタリング実施の方法	訪問	88.7%	90.4%	93.5%	90.4%	88.3%	86.4%
	電話	5.5%	4.8%	3.2%	3.2%	6.6%	6.5%
	ケアマネジャー	2.9%	2.3%	1.1%	3.2%	2.2%	3.9%
	その他	2.0%	2.3%	2.2%	3.2%	2.2%	1.4%
	無回答	0.9%	0.3%	0.0%	0.0%	0.7%	1.8%
029. モニタリングの結果の記録について	ほぼすべてのケースで記録している	74.8%	88.6%	72.0%	74.5%	63.5%	67.5%
	半数以上のケースで記録している	9.8%	5.6%	20.4%	17.0%	12.4%	9.1%
	半数程度のケースで記録している	4.1%	2.8%	4.3%	6.4%	5.1%	4.5%
	半数以下のケースで記録している	4.9%	1.0%	0.0%	2.1%	13.9%	6.9%
	記録していない	5.4%	1.5%	3.2%	0.0%	3.6%	10.6%
	無回答	0.9%	0.5%	0.0%	0.0%	1.5%	1.4%
029-2. モニタリングの結果をケアマネジャーへの報告状況	ほぼすべてのケースで報告している	70.9%	80.1%	70.0%	59.6%	60.8%	68.1%
	半数以上のケースで報告している	13.5%	10.9%	17.8%	22.3%	13.1%	13.2%
	半数程度のケースで報告している	6.4%	3.4%	7.8%	11.7%	10.0%	6.7%
	半数以下のケースで報告している	5.8%	2.3%	2.2%	1.1%	11.5%	8.8%
	報告していない	3.3%	2.8%	2.2%	5.3%	4.6%	3.2%
	無回答	0.2%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
030. モニタリングを実施する際の改めてケアプランの確認について	ほぼすべてのケースで確認している	46.9%	61.3%	34.4%	42.6%	31.4%	42.7%
	半数以上のケースで確認している	19.3%	18.0%	38.7%	25.5%	21.2%	15.4%
	半数程度のケースで確認している	10.5%	7.3%	10.8%	16.0%	17.5%	9.8%
	半数以下のケースで確認している	9.1%	3.3%	10.8%	8.5%	21.2%	10.4%
	確認していない	11.4%	8.4%	5.4%	7.4%	6.6%	17.1%
	無回答	2.8%	1.8%	0.0%	0.0%	2.2%	4.7%
031. モニタリング実施後の福祉用具貸与サービスの継続検討のためのサービス担当者会議	ほぼすべてのケースで参加している	64.3%	71.8%	63.8%	69.1%	60.7%	59.0%
	半数以上のケースで参加している	15.5%	15.8%	25.5%	20.2%	15.0%	13.1%
	半数程度のケースで参加している	6.0%	5.0%	5.3%	7.4%	10.0%	5.6%
	半数以下のケースで参加している	4.8%	2.3%	2.1%	2.1%	7.1%	7.3%
	参加していない	6.4%	3.5%	2.1%	1.1%	3.6%	11.2%
	無回答	3.0%	1.8%	1.1%	0.0%	3.6%	3.9%
031-2. 会議においてモニタリングの結果の報告状況	資料で説明	29.9%	40.6%	30.8%	33.3%	26.9%	20.9%
	口頭で説明	60.4%	52.5%	64.8%	62.4%	65.4%	64.4%
	説明無し	8.2%	6.1%	3.3%	3.2%	6.9%	12.3%
	その他	1.3%	0.8%	1.1%	1.1%	0.8%	2.0%
	無回答	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%

③ 適合性判断の記録状況と業務の実施状況

図表 3-75 適合性判断の記録状況と業務実施状況の関係（前半）

	全体 (N=1279)	023-2 「適合性判断を実施しているケース」についての記録状況				半数以下のケースで実施している (N=64)	実施していない (N=205)
		ほぼすべてのケースで実施している (N=577)	半数以上のケースで実施している (N=167)	半数程度のケースで実施している (N=100)	半数以下のケースで実施している (N=64)		
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
011. 福祉用具の必要性判断の際に利用者の身体状況や生活環境の把握する手段	85.5%	89.6%	82.6%	91.0%	78.1%	81.5%	
訪問	4.7%	3.1%	6.0%	2.0%	9.4%	7.3%	
電話	3.1%	2.8%	4.8%	1.0%	4.7%	2.9%	
書面	6.3%	4.3%	6.6%	4.0%	7.8%	8.3%	
その他	0.5%	0.2%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	
無回答	64.7%	68.3%	71.3%	67.0%	56.3%	59.5%	
012. 利用者の身体状況や生活環境の把握)におけるケアマネジャーとの連携	12.4%	9.5%	11.4%	19.0%	18.8%	13.7%	
ケアプランの書面を見ながら説明	17.4%	16.1%	13.8%	11.0%	25.0%	22.0%	
ケアプランの書面送付のみ	5.1%	6.1%	3.6%	3.0%	0.0%	4.9%	
口頭でのみ説明	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
その他	68.0%	83.2%	67.1%	65.0%	60.9%	52.2%	
無回答	26.0%	15.1%	29.9%	33.0%	31.3%	38.5%	
013. 利用者の身体状況や生活環境の記録について	3.2%	0.7%	2.4%	1.0%	3.1%	5.4%	
特定書式を利用	2.3%	0.9%	0.6%	1.0%	4.7%	3.4%	
形式を定めて記録	0.5%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	
記録をしていない	32.9%	36.7%	34.7%	29.0%	34.4%	29.3%	
その他	19.0%	20.8%	17.4%	21.0%	21.9%	20.5%	
無回答	87.6%	91.9%	90.4%	88.0%	82.8%	89.3%	
014. 福祉用具の選定について	42.9%	37.8%	42.5%	39.0%	56.3%	47.3%	
ケアマネジャーとの協議の際に活用している相談しながら提案	52.3%	58.2%	51.5%	47.0%	39.1%	54.1%	
ケアマネジャーからの要望指示を受けて対応	3.0%	3.1%	2.4%	1.0%	1.6%	2.9%	
福祉用具の購入による種類の変更等についても提案	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
その他	61.8%	74.0%	47.3%	53.0%	40.6%	62.0%	
無回答	23.7%	19.4%	39.5%	23.0%	39.1%	22.0%	
015. 福祉用具を選定する際の利用効果予測	9.3%	4.9%	9.0%	20.0%	9.4%	12.7%	
ほぼすべてのケースで予測している	2.2%	0.7%	3.0%	4.0%	6.3%	2.0%	
半数以上のケースで予測している	1.6%	0.3%	0.6%	0.0%	3.1%	1.0%	
半数程度のケースで予測している	1.3%	0.7%	0.6%	0.0%	1.6%	0.5%	
半数以下のケースで予測している	92.8%	95.5%	94.0%	96.0%	89.1%	89.8%	
予測していない	15.3%	17.3%	20.4%	11.0%	18.8%	13.7%	
無回答	11.7%	11.3%	14.4%	13.0%	14.1%	11.7%	
016. 福祉用具を選定する際に特に重視していること	50.4%	49.4%	42.5%	48.0%	57.8%	56.1%	
利用効果（利用者のニーズを含む）	2.8%	2.6%	1.8%	0.0%	4.7%	3.4%	
他の介護保険サービス内容との兼合い	1.3%	1.2%	1.0%	0.0%	0.0%	1.0%	
ケアマネジャーからの要望	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
自社で取り扱っている商品の関係上	7.7%	10.4%	7.8%	5.0%	6.3%	5.4%	
その他	3.9%	3.8%	4.8%	3.0%	3.1%	5.4%	
無回答	14.6%	18.2%	16.8%	16.0%	6.3%	11.7%	
017. 個別の貸与サービスの内容についての事業所内での会議	7.8%	8.3%	9.0%	12.0%	3.1%	7.8%	
毎日	47.8%	46.1%	51.5%	52.0%	54.7%	49.3%	
2,3日に1回	16.3%	12.3%	10.2%	12.0%	23.4%	18.0%	
週に1,2回	1.9%	0.9%	0.0%	0.0%	3.1%	2.4%	
2週に1,2回	31.3%	47.0%	22.2%	20.0%	14.1%	16.1%	
月に1回	7.3%	5.4%	17.4%	8.0%	12.5%	7.8%	
その他	7.3%	4.2%	11.4%	27.0%	10.9%	5.4%	
無回答	10.9%	9.0%	14.4%	13.0%	31.3%	8.8%	
018-2. 作成する計画書の書式について	41.9%	33.6%	34.1%	31.0%	29.7%	62.0%	
ほぼすべてのケースで作成している	1.2%	0.9%	0.6%	1.0%	1.6%	0.0%	
半数以上のケースで作成している	71.6%	77.0%	67.9%	57.4%	61.4%	70.5%	
半数程度のケースで作成している	13.5%	13.5%	11.9%	19.1%	13.6%	9.0%	
半数以下のケースで作成している	11.5%	6.9%	14.7%	22.1%	25.0%	12.8%	
作成していない	2.9%	2.6%	3.7%	0.0%	0.0%	6.4%	
無回答	0.5%	0.0%	1.8%	1.5%	0.0%	1.3%	
018-3. 作成した利用計画書の活用について	56.9%	68.3%	50.5%	41.2%	27.3%	43.6%	
ケアマネジャーとの協議	82.3%	87.8%	80.7%	73.5%	72.7%	71.8%	
事業所内協議	39.0%	47.1%	35.8%	27.9%	34.1%	30.8%	
活用無し	4.1%	1.3%	5.5%	5.9%	11.4%	9.0%	
その他	1.8%	1.6%	0.9%	0.0%	4.5%	2.6%	
無回答	1.1%	0.3%	2.8%	2.9%	0.0%	1.3%	
019. 福祉用具の品目の選定にあたってのサービス担当者会議参加について	64.3%	74.4%	56.3%	58.0%	43.8%	62.9%	
ほぼすべてのケースで参加している	19.8%	17.5%	33.5%	30.0%	21.9%	13.7%	
半数以上のケースで参加している	6.4%	4.2%	6.0%	10.0%	14.1%	9.3%	
半数程度のケースで参加している	4.8%	2.9%	2.4%	1.0%	17.2%	7.8%	
半数以下のケースで参加している	3.9%	0.9%	1.8%	1.0%	3.1%	6.3%	
参加していない	0.7%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
無回答	71.3%	77.4%	69.5%	61.6%	66.1%	69.8%	
019-2. サービス担当者会議で主にやっていること	89.9%	92.8%	93.9%	86.9%	83.9%	88.0%	
他サービスの把握	78.9%	86.0%	77.4%	71.7%	72.6%	75.0%	
利用者の問題点把握	63.1%	69.0%	59.1%	59.6%	59.7%	63.5%	
福祉用具利用効果説明	3.0%	3.3%	1.8%	0.0%	3.2%	2.6%	
福祉用具利用の留意点説明	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	
その他	18.0%	20.1%	21.0%	22.0%	14.1%	12.7%	
無回答	67.4%	68.5%	70.7%	69.0%	70.3%	66.8%	
020. 福祉用具の購入にあたる取扱説明書等の説明について	9.5%	7.6%	6.0%	5.0%	7.8%	14.6%	
自分で補足作成した資料で説明	4.7%	3.8%	2.4%	4.0%	7.8%	5.9%	
説明書で説明	4.7%	3.8%	2.4%	4.0%	7.8%	5.9%	
説明書交付のみ	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
その他	82.3%	86.0%	77.8%	85.0%	78.1%	84.9%	
無回答	9.3%	8.1%	18.6%	11.0%	9.4%	5.4%	
021. 福祉用具の購入・設置にあたる納品業務に直接立ち会いについて	2.7%	1.9%	0.6%	3.0%	1.6%	4.9%	
ほぼすべてのケースで立ち会っている	3.5%	2.9%	3.0%	1.0%	9.4%	4.4%	
半数以上のケースで立ち会っている	1.6%	0.9%	0.0%	0.0%	1.6%	0.5%	
半数程度のケースで立ち会っている	1.6%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
半数以下のケースで立ち会っている	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
立ち会っていない	0.6%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

図表 3-76 適合性判断の記録状況と業務実施状況の関係（後半）

	023-2 「適合性判断を実施しているケース」についての記録状況						
	全体 (N=1279)	ほぼすべてのケースで実施している (N=577)	半数以上のケースで実施している (N=167)	半数程度のケースで実施している (N=100)	半数以下のケースで実施している (N=64)	実施していない (N=205)	
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
022 福祉用具の適合調整の実施について	マニュアル	38.8%	54.1%	42.5%	40.0%	29.7%	16.1%
	自分で定めたチェック項目	27.1%	24.4%	35.3%	31.0%	28.1%	33.7%
	チェック項目無し	26.0%	17.9%	19.8%	25.0%	37.5%	40.5%
	自分で実施していない	6.6%	3.1%	1.8%	3.0%	1.6%	8.3%
	無回答	1.6%	0.5%	0.6%	1.0%	3.1%	1.5%
023 福祉用具の適合性判断実施について	ほぼすべてのケースで実施している	65.1%	95.3%	43.7%	47.0%	40.6%	64.9%
	半数以上のケースで実施している	12.7%	2.9%	53.9%	13.0%	12.5%	15.6%
	半数程度のケースで実施している	6.4%	1.4%	2.4%	40.0%	12.5%	9.3%
	半数以下のケースで実施している	3.8%	0.3%	0.0%	0.0%	34.4%	10.2%
	実施していない	9.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
023-2 「適合性判断を実施しているケース」についての記録状況	ほぼすべてのケースで実施している	51.3%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	半数以上のケースで実施している	14.8%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	半数程度のケースで実施している	8.9%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	半数以下のケースで実施している	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	実施していない	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
無回答	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
023-3 適合性判断の記録に記録する主な内容	すべて記載	36.7%	54.8%	37.7%	21.0%	17.2%	1.0%
	一部記載	30.1%	28.6%	46.1%	52.0%	54.7%	4.9%
	事務手続きのみ記載	14.9%	12.7%	12.6%	22.0%	23.4%	18.0%
	その他	3.1%	2.9%	2.4%	4.0%	3.1%	3.9%
	無回答	15.1%	1.0%	1.2%	1.0%	1.6%	72.2%
024 福祉用具の利用説明実施について	ほぼすべてのケースで実施している	86.6%	93.2%	86.2%	88.0%	79.7%	84.9%
	半数以上のケースで実施している	6.9%	4.3%	13.2%	7.0%	10.9%	6.8%
	半数程度のケースで実施している	2.5%	1.2%	0.6%	4.0%	3.1%	3.9%
	半数以下のケースで実施している	1.9%	0.9%	0.0%	1.0%	6.3%	2.9%
	実施していない	1.4%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%
無回答	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
024-2 利用者・介護者が福祉用具の使用の確認状況	ほぼすべてのケースで確認している	73.3%	82.6%	64.1%	70.0%	53.1%	73.8%
	半数以上のケースで確認している	20.0%	14.3%	35.3%	20.0%	34.4%	17.8%
	半数程度のケースで確認している	4.4%	2.4%	0.6%	8.0%	4.7%	5.9%
	半数以下のケースで確認している	1.8%	0.7%	0.0%	0.0%	6.3%	2.5%
	確認していない	0.4%	0.0%	0.0%	1.0%	1.6%	0.0%
無回答	0.2%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	
025 選定した福祉用具の利用上の使用方法・留意事項等の説明について	実物を使って貰う	20.3%	25.1%	18.6%	15.0%	10.9%	18.0%
	実物を見せる	33.8%	35.2%	40.7%	38.0%	34.4%	29.8%
	書面で説明	32.6%	31.0%	35.3%	33.0%	37.5%	30.2%
	説明無し	10.1%	7.1%	3.0%	13.0%	17.2%	19.0%
	無回答	3.3%	1.6%	2.4%	1.0%	0.0%	2.9%
026 福祉用具納品後10日以内にモニタリング実施	ほぼすべてのケースで実施している	54.3%	73.5%	40.1%	44.0%	26.6%	43.4%
	半数以上のケースで実施している	18.9%	14.9%	36.5%	21.0%	28.1%	16.6%
	半数程度のケースで実施している	7.6%	4.5%	9.6%	19.0%	7.8%	9.8%
	半数以下のケースで実施している	7.7%	2.8%	9.6%	9.0%	25.0%	13.2%
	実施していない	10.2%	3.5%	3.6%	7.0%	12.5%	16.6%
無回答	1.2%	0.9%	0.6%	0.0%	0.0%	0.5%	
027 福祉用具納品後（11日以降）の定期的なモニタリング実施	ほぼすべてのケースで実施している	63.1%	79.9%	52.7%	46.0%	28.1%	58.0%
	半数以上のケースで実施している	17.7%	11.8%	35.3%	22.0%	37.5%	14.1%
	半数程度のケースで実施している	6.7%	4.5%	7.2%	25.0%	6.3%	5.9%
	半数以下のケースで実施している	5.3%	2.1%	2.4%	4.0%	18.8%	11.2%
	実施していない	4.9%	0.7%	1.2%	3.0%	6.3%	7.8%
無回答	2.3%	1.0%	1.2%	0.0%	3.1%	2.9%	
027-2 モニタリング実施の頻度	1ヶ月に1度	17.5%	16.6%	13.5%	16.5%	6.9%	25.7%
	2~3ヶ月に1度	21.4%	23.3%	20.9%	19.6%	25.9%	15.8%
	4~6ヶ月に1度	45.8%	47.6%	50.9%	44.3%	46.6%	40.4%
	半年以上1度	13.6%	10.8%	14.1%	18.6%	20.7%	16.4%
	その他	0.8%	1.1%	0.6%	0.0%	0.0%	0.5%
無回答	0.8%	0.7%	0.0%	1.0%	0.0%	1.1%	
028 モニタリング実施の方法	訪問	88.7%	92.0%	90.2%	91.8%	85.5%	84.0%
	電話	5.5%	4.9%	4.9%	2.0%	8.1%	6.7%
	ケアマネジャー	2.9%	1.4%	2.4%	3.1%	4.8%	3.6%
	その他	2.0%	1.6%	1.8%	3.1%	0.0%	3.6%
	無回答	0.9%	0.2%	0.6%	0.0%	1.6%	2.1%
029 モニタリングの結果をケアマネジャーへの報告状況	ほぼすべてのケースで報告している	70.9%	82.3%	65.6%	51.1%	44.8%	63.2%
	半数以上のケースで報告している	13.5%	9.8%	21.9%	19.6%	15.5%	12.9%
	半数程度のケースで報告している	6.4%	3.7%	4.4%	19.6%	19.0%	5.2%
	半数以下のケースで報告している	5.8%	2.1%	6.9%	5.4%	15.5%	11.0%
	報告していない	3.3%	1.9%	0.6%	4.3%	5.2%	7.7%
無回答	0.2%	0.2%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	
030 モニタリングを実施する際の改めてケアプランの確認について	ほぼすべてのケースで確認している	46.9%	58.5%	39.6%	32.7%	32.3%	37.6%
	半数以上のケースで確認している	19.3%	18.0%	31.1%	25.5%	19.4%	16.5%
	半数程度のケースで確認している	10.5%	8.6%	14.0%	19.4%	9.7%	9.8%
	半数以下のケースで確認している	9.1%	6.6%	7.3%	9.2%	19.4%	14.4%
	確認していない	14.4%	7.3%	6.1%	12.2%	17.7%	17.5%
無回答	2.8%	1.0%	1.8%	1.0%	1.6%	4.1%	
031 モニタリング実施後の福祉用具貸与サービスの継続検討のためのサービス担当者会議	ほぼすべてのケースで参加している	64.3%	76.1%	57.5%	62.0%	45.3%	58.5%
	半数以上のケースで参加している	15.5%	14.6%	30.5%	17.0%	16.6%	9.8%
	半数程度のケースで参加している	6.0%	4.0%	5.4%	14.0%	12.5%	6.3%
	半数以下のケースで参加している	4.8%	2.4%	4.8%	2.0%	17.2%	7.3%
	参加していない	6.4%	1.9%	1.2%	5.0%	7.8%	13.7%
無回答	3.0%	1.0%	0.6%	0.0%	1.6%	4.4%	
031-2 会議においてモニタリングの結果の報告状況	資料で説明	29.9%	37.1%	34.1%	27.4%	17.2%	17.3%
	口頭で説明	60.4%	55.5%	61.6%	63.2%	74.1%	70.2%
	説明無し	8.2%	5.7%	3.7%	9.5%	8.6%	10.7%
	その他	1.3%	1.4%	0.6%	0.0%	0.0%	1.8%
	無回答	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%